

宿都 第 217 号
令和 2 年 12 月 21 日

関係各位

宿毛市長 中平富宏



回 答 書 (第 5 回)

令和 2 年度 庁建第 3 号 宿毛市庁舎新築工事に関する質問書について、別紙
のとおり回答します。

【担当】

宿毛市役所 都市建設課

TEL : 0880-63-1120 FAX : 0880-63-2210

E-mail : kensetu@city.sukumo.lg.jp

質 疑 回 答 (第 5 回)

工事名：令和2年度 庁建第3号 宿毛市庁舎新築工事

令和 2年12月 21日

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
22	A-101 S-017	共通 設計図書特記仕様では、B種（埋戻し土）となっておりますが、泥岩の為埋め戻しに不向きと思われます。金抜設計書の通り、搬入土としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
23		共通 止水板の仕様は金抜き設計書の通り、W200 非加硫ブチルゴムとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。材料指定はありません。
24	S-001	共通 各階立上りのコンクリートスランプが不明です。各階床に同じ15cmとしてよろしいですか、御指示ください。	15cmとしてください。
25	S-002 S-015	共通 SFデッキ板厚t0.8（SF08）が構造特記仕様書（その2）では適用となっておりますが、FSデッキ設計施工標準より適用としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
26	S-011 S-015	共通 鉄骨梁継手部デッキ受けの仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 鉄骨標準詳細図(3) - PL-6 SFデッキ設計施工標準-FB-32~50	PL-6としてください。
27		共通 鉄骨柱廻りデッキ受けの仕様が不明です。鉄骨梁継手部に倣うとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。 S-011-12.9 S-015-4-Eに倣うとします。
28		共通 デッキスラブ部柱廻りひび割れ防止筋の補強要領が不明です2-D13 L=80dを見込むとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。 スラブ開口補強に準ずる。
29		共通 コンクリート流れ止めの仕様が不明です。下記としてよろしいですか、御指示ください。 W=0 - PL-1.6 0<W≦300 - PL-3.2 300<W≦600 - PL-3.2 L-50×50×6@600以下	お見込みのとおりです。 エンドプレートHはスラブ厚とする。
30	A-202	庁舎棟 R階目隠しパネル柱脚根巻(柱周り立上り)の配筋要領はパラペットと同じとしてよろしいですか、御指示ください。	縦横ともダブルD10@150としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
31	S-005 S-006 S-037 S-503	庁舎棟 13. 梁貫通孔の補強要領図に「孔の径が梁せい の1/10以下かつ150mm未満のものは、鉄筋を緩や かに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合 は、補強を省略することができる」と記載がある為、ピッ ト伏図（スリーブ図）の梁貫通有効径φ100・125は 補強不要、φ150はH2の補強要領としてよろしいです か。	梁成の1/10以下かつ150mm未満補強不要。 150mm以上は、S-006-13 既製品としてください
32	S-014 S-038 ~041	庁舎棟 3~R1階床伏図（スリーブ図）に鉄骨梁貫通孔 の記載がありますが、補強要領の記載がありません。2・ R2・R3階床伏図（スリーブ図）に倣いハイリングとし てよろしいですか。	ハイリング又はS-11の同等品としてください。
33	S-029 S-001	庁舎棟 礎版下砂利の厚さは下記のいずれですか、御指示 ください。 水槽ピット配筋図 - 60 構造特記仕様書（その1） - 100	t100とします。
34	S-028	庁舎棟 独立基礎側面につなぎ筋の図示がありますが、径 はD13とし、本数は図示の通りでよろしいですか、御指 示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
35	A-202	庁舎棟 建物外周に断熱材の立ち下がり（H300）と記載がありますが、防湿シートの立ち下がりは不要としてよろしいですか、御指示ください。	必要です。
36	A-208	庁舎棟 ポンプ置場の礎版天増打（H130～150）補強要領を御指示ください。	D10@200タテヨコとします。
37	S-001	庁舎棟 地業は下記のいずれですか、御指示ください。 6. 金抜設計書のNo. A11ページ - 再生クラッシュラン 構造特記仕様書（その1） - 砂利	再生クラッシュランとします。
38	S-032	庁舎棟 かさ上げ鋼材が山形鋼の場合の詳細図で、鋼材メンバーがL-75×75×6～L-150×90×9と記載がありますが、かさ上げ高さ毎の使い分けは下記としてよろしいですか、御指示ください。 H≦75 - L-75×75×6 75<H≦150 - L-150×90×9	お見込みのとおりです。
39	S-005	庁舎棟 段差のあるスラブ補強で、段差高さが150mmを超える場合の段差平行方向補強筋はD13@200（ダブル）としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
40	S-032	庁舎棟 サーバー室段差（１）・（２）で、シアコネクター端部が鉄骨梁側面で折り曲げられている図示がありますが、鉄筋溶接の記載がありません。図示通り鉄骨梁側面への鉄筋溶接は不要としてよろしいですか、御指示ください。	溶接してください。
41	S-032	庁舎棟 サーバー室段差（１）・（２）で、鉄骨梁側に山形鋼（デッキ受け）の図示がありますが、メンバーが不明です。L-75×75×6としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
42	S-015 S-032	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A31ページにフラットデッキプレートt1.4の記載がありますが、SFデッキ設計施工標準ではt1.4はスラブ厚250の場合に適用の為（今回工事のデッキ部は全てスラブ厚150）、不要としてよろしいですか、御指示ください。	厚さ250mmのスラブについてはS-033図を参照してください。
43	S-031	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A29ページにベースモルタルt30 200×220 4か所の記載がありますが、鉄骨柱・間柱リストに記載がありません。不要としてよろしいですか。必要な場合、該当部材を御指示ください。	アンカーボルト定着用要領図による。P[15です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
44	S-023 S-032	庁舎棟 頭付きスタッドH150に階数が記載ありませんが、かさ上げ高さh=50(X7通り/Ya~b通り間G13:スラブ天端R1FL+145、梁天端R1FL-55)がある為、H150も適用としてよろしいですか御指示ください。	お見込みのとおりです。
45	S-031	庁舎棟 鉄骨柱・間柱リストP [15のアンカーボルトは下記のいずれですか、御指示ください。 鉄骨部材リスト(1)(記載) - 4-M16 鉄骨部材リスト(1)(図示) - 2-M16	2-M16としてください。
46	S-501	交流棟 コンクリート(Fc24)には庁舎棟と同様に高性能AE減水剤が必要としてよろしいですか、また、セメントについては普通ポルトランドセメントとしてよろしいですか、御指示ください。	高性能AE減水剤必要です。 高炉セメントとしてください。
47	S-501	交流棟 土間コンクリートのスランプ値は15cmとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
48	S-501	交流棟 捨てコンクリートの強度及びスランプ値は下記のいずれですか、御指示ください。 6. 金抜設計書のNo. A149ページ - Fc18S18 構造設計標準仕様書 - Fc15S15	Fc18S18としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
49	A-203	交流棟 地業の種類は下記のいずれですか、御指示ください。 6. 金抜き計算書のNo. A147ページ - 再生クラッシュラン 断面詳細図3 - 砂利	再生クラッシュランとします。
50	S-106	倉庫棟・渡り廊下 地中梁増打のあばら補強筋は梁のあばら筋と同径・同間隔としてよろしいですか、御指示ください。	配筋基準図(4)を参照してください。
51	S-106 S-104	倉庫棟・渡り廊下 地中梁天端レベルは下記のいずれですか、御指示ください。 地中梁リスト - FL-250 1階床伏図 - FL-350	1FL-300が正です。
52	S-001 A-402	倉庫棟・渡り廊下 地業は下記のいずれですか、御指示ください。 6. 金抜計算書のNo. A191ページ - 再生クラッシュラン 構造特記仕様書(その1) - 砂利 倉庫棟 断面詳細図 - 砕石	再生クラッシュランとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
53	S-107	倉庫棟・渡り廊下 頭付きスタッドH150に2階と記載ありませんが、かさ上げ高さh=50（P×1～2通り間／P Y 1通りG1：スラブ天端FL-50、梁天端FL-250）がある為、H150も適用としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
54	A-117	庁舎棟 耐火リスト1で耐火被覆材梁型に外壁ECPとケイカル板t25複合耐火があり、外壁ECP取合部に敷目板t15の記載がありますが、下地材のメンバー・ピッチを御指示ください。	C-60x30x1.6@450です。
55	A-407	倉庫棟・渡り廊下 1階脚洗い場の底スラブ（t100）の配筋が不明です。D13@200シングルクロスとしてよろしいですか、御指示ください。H150も適用としてよろしいですか、御指示ください。	立上壁、スラブ共に、タテヨコD10@200ダブル 端部、交差部はD13とします。H150も同様です。
56	S-402	車寄せ庇 柱脚部のSGLまで根巻きが必要と思われます。配筋はD13@200としてよろしいですか、を御指示ください。	D10@200 頂部D13-2 とします。
57	A-117	庁舎棟 耐火リスト1で耐火被覆材梁型に外壁ECPと半湿式吹付ロックウールt30複合耐火の記載がありますが、外壁ECP取合部にリブラスが必要としてよろしいですか、御指示ください。	メタルラス F500 W=200とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
58		庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A41ページに柱型～梁接合部耐火シート91.8m2の記載がありますが、施工範囲が不明です。施工範囲及び断面詳細を御指示ください。	柱から梁持ち出し部（ハンチ等）W=600幅です。
59		庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A41・42ページにALCと成形板取付金物及び開口補強金物吹付ロックウール200.1mの記載がありますが、図面上に取付金物部耐火被覆の記載がありません。必要な場合、外壁及び間仕切壁部のALC版・セメント板部の取付金物・開口補強金物に必要としてよろしいですか、御指示ください。	区画スパンドレル部のみロックウール吹付とします。 建具配置図において防火区画線端部外壁付近に「900」と表示していますのでその範囲の受けアングル・金物等とします。
60	A-102	共通 特記仕様書（2）の9. 防水工事で8. その他の防水処理に水損の予想される部屋は立上りを設けて防水処理を行うと記載があり、範囲がPS・EPS・電気室となっておりますが、防水処理の仕様・程度及び防水処理が必要PS・EPS・電気室の範囲を御指示ください。	PS・EPSまわりのみ、RC立上りW100×H100を周囲に立上げ、塗膜防水X-2仕上です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
61	A-102	<p>共通 特記仕様書（２）の１４．金属工事で４．軽量鉄骨天井下地の補強に以下のいずれかに該当する天井は耐震工法とし、仕様は図示と記載がありますが、今回該当無しとしてよろしいですか、御指示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定天井 ・ 天井面構成部材の単位面積当り重量 20 kg/m² を超える天井 ・ 傾斜、段差、曲面等の水平でない天井 ・ ふところが 3 m を超える天井 	お見込みのとおりです。
62	A-109 A-101	<p>共通 各棟建築面積の合計数量は下記のいずれですか、御指示ください。</p> <p>面積表 1 - 1897.45 m² 特記仕様書（１） - 2014.40 m²</p>	面積表1を正とします。
63		上記 特記仕様書（１）が正の場合、各棟毎の建築面積を御指示ください。	上記による。
64	A-104 A-401 A-501 A-606	<p>共通 倉庫棟立面図、駐車場・駐輪場上屋断面図及び外構詳細図 2 で倉庫棟腰壁仕上、駐車場根巻き仕上、ゴミステーション・ボンベ庫外壁・軒天仕上にコンクリート面塗装 A と記載がありますが、塗装 A の仕様は特記仕様書（４） 18 章塗装工事欄に記載の⑤耐候性塗料（A種）としてよろしいですか、御指示ください。</p>	お見込みのとおりです。 (18-7.4 コンクリート面耐候性塗料)

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
65	A-501 A-502	共通 駐車場・駐輪場上屋、車寄せ庇 幕板アルミパネル t 1.5 の表面仕上はフッ素樹脂焼付塗装としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
66	A-501 A-502	共通 駐車場・駐輪場上屋他 軒天ケイカル板 t 8 + 8 周囲に SUS PL - t 6 DP の記載がありますが、SUS の為、DP 塗装は不要としてよろしいですか、御指示ください。	DP-A種、サビ止め等は不要ですが上塗フッ素樹脂塗装のことです。
67	A-102	共通 図面上に記載のある木製巾木等で材種が不明の造作材は全て特記仕様書（2）の 12. 木工事に記載のある造作用集成材のヒノキとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
68	A-124 A-201	共通 庁舎棟 立面図及び断面詳細図 1 で外壁腰壁 RC 面仕上が不明です。外壁セメント板面と同様に耐候性塗料（A種）としてよろしいですか、御指示ください。	庁舎棟腰壁RC面はありません。 地中梁露出部はA-201に記載の通りです。
69	A-124	上記、RC面塗装下地は化粧打放しとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
70	A-113	共通 内部仕上表（3）で3階市長室他の壁仕上にシナ合板 t 6 の記載がありますが、コーナー部の出隅、入隅納め詳細を御指示ください。	拇 L-35×35 OSCLとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
71	A-105	共通 特記仕様書（５）に建築材料・メーカー・専門工事業者等指定一覧表がありますが、これは同等と考えてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。ただし、記載以外のメーカーの場合は同等の性能提示が必要となります。
72	A-103	共通 特記仕様書（３） １４．金属工事 ９あと施工アンカー欄で引抜き試験を行う。と記載がありますが、試験数を御指示ください。	各施工箇所において2か所です。
73	A-104	共通 特記仕様書（４） ２０．ユニット及びその他の工事で３４消火器ボックス（埋込型 鋼板製焼付塗装 指定色）の記載がありますが、程度を御指示ください。	メラミン焼付塗装程度とします。
74	A-102 A-107	共通 特記仕様書（２） １３．屋根及びとい工事 ３とい欄で材種が硬質ポリ塩化ビニル管 V P と記載がありますが、外部仕上表より全てカラーとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
75	A-102	又、防火区画部は貫通処理を行うと記載がありますが、樋は全て屋外の為、不要としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
76	A-102	共通 特記仕様書（２） １３．屋根及びとい工事 ３とい欄で養生管の記載がありますが、図面中に記載が無い為、不要としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
77	A-242	庁舎棟 部分詳細図（４）で外壁セメント板鉄骨梁貫通部塞ぎパネルの仕様がアルミパネル t 1. 5 と記載がありますが、表面仕上はフッ素樹脂焼付塗装としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
78	A-244	庁舎棟 部分詳細図（６）で屋上目隠し壁下地鉄骨の鉄骨面に表面仕上の記載がありませんが、目隠し壁の内側の鉄骨面は溶融亜鉛メッキ素地仕上としてよろしいですか、御指示ください。	S-024特記より、溶融亜鉛メッキ仕上のままです。
79	A-243	庁舎棟 部分詳細図（５）で屋上ハト小屋 配管貫通部塞ぎパネルにアルミパネル t 2. 0 の記載がありますが、表面仕上は B A - 2 種としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
80	A-239	庁舎棟 部分詳細図（１）の D - 0 1 0 2. 屋上パラペット詳細図で立上り防水押えコンクリート頂部にアルミ製水切（既製品）と記載がありますが、下記を御指示ください。 ・アルミの表面仕上は B A - 2 種としてよろしいですか。 ・アルミ製水切（既製品）の程度	アルミの表面仕上は B A - 2 種としてお見込みのとおりです。 水切は t = 2.0 押出成形品とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
81	A-243	庁舎棟 部分詳細図（５）で屋上出入口前屋外小階段踏面にコンクリート鑢仕上と記載がありますが、踏面仕上は 6. 金抜設計書No. A 80ページに記載のコンクリートほうき目仕上げとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
82	A-310	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A 44ページに成形板打込金物 FB-6×90 L=200@600 208mの記載がありますが、ECP詳細図の基礎部取付詳細図に記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	アングルピースL-50×50×6@600を躯体取付用のアンカープレートとして必要です。
83	A-239 A-242	庁舎棟 屋根防水押えコンクリート内容接金網の形状は下記 のいずれですか、御指示ください。 部分詳細図（１） - φ6-100×100 部分詳細図（４） - φ6-60×60	防水押えコンクリートは100×100、側溝モルタル塗りは50×50 です。 A-239 D-0101、D-0105、A-242 D-0401が正です。
84	A-210	庁舎棟 1階展開図（１）で情報コーナーの展開A面に間仕切壁の高さがH5000以上となっておりますが、間仕切補強下地鉄骨の詳細を御指示ください。	振止め付角形スタッド100×45 t=1.2です。 開口補強は仕様書に準じてください。 補強鉄骨は2C-75×45×15×2.3です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
85	A-239 A-242	庁舎棟 屋根排水溝モルタルのW寸法は下記のいずれですか、御指示ください。 部分詳細図（１） - W450 部分詳細図（４） - W300	W450を正としてください。
86	A-242	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A64ページで成形板鉄骨梁貫通部アルミパネルの厚みがt1.5とt2.0の2種類使い分けの記載がありますが、部分詳細図（４）より全てt1.5としてよろしいですか、御指示ください。	図面記載通りとしてください。
87	A-111 A-117	庁舎棟 内部仕上表（１）で1階市民ロビー他の壁仕上に耐火シート（EP）と記載がありますが、耐火リスト1の認定番号より耐火シートの表面に上塗り含まれると思われる為、EP塗装は不要としてよろしいですか、御指示ください。	設計書通りとしてください。
88	A-311	庁舎棟 EXP. J 詳細図で1階市民ロビーの梁型天端に木額縁t25と下地C-75×45×15×2.3の記載がありますが、木額縁の表面仕上及び下地C-75×45×15×2.3のピッチを御指示ください。	ポリ合板フラッシュ㊦25、下地@450としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
89	A-111	庁舎棟 内部仕上表（1）で1階執務室他の床下地にフリーアクセスフロアと記載がありますが、フリーアクセスフロア下には防塵塗装が必要としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
90		上記必要な場合、防塵塗装の程度を御指示ください。	ABC商会 シケドハードナーJP同等とします。
91	A-113	庁舎棟 内部仕上表（3）で3階サーバー室の床下地にフリーアクセスフロアBH500と免震床（別途工事）の2種類記載がありますが、各々の使い分け範囲を御指示ください。	フリーアクセスフロアH500の上に免震床(別途)を設置します。
92	A-102 A-111	庁舎棟 特記仕様書（2）の11. タイル工事で1. セラミックタイルにタイルBの施工箇所が便所壁と記載がありますが、内部仕上表（1）より施工箇所は便所床としてよろしいですか、御指示ください。	仕上表を正としてください。
93	A-250	庁舎棟 部分詳細図（12）のD-1201. 休憩室上がり框・敷台詳細で脱衣室の上框高さがH100と記載がありますが、凡例dより高さはH180としてよろしいですか、御指示ください。	上り框90×H60、蹴込板H40とします。
94		上記高さ100が正の場合、断面詳細を御指示ください。	上記による。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
95	A-114 A-226	4階議場一部の天井仕上は下記のいずれですか、御指示ください。 内部仕上表(4) - EP+岩綿吸音板 t9 1・2・3・4階天井伏図 - 岩綿吸音板 t9 (凡例B)	DR t9+EPとしてください。
96	A-113 A-249	庁舎棟 3階湯沸流し台前壁の仕上は下記のいずれですか、御指示ください。 内部仕上表(3) - 化粧ケイカル板 部分詳細図(11) - キッチンパネル	部分詳細図(11)を正としてください。
97		上記部分詳細図(11)が正の場合、キッチンパネルの厚み・程度を御指示ください。	製造所仕様とします。
98	A-219 A-113	庁舎棟 3階前室3-1の天井高は下記のいずれですか、御指示ください。 3階展開図(3) - CH3200 内部仕上表(3) - CH2700	CH3200とします。
99	A-114 A-226	庁舎棟 4階倉庫4-1・4-2の天井仕上は下記のいずれですか、御指示ください。 内部仕上表(4) - 直天 SOP 1・2・3・4階天井伏図 - アルミスパンドレル	直天 SOP塗りです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
100		上記天井伏図が正の場合、アルミスパンドレルの厚み・表面仕上・程度を御指示ください。	上記による。
101		庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A53ページに休憩室雑巾摺 桧W24×H15素地49.4mと記載がありますが、該当する範囲が不明です。不要としてよろしいですか、御指示ください。	部詳112 休憩室物入の床・中棚の「20×15」の範囲とします。
102		上記必要な場合、施工範囲を御指示ください。	上記による。
103	A-114 A-226	庁舎棟 4階物入の天井仕上は下記のいずれですか、御指示ください。 内部仕上表(4) - 直天 SOP 1・2・3・4階天井伏図 - 化粧PBt9.5 (一部有孔PB50%)	仕上げ表を正とします。
104	A-250 A-226	庁舎棟 休憩室、守衛室の押入内天井仕上は下記のいずれですか、御指示ください。 部分詳細図(12) - 化粧PBt12.5 1・2・3・4階天井伏図 - 化粧PBt9.5 (一部有孔PB50%)	化粧PBt12.5です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
105	A-201 A-112	<p>庁舎棟 水槽及びピットの天井仕上は下記のいずれですか、御指示ください。</p> <p>断面詳細図1 - 断熱材 A t 25、30 (押出ポリスチレンフォーム)</p> <p>内部仕上表(2) - 水槽：防水C(無機質浸透性塗布防水)</p> <p>ピット：コンクリート打放し素地</p>	<p>空調室(廊下等含む)の下部水槽・スラブ下は全て断熱ありとし、断熱材 A t=30とします。</p> <p>上記のうちピット天井は断熱材 t =25です。</p> <p>非空調室下の水槽天井は防水Cです。</p>
106		<p>上記断面詳細図1が正の場合、断熱材Aのt25とt30の使い分け範囲が不明です。各々の施工範囲を御指示ください。</p>	<p>上記による。</p>
107	A-112 A-122	<p>庁舎棟 内部仕上表(2)で水槽(防水)とピット(素地)の2種類記載がありますが、水槽の範囲はピット平面図より下記とし、その他はピットとしてよろしいですか、御指示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑用水槽(X1~2通り、Y1~Y1+5400通り間) ・雨水貯留槽(X1~2通り、Yb~Yb+6800通り間) ・沈砂槽(X1~2通り、Y3~Y3-3400通り間) ・消火水槽(X7~8通り、Ya~Yb通り間) 	<p>雑用水槽はX1~X2、Y1~Ya間のピットと記入のない場所、その他は左記の通りです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
108		庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A78ページに耐火間仕切～鉄骨取合金物C-90×45×2.337.0mの記載がありますが、図面上に記載が見当たりません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	下記部分とします。 ・2～4F 階段A X7-8、Ya-b、階段B X1-2、Ya-b ・2F吹抜け
109		庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A83ページに塗布防水部コーナーモルタル13.4mの記載がありますが、図面上に記載が見当たりません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	E Vピットの四周です。
110	A-225 A-248	庁舎棟 便所平面詳細図の市長・副市長室付近 便所平面詳細図で洗面化粧台(W1695)の記載がありますが、詳細は部分詳細図(10)のD-1003. 便所手洗い詳細図と同仕様としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
111	A-245 A-254	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A114ページに二重床防塵塗装143.0m ² と記載がありますが、部分詳細図(7)D-070 3床下地樹脂製床組、(16)D-1601ユニットフロアに記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	議場・市民ホール-鋼製床組下です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
112	A-201 ~204	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A120ページにスラブ底硬質ウレタンフォーム吹付 t 25 A種1H 難燃3級285. 0m ² と記載がありますが、断面詳細図1~4に記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	ドレン下、配管取り出し口下です。
113		上記必要な場合、施工範囲を御指示ください。	上記による。
114	A-209 A-213 A-216 A-220	庁舎棟 1~4階平面詳細図で執務室や会議室等で実線で記載の机・椅子・ロッカー・収納家具等の記載がありますが、工事区分表の5. その他欄に家具（造り付け以外）備品は別途工事と記載の為、全て別途工事としてよろしいですか、御指示ください。	図面は破線です。部分詳細図等がない破線の家具は別途工事です。
115		上記、本工事の項目がある場合、詳細及び設置場所を御指示ください。	上記による。
116	A-252	庁舎棟 部分詳細図（14）のD-1402. 応接室 造作家具・市長室 造作家具で収納棚の仕様が宿毛市産桧集成材と記載がありますが、扉・内部仕上・内部可動棚（1段）・巾木も全て宿毛市産桧集成材としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
117	A-248	<p>庁舎棟 部分詳細図（10）で身障者用手摺の下地補強が下記の様に記載されていますが、部分詳細図（10）のD-1005. 手摺ではPL-120×12×2. 3の記載もあります。各身障者用手摺 下地補強の仕様・寸法を御指示ください。</p> <p>D-1004. 小便器用手摺：下地補強木 杉 t 60 D-1007. 多用途用I型：下地補強木 杉 t 60 D-1007. 多用途用-型：下地補強木 杉 t 60 D-1006. 多用途用L型：耐水合板 t 12</p>	<p>厚みはお見込みのとおりです。。寸法はすべて300 x 100です。</p>
118	A-240 A-203	<p>庁舎棟 庇エキスパンドメタルの品番は下記のいずれですか、御指示ください。</p> <p>部分詳細図（2） - XS-62 断面詳細図3 - XS-63</p>	<p>XS-63が正です。</p>
119	A-220 A-250	<p>庁舎棟 部分詳細図（12）のD-1206. 倉庫 木製棚で木製棚 a（D750）、木製棚 b（D450）の2種類記載がありますが、4階平面詳細図（1）で倉庫4-1の木製棚はD450（木製棚 b）の図示のみです。木製棚 a（D750）は不要としてよろしいですか、御指示ください。</p>	<p>D-1206 符号に丸印表示したものが本工事です。</p>
120	A-250	<p>上記 木製棚 a（D750）が必要な場合、設置場所及びW寸法・か所数を御指示ください。</p>	<p>上記による。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
121	A-327 A-326	庁舎棟 4階議会事務局 ハイカウンター（H-3）のW寸法は下記のいずれですか、御指示ください。 家具詳細図6 - W1020 家具詳細図5 - W1045	W1020です。
122	A-301 A-302	庁舎棟 建具詳細図1・2でスライディングウォール上部補強金物にレール下地用鉄骨梁（H-148×100×6×8、H-100×100×6×8）支持ピッチ@3000（収納部は@2000）の記載がありますが、支持材のメンバーは鉄骨梁と同様にH-148×100×6×8又はH-100×100×6×8としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
123	A-306	庁舎棟 建具詳細図6でシャッターボックス受鉄骨（□-100×100×2.3）の記載がありますが、下記を御指示ください。 ・吊材のメンバー及び取付ピッチ ・振れ止め（L200、L300）のメンバー及び取付ピッチ ・受けプレート t 6.0のW寸法及び取付ピッチ	吊材のメンバーは□-100×100×2.3@900です。その他は図面の通りとし、製造所仕様によります。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
124	A-326 A-328	庁舎棟 3階J-4、ハイカウンター用スタッフ側補助脚のか所数は下記のいずれですか、御指示ください。 家具詳細図5 - 1か所 家具詳細図7 - 2か所	家具詳細図7を正とします。
125	A-209 A-322 ~328	庁舎棟 1階平面詳細図(1)で待合に記載台の記載がありますが、家具詳細図1~7に記載が無い為、別途工事としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
126	A-209	上記 本工事の場合、詳細を御指示ください。	上記による。
127	A-205 A-220	庁舎棟 4階平面詳細図(1)で廊下4-1スロープのY2通り側壁に手摺の記載がありますが、壁付手摺とし仕様は階段A詳細図1に記載の壁付手摺(樹脂製φ34)としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
128	A-205 A-207	庁舎棟 階段A詳細図1及び階段B詳細図1で壁付手摺の下地補強(C-65×45×20×2.3)はスラブ面まで、手摺受けごと。と記載がありますが、階段廻りにはスラブが無い為、ササラ桁間に豎通しで設置としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
129	A-202 A-104	庁舎棟 執務室他 固定防煙垂壁のH寸法は下記のいずれですか、御指示ください。 断面詳細図2 - H600 特記仕様書(4) - H500	H600とします。
130	A-123 A-220 A-254	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A73ページに4階傍聴席鋼製床組用 床下化粧点検口 1か所の記載がありますが、4階平面図・4階平面詳細図(1)及び部分詳細図(16)D-1601. ユニットフロアに記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	図面の通り、1か所、600角です。
131		上記 必要な場合、寸法及びか所数を御指示ください。	上記による。
132	A-326 ~328	庁舎棟 6. 金抜設計書のNo. A137ページにH-6. ハイカウンター W920 1か所の記載がありますが、家具詳細図5~7に記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	不要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
133	A-244 A-310 A-115 A-225 A-249 A-252 A-308 A-255	<p>庁舎棟 下記の仕様・寸法等を御指示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上目隠し壁部両開扉 折板(溶融亜鉛メッキ品)の厚み・程度 ・外壁セメント板頂部 取付金物下地L-65×65×6の取付ピッチ ・WC巾木ビニル床シート用見切縁の仕様・断面形状 ・身障者用手摺(洗面化粧台用)の仕様 ・流し台A 吊戸棚、レンジフード下地補強(H100)の仕様 ・ユニットシャワー 開口四方枠の仕様・表面仕上 ・市長、副市長室 収納棚 ガラス扉のガラス仕様・厚み ・AWD1、4廻り補強鉄骨(C形鋼)のメンバー ・議場天井木ルバー-足元補強 C-100×50×20×2.3(通し材)の繋ぎ材のメンバー及び取付ピッチ 	<p>下記のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折板厚みは図面通り、断面による製造所仕様。 ・外壁セメント板頂部 取付金物は1パネル2ヶ所、 ・WC立ち上げ巾木ビニル床シート用見切縁は製造所仕様 ・身障者用手摺はステンレスパイプ34φPVC樹脂被覆抗菌仕上 ・レンジフード下地補強は耐水合板 t = 12、 ・四方枠は柵100×25 SOP塗り、 ・ガラス扉はフロート3.0、 ・補強鉄骨のメンバーはC-100x50x20x2.3、 ・議場天井木ルバー-は記載の吊り材に取付け

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
134	A-102 A-124 A-103 A-117 A-113 A-254 A-245 A-112 A-222 A-249 A-253 A-303 A-251 A-104 A-301	<p>庁舎棟 下記の程度を御指示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁A 押出成形セメント板 デザインパネル t 6 0 + 1 5 ・外壁B 押出成形セメント板 フラットパネル t 6 0 ・目隠し壁 押出成形セメント板 ルーバー用フラットパネル t 6 0 ・パラペット内壁 吹付A 複層塗材E ゆず肌仕上 ・執務室等梁型 耐火ケイカル板 t 2 5 ・梁型耐火ケイカル板スリーブ 貫通部 ケイカルスリーブ 材の厚み・程度 ・市民ロビー他柱型 耐火シートの厚み・程度 ・3階SE室踏込部床 ビニル床タイル(OA707用 帯電防止)の厚み・程度 ・1階市民ロビー他床下地 鋼製床組 H 3 0 0 ~ 6 0 0 ・1階脱衣室他床下地 樹脂製床組 H 1 0 0 ~ 4 0 0 ・1階相談室1-2他床下地 嵩上材マット超高強度軽量コンクリート+樹脂 ・2・3階WC壁仕上 化粧ケイカル板 t 6 ・4階議場席背面壁仕上 内装薄塗材E ・1階守衛室他 ミニキッチン (L 9 0 0) ・3階湯沸室他 流し台A ・1階脱衣室他 ユニットシャワー (0 8 1 2型) ・書庫 集密書架 ・3階待合室他 ガラスパーティション ・4階議員控室2、3 スチールパーティション ・1階執務室他 天井吊ディスプレイハンガー ・壁固定ディスプレイハンガー ・タイル製点字タイル ・3F会議室3-1 スライディングウォール面 クロス 	<p>下記のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁A 押出成形セメント板 デザインパネル t 6 0 + 1 5 →ノザワ「タスロック」同等 ・外壁B 押出成形セメント板 フラットパネル t 6 0 →指定なし ・目隠し壁 押出成形セメント板 ルーバー用フラットパネル t 6 0 →指定なし ・パラペット内壁 吹付A 複層塗材E ゆず肌仕上 →指定なし ・執務室等梁型 耐火ケイカル板 t 2 5 →日本インシュレーション同等 ・梁型耐火ケイカル板スリーブ 貫通部 ケイカルスリーブ 材の厚み・程度 →日本インシュレーション同等 ・市民ロビー他柱型 耐火シートの厚み・程度 →エスケー化研「SKタイカシート」同等 ・3階SE室踏込部床 ビニル床タイル(OA707用 帯電防止)の厚み・程度 →指定なし 500×500 フリーアクセスフロア下地 FOA ・1階市民ロビー他床下地 鋼製床組 H 3 0 0 ~ 6 0 0 →指定なし ・1階脱衣室他床下地 樹脂製床組 H 1 0 0 ~ 4 0 0 →三洋工業「ホームベースe」同等 ・1階相談室1-2他床下地 嵩上材マット超高強度軽量コンクリート+樹脂 ・2・3階WC壁仕上 化粧ケイカル板 t 6 →指定なし ・4階議場席背面壁仕上 内装薄塗材E →アイカ「クライマテリア イタリアート」同等 ・1階守衛室他 ミニキッチン (L 9 0 0) →指定なし ・3階湯沸室他 流し台A →指定なし ・1階脱衣室他 ユニットシャワー (0 8 1 2型) →指定なし ・書庫 集密書架 →コクヨ同等 ・3階待合室他 ガラスパーティション →小松ウォール「マイティGWALL」同等 ・4階議員控室2、3 スチールパーティション →小松ウォール「マイティ70」同等 ・1階執務室他 天井吊ディスプレイハンガー →指定なし ・壁固定ディスプレイハンガー →指定なし ・タイル製点字タイル →LIXIL「ピアツァ」同等 ・3F会議室3-1 スライディングウォール面 クロス →指定なし 1000クラス

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
135	A-311	交流棟 EXP. J 詳細図で①屋根-外壁EXP. Jの記載がありますが、下記を御指示ください。 ・屋根-外壁EXP. J アルミ t 2. 0の表面仕上 ・屋根-外壁EXP. J 下部下地鉄骨（C形鋼）のメンバー・取付ピッチ	表面仕上C種フッ素樹脂塗装、C-100x50x2.3@450です。
136	A-209 A-246	交流棟 1階平面詳細図（1）で風除室1-1の壁符号にW-iとW-oと記載がありますが、凡例の詳細が不明です。部分詳細図（8）より壁符号E-iとE-oに読み替えてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
137	A-248	交流棟 部分詳細図（10）のD-1009ペレットストーブ煙突廻り詳細で垂壁タイル張+繊維混入石膏板 t 6 + 6 + LGSの記載がありますが、下端部小口枠の仕様・厚み・表面仕上を御指示ください。	ヒノキ集成材 W120 枠見付25 OSCLとします。
138	A-111	交流棟 内部仕上表（1）で1階車椅子置場のビニル巾木高さがH150と記載がありますが、メーカーより高さ150は無いと思われます。市民ロビー他と同様にH60としてよろしいですか、御指示ください。	ワイド巾木としてください。
139	A-203 A-226	交流棟 1階天井伏図で交流スペースにブラインドボックスの記載がありますが、断面詳細図3に記載がありません。仕様・断面寸法・表面仕上を御指示ください。	木製㊦25 柵W150 x H150 OSCLとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
140	A-248	交通棟 6. 金抜設計書No. A156ページにタイル～塗装壁見切縁柵 W25×D253.0mと記載がありますが、部分詳細図(10)D-1009ペレットストーブ煙突廻り詳細に記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	WX3・WY3コーナー部に4.15m必要です。
141		上記必要な場合、施工範囲を御指示ください。	上記による。
142	A-111 A-241	交流棟 6. 金抜設計書のNo. A184ページに煙突の記載がありますが、内部仕上表(1)及び部分詳細図(3)で煙突は別途工事と記載がある為、別途工事としてよろしいですか、御指示ください。	下がり天井より下部ペレットストーブ・煙突が別途工事です。D-1009を正としてください。
143	A-248	又、部分詳細図(10)D-1009:ペレットストーブ煙突まわりに記載の下記項目も別途工事としてよろしいですか、御指示ください。 風よけオーブドラム、断熱二重管φ100, SUS取付金具	上記による。
144	A-407	倉庫棟 部分詳細図(3)のDS-20. 外部鉄骨貫通部詳細の記載がありますが、下記を御指示ください。 ・塞ぎパネル PL-4, 5の仕様・表面仕上 ・塞ぎパネル周囲水切りの仕様・厚み・表面仕上	塞ぎパネル PL-4, 5は鉄骨溶接留め溶融亜鉛メッキDP塗装、水切りはアルミt2.0です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
145	A-404	倉庫棟 平面詳細図のA部詳細図で庁舎棟取合床EXP. J（アルミ押出型材）の記載がありますが、表面仕上及び 程度を御指示ください。	BA-1種とします。
146	A-405	倉庫棟 2階渡り廊下 軒天・スラブ見付の表面仕上は下 記のいずれですか、御指示ください。 部分詳細図（1） - 吹付A（複層塗材E） 6.金抜設計書 No.A229ページ - 耐候性塗料(DPA種)	DP-A種とします。
147	A-401 A-402	倉庫棟・渡り廊下 コンクリート腰壁の仕上は下記のい ずれですか、御指示ください。 平・立・断面図 - 防塵塗装 断面詳細図 - 吹付A	DP-A種とします。
148		上記、防塵塗装又は吹付Aの程度を御指示ください。	上記による。
149	A-102 A-402	倉庫棟・渡り廊下 縦樋掴み金物の仕様は下記のい ずれですか、御指示ください。 特記仕様書（2） - 亜鉛メッキのDP 倉庫棟断面詳細図 - ステンレス	亜鉛メッキの上DPです。
150	A-405	倉庫棟 下記の程度を御指示ください。 2階渡り廊下床 防滑ビニル床シート	東リNSシートNS800同等とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
151	A-240	共通 部分詳細図(2)のD-0202 アルミサッシで外壁押出成形セメントパネル-サッシ廻り断面詳細の記載がありますが、外壁押出成形セメントパネルに取付くサッシ枠廻りにはロックウール充填が必要としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
152	A-234	庁舎棟 建具表1でSS-1~4の仕上欄に表面仕上の記載がありません。スラットは溶融亜鉛メッキ鋼板 素地としてよろしいですか、御指示ください。	SOP仕上げです。
153	A-236	庁舎棟 建具表3でAW-1Aの合計か所数が7か所と記載がありますが、各階毎の内訳の合計より6か所としてよろしいですか、御指示ください。	5か所に変更となります。
154	A-234	庁舎棟 建具表1でSD12の表面仕上が両面天然木突板張t4と記載がありますが、天然木突板の木の材種を御指示ください。	ヒノキ柾目です。
155	A-236	庁舎棟 建具表3でAW-7他突出窓にオペレーター装置の記載がありますが、手動式オペレーター装置としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
156	A-236	庁舎棟 建具表3でAW-2A・3・3Aの設置場所に便所と記載がありますが、ガラス欄ではガラス仕様が複層ガラスFL6+A6+FL6です。便所部分はガラス面に目隠しフィルムが必要としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
157	A-237	庁舎棟 建具表4でAWD-4の付属金物欄に引出窓部：外開き網戸と記載がありますが、引出窓部に取付く外開き網戸の詳細を御指示ください。	内開きと読み替えてください。
158	A-237 A-308	庁舎棟 建具表4でAWD-4の付属金物欄に小庇の記載がありますが、建具詳細図8に小庇の記載がありません。不要としてよろしいですか、御指示ください。	外額縁と読み替えてください。
159	A-237	庁舎棟 建具表4でAWD-5のガラス欄にFL6+A6+FL6と記載がありますが、自動ドア部のガラス仕様はAWD-2と同様に強化ガラスt10としてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
160	A-237	庁舎棟 建具表4でAWD-9・10に自然換気窓の記載がありますが、自然換気システムの詳細又は程度を御指示ください。	A-307を参照してください。オペレーター（電動）、降雨センサー、風速センサー、その他標準的な動作に必要な金物一式です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
161	A-309	建具詳細図9でAWD-5ガラリ裏にチャンバーボックスの図示がありますが、チャンバーボックスの仕様・厚みを御指示ください。	ステンレスPL-1.5曲げ加工2B仕上とします。
162	A-237 A-309	又、建具表4でAWD-2・3にもガラリの記載がありますが、上記と同仕様のチャンバーボックスが必要ととしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
163	A-237 A-307	庁舎棟 AWD-9・10の自然換気窓下嵌殺窓部のガラス仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 建具表4 - 複層ガラス (FL10 + A12 + FL10) 建具詳細図7 - 複層ガラス (FL12 + A12 + FL12)	建具表を正としてください。
164	A-306 A-103	庁舎棟 シャッターガイドレール・マグサ・座板の仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 建具詳細図6 - スチール 特記仕様書3 - ステンレス	ガイドレール：特記仕様書、マグサ・座板スチールとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
165	A-401	倉庫棟・渡り廊下 1階平面図でP X 2通りゴミ袋置場共用倉庫・備蓄倉庫（P Y 2 - 3通り間）のS S（シャッター）の建具符号がS D - S 1と記載がありますが、S D - S 1は建具表より、両開フラッシュドアです。S S - S 1に読み替えてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
166	A-401	倉庫棟・渡り廊下 建具表でA W - S 1の付属金物欄に外部アルミ見切の記載がありますが、断面詳細を御指示ください。	A-240 D-0202を参照してください。
167	A-604	屋外付帯工事 外構・植栽計画図で芝張の記載がありますが、灌水設備は必要でしょうか、必要な場合、程度を御指示ください。	機械設備図を参照してください。
168	A-604	屋外付帯工事 外構・植栽計画図で南側出入口にW 6 0 0 0（3か所）の記載がありますが、敷地外歩道切り下げが必要と思われます。詳細を御指示ください。	歩道の切り下げは造成工事にて完了しています。
169	A-604	屋外付帯工事 外構詳細図1 E X - A 1 2 0 ネットフェンス詳細図の記載がありますが、ネットフェンスの程度を御指示ください。	メーカー指定は行いません。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
170		又、足元基礎の仕様に独立基礎及び布基礎の2種類記載がありますが、独立基礎が該当するものとしてよろしいですか、御指示ください	お見込みのとおりです。
171	A-607	屋外付帯工事 外構詳細図3 EX-A301 落蓋式U型側溝_歩道用(U1) 詳細図の側溝寸法欄に300Bの記載がありますが、雨水排水計画図にU1-300Bの記載がありません。U1-300Bは該当範囲無しとしてよろしいですか、御指示ください。	お見込みのとおりです。
172	A-703	屋外付帯工事 職員駐車場外構詳細図でEX-B110職員用駐輪場詳細図の記載がありますが、駐輪場上屋の程度を御指示ください。	図面の通りです。特記仕様書5によります。
173	A-604	屋外付帯工事 外構・植栽計画図で庁舎棟東側に点字ブロックの記載がありますが、誘導型・警告型各々の範囲を御指示ください。	誘導型131か所・警告型18か所です。
174	A-605	屋外付帯工事 外構詳細図1 EX-A111 U形側溝(現場打ち) 2 詳細図で蓋の仕様にグレーチングとコンクリート蓋の2種類記載がありますが、各々のL寸法及びピッチを御指示ください。	A-603 庁舎北側現場打側溝部分を参照ください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
175	A-105	屋外付帯工事 客土の仕様は下記のいずれですか、御指示ください。 特記仕様書（５） ②植栽工事及び屋上緑化工事①樹木の植栽基盤整備 － C種 特記仕様書（５） ②植栽工事及び屋上緑化工事②植込み用土 － 畑土	図示の通りです。 基盤整備C種として客土(畑土)に置き換えます。
176	A-606	屋外付帯工事 外構詳細図２にEX-A202 設備・懸垂幕 基礎詳細図の記載がありますが、コンクリート強度及びス ランプ値を御指示ください。	FC-18 S-15です。
177	A-606	外構詳細図２のEX-A211. 地下タンク外形図で配管 トレンチの記載がありますが、配管トレンチ蓋（t150 W730）の詳細を御指示ください。	コンクリート蓋730 x 500 x t150 x 7枚です。
178	A-606	ゴミステーション・ボンベ庫・地下タンクでコンクリート 強度Fc21とありますがスランプ・セメント種類が不明 です。いずれも下記としてよろしいですか、御指示くださ い。 スランプ － 15cm セメント － 普通ポルトランドセメント	下記のとおりとします。 ゴミステーション・ボンベ庫：S18（基礎部分S15） 地下タンク：S15 セメント：地上 普通ポルトランドセメント 地下：高炉セメントB種

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
179	A-606	地下タンクのトレンチ下地業は下記内容としてよろしいですか、御指示ください。 捨てコンクリート t 5 0 再生クラッシュラン t 1 0 0	図面通りとしてください。
180	M-9~12 M14~17	直天の執務室、廊下、書庫、物入、倉庫の保温仕様は、M-01特記仕様書（1）の12項「屋内露出」仕様でよろしいでしょうか。	「屋内露出」仕様とします。
181	M01	特記仕様書「12保温」において、アルミガラスクロス仕上げの場合、塗装は不要と考えてよろしいでしょうか。	塗装は不要です。
182	M-9~12 M14~17	不燃木ルーバー天井の市民ロビー・情報コーナー・待合・EVホール・議場の天井内保温仕上げは、アルミガラスクロスとし塗装不要と考えてよろしいでしょうか。	黒色アルミガラスクロスとし、塗装は不要です。
183		倉庫棟西側が敷地境界線までの距離が近い為、基礎掘削また外部足場設置等で仮囲い等を敷地境界線を越えての設置は可能でしょうか。御指示願います。	質疑回答(第4回)No.12にて回答したとおりです。
184		実施設計書の塗装工事内訳書（A108）で、議場独立壁内装薄塗材E（ボード面平坦状磨き）の同等製品名と施工部位を教えてくださいませんか。御指示願います。	アケ クイマテリア イリアート 弾性が 同 等 と し ま す。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
185	E-028	照明器具リストにて倉庫4-1にA3×3と記載がありますが、委員会室1にO×9台、委員会室2にOを6台とA3×3台を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	委員会室のA3は不要とします。
186	E-50	出退表示設備において、編集用PCの台数が不明です。1台を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	1台として下さい。
187	E-023～024	照明器具姿図(1)(2)にて、F1とZ30bの姿図がありますが、平面図では見当たりません。F1とZ30bはないものと考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
188	E-057～059	3階会議室の会議設備において、「デジタルワイヤレスマイクタイピン型、デジタルワイヤレスマイク用充電器、卓上型マイクスタンド、床上型マイクスタンド、デジタルワイヤレスマイクハンド型、充電器(4階と共用)」の記載がないため、金抜き設計書の台数を正と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
189	E-001～002	直天の執務室、廊下などのケーブル及びケーブルラックの塗装工事は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	直天部分の電線管・ケーブルラックはすべて塗装工事が必要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
190	E-001~002	不燃木ルーバー天井のEVホールなどのケーブル及びケーブルラックの塗装工事は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	不燃目ルーバー部分部分の電線管・ケーブルラックはすべて塗装工が必要です。
191	M-01	直天の執務室、廊下などの屋内露出配管・ダクトは保温工事の仕様を屋内露出仕様とし、塗装工事は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	屋内露出仕様とします。 外装材がカラー鉄板などの場合は塗装は不要です。
192	M-01	不燃木ルーバー天井のEVホールなどの屋内露出配管・ダクトは保温工事の仕様を屋内隠蔽仕様とし、塗装工事は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	屋内隠蔽仕様（黒色アルミガラスクロス）とし塗装は不要です。
193	M-05,16	全熱交換器（HEU-305）が機器表には記載がありますが、空調設備 3階平面図（ダクト）の待合室には記載がありません。 機器表を正とし、3階待合室に設置するものと考えて宜しいでしょうか。設置する場合、ダクト図を送付願います。	全熱交換器（HEU-305）は隣接する執務室に設置しています。 M-16図をご確認ください。
194	M-44	浄化槽用機械室は重耐塩害仕様ではなく、一般型で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	重耐塩害仕様でお見込み下さい。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
195	A-329	エレベーター詳細図(1)にて、基本仕様の欄に「定格速度60m/min、最高速度105m/min」と記載がありますが、メーカーによっては対応不可能な仕様となります。メーカーフリーとし、「定格速度60m/min（固定）」と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	「最高速度105m/min」を「最高速度90m/min」と読み替えることとします。
196	A-119	掘削開始レベルに関して、設計GL±0(KBM21.80)からと考えて宜しいですか。御指示願います。	A-119現況図・仮設計画図にある現況レベルからの掘削開始とします。
197		地業工事にに関して、使用する砕石は全て再生クワッランと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
198	S-001	コンクリートの仕様に関して、地上コンクリートはデッキ立上りはS-15、その他はS-18と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
199	A-203	土に接するスラブ地業に関して、基礎梁外周部のみに断熱材・防湿材の立下りH=300が必要と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
200	S-006	特記仕様書 14.柱、梁の打増しコンクリート補強に関して軸方向補強筋にD19が使用されており、継手が必要な場合はガス圧接を用いるものと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
201	S-005 S-037	特記仕様書 13.梁貫通孔の補強に関して、13-13より既製品を用いるものと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
202		上記に関連して、梁貫通孔の鉄筋による補強要領を御指示願います。	—
203	A-402 S-104 S-106 S-108	基礎梁の天端バルに関して、下記の様に相違があります。設計GL-350を正と考えて宜しいですか。御指示願います。 ・1階床伏図:1FL-350 ・地中梁リスト:設計GL-300 ・PY5通 鉄骨詳細図:設計GL-350 ・倉庫棟断面詳細図:設計GL-350	1FL-300を正とします。
204	S-509	軸組図に関して、1FL=GL+50とありますが、意匠図 断面詳細図3より1FLと設計GLの関係は1FL=設計GL+300と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
205	S-001 A-203	土間下地業に関して、下記の様に相違しています。意匠図 断面詳細図3を正と考えて宜しいですか。御指示願います。 ・構造特記仕様書：捨てコン無し+砕石T100 ・断面詳細図3：捨てコンT50+砕石T60+防湿材t0.15+断熱材t30	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
206	S-501	コンクリートの仕様に関して、土間コンクリートのスランプが不明です。S-15と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
207	S-508	基礎断面図に関して、土間コンクリート上部にあるRC立上りの仕様はFC=24 S-18 高性能AE減水剤を見込むものと考えて宜しいですか。御指示願います。	土間コンクリートと同仕様としてください。
208	S-001 S-501	捨てコンクリートの仕様に関して、下記の通り相違しています。 FC=18 S-18を正と考えて宜しいですか。御指示願います。 ・S-001:FC=18 S-18 ・S-501:FC=15 S-15	お見込みのとおりです。
209	A-242 A-243	屋上溶接金網が6-60×60と記載されておりますが、一般的によく使用される6-100×100として宜しいですか。	お見込みのとおりです。
210	A-310 金抜き設計書 A43,A44	A-310図左下のジョイント部取付詳細図中の「下地鋼材L-65×65×6@600」について、設計書に見当たりません。必要と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
211	A-311	屋根-外壁 EXP.jの屋根立上り部の鉄骨部材の仕様・詳細が不明です。御指示願います。	C-100x50x20x2.3@450です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
212	A-241	部分詳細図(3)のB部詳細図で、束材 PL-6 L型 曲げ加工がありますが、取付ピッチが不明です。御指示願います。	キープランに記載の通りです。
213	A-203	交流棟 wY1通りにおいて基礎が表しになっておりますが、仕上げに関して仕様をご指示ください。	DP A種とします。
214	実施設計書 A-501	柱型足元周囲の水切で、実施設計書に数量は無いですが、<車寄せ庇>と同様、見込むものと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
215	実施設計書 A-503	屋根ですが、止め面戸・軒先見切面戸が実施設計書にありませんが、見込むものと考えて宜しいですか。御指示願います。 又、水上には化粧フレームは不要ですか。御指示願います。	止め面戸、軒先見切面戸は不要とします。 水上化粧フレームは見込むものとします。
216	実施設計書 A-503	柱型足元周囲の水切で、実施設計書に数量は無いですが、<車寄せ庇>と同様、見込むものと考えて宜しいですか。御指示願います。	不要とします。
217	A-107	外部の軒天井の廻縁は、特記無限りアルミ製 BA-2種と考えて宜しいですか。御指示願います。	庁舎棟についてはお見込みの通りです。 その他は不要とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
218	A-255	議場の天井ルーバーについて、参考明細の項目の図番に、A-256とありますが、図面にA-256はありません。資料ありましたら、御提示願います。	A-255とします。
219	A-112	2F廊下2-2等、仕上表でブライントボックスはありますが、ブライントが適用されていない箇所があります。ブライントは不要と考えて宜しいですか。御指示願います。	仕上表によります。
220	A-201	ピット天井の断熱打込みの厚みが、t=25とt=30と混在しています。t=25を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	空調室（廊下等含む）の下部水槽・スラブ下は全て断熱ありとし、断熱材A t=30とします。上記のうちピット天井は断熱材 t = 25です。
221	A-111	各廊下天井のルーバーについて、仕上表に塗装品とあります。現場塗装OSCLは不要と考えて宜しいですか。御指示願います。	全て不燃・塗装品のため、不要です。
222	A-111 A-226	各階便所天井伏図にブライントボックスの記載がありますが、仕上表には記載がありません。天井伏図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
223	A-102	PS・EPSの床・立上りの仕上ですが、特記仕様書(2)防水工事⑧その他の防水処理より、塗膜防水 立上りH=100と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
224	A-212 A-250	脱衣室の上框はW90*H100と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
225	A-113 A-251	部分詳細図(13)/D-1302 手動スクリーンボックスにスクリーンの記載がありますが、仕上表(3)によりスクリーンボックスのみ建築工事と判断し、スクリーンは別途工事と考えて宜しいですか。建築工事の場合、仕様等詳細を御指示願います。	電気工事(本工事)です。
226	A-117	梁型の耐火被覆において見え隠れ部分は半湿式ロックール吹付と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
227	A-117 A-226	梁型の耐火被覆において見掛けと見え隠れ部分で耐火被覆の仕様がケイカル板と半湿式ロックール吹付で異なりますが、部材によっては、1スパンで見掛けと見え隠れ部分が混在する場所があります。その場合、1スパンの部材全体の耐火被覆は、ケイカル板と考えて宜しいですか。御指示願います。	1スパンで種別が異なる場合は、見え掛りFK 見え隠れRWで部材の途中、天井内で区切ります。
228	A-117	天井不燃木ルバー部分の梁型耐火被覆にEP塗装は必要と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
229	A-111	天井不燃木ルバー用の天井LGSに塗装は不要と考えて宜しいですか。必要な場合、仕様等詳細を御指示願います。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
230	A-245	部分詳細図(7) D-0702-a 軽量コンクリート嵩上げ材において捨張合板は不要と考えて宜しいですか。必要な場合、仕様等詳細を御指示願います。	お見込みのとおりです。
231	A-327	金抜き設計書No.A137にH-6 ハイカウンターが1か所計上されていますが、家具詳細図6に記載がありません。不要と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
232	金抜き設計書	金抜き設計書NO.A41の層間塞ぎにおいて意匠図に仕様の記載がありません。金抜き設計書によると考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
233	金抜き設計書	金抜き設計書NO.A48の消火水槽他床塗布防水 C-UI 仕上塗231㎡において、数量が多いように思われます。施工範囲は消火水槽・雑用水層・沈砂槽・雨水貯留槽と考えて宜しいですか。他に施工範囲がありましたら御指示願います。	PSも施工範囲とします。
234	A-205 階段A	R階X7通り内部壁は、X7通りから外面へ50mmが仕上がりになっていますが、A-206図のA-A断面詳細図と異なります。A205図を正しいとして宜しいですか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
235	金抜き設計書	<p>金抜き設計書において下記項目の記載がありますが、意匠図に記載が無く、施工範囲が不明です。御指示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO.A41 柱型～梁接合部 耐火シート 見掛り 屋内用 1時間耐火 91.8㎡ ・NO.A48 塗布防水部コーナーモルタル ・NO.A114 二重床 防塵塗床 水性アクリル樹脂塗料 標準色 143㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・NO.A41：梁型のハンチ部分（L=600）です。S-34図を参照してください。 ・EVピットです。 ・議場・市民ロビー 鋼製床組下です。
236	共通	<p>下記のメーカー・品番を御指示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火塗料 ・耐火シート ・汚垂タイル ・ビニル床タイル t=4.5 帯電防止用 ・鋼製床組 ・樹脂製床組 ・床 嵩上げマット ・リブ付き押出成形セメント板 	<p>下記のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火塗料 →指定なし ・耐火シート →エスケー化研「SKタイカシート」同等 ・汚垂タイル →指定なし 600×800 ・ビニル床タイル t=4.5 帯電防止用 →指定なし 500×500 フリーアクセスフロア下地 FOA ・鋼製床組 →指定なし ・樹脂製床組 →三洋工業「ホームベースe」同等 ・床 嵩上げマット →共同カイトック「ネットワークフロア40」同等 ・リブ付き押出成形セメント板 →ノザワ「タスロック」同等
237	A-209	<p>交流スペースの壁構成について、自販機コーナーに面する壁面にW-iとあり、構造壁よりfカ壁を構成しているようですが、詳細が不明です。御指示願います。</p>	<p>A-246図「E-i」を「W-i」と読み替え、下地をダブルで見込むものとします。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
238	A-246 S-505	参考明細にて、構造用合板t=6.0木造用(138㎡)と項目があります。部分詳細図では、構造用合板t=9.0です。部分詳細図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。又、構造図では、構造合板貼まで、木構造にて、見込んでいるようです。木工事の構造合板・木構造での構造合板のそれぞれの範囲が分かる資料の御提示願います。	構造用合板はt=9.0を正とします。 構造用合板138㎡の内訳 ・木構造用：55.17㎡ ・仕上用：82.77㎡
239	A-103 A-236	アルミ製建具につきまして、特記仕様書で気密性A-4となっておりますが、建具表共通事項では気密性A-3とA-4に○がついています。特記仕様書を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
240	A-236 A-237 A-240	アルミ製建具につきまして、建具表で小庇と記載のある建具がありますが、小庇の仕様は部分詳細図 D-0202より、アルミ小庇D100と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
241	A-237 E-054	AWD-1につきまして、入退出管理・ITV設備で電気錠の記載がありますが、建具表では電気錠の記載はありません。入退出管理・ITV設備図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	建具表を正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答												
242	A-237 A-308	AWD-1のW寸法につきまして、建具表でW2910(1110+100+1700)となっていますが、建具詳細図ではW2960(1160+100+1700)となっています。建具表を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	建具表を正とします。												
243	A-237 A-307	AWD-9・10につきまして、W寸法・ガラスの仕様が建具表と建具詳細図で相違しています。建具詳細図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>建具記号</th> <th>建具表</th> <th>建具詳細図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AWD-9</td> <td>W23070</td> <td>W23250</td> </tr> <tr> <td>AWD-10</td> <td>W17670</td> <td>W17850</td> </tr> <tr> <td>A部ガラス</td> <td>FL10+A12+FL10</td> <td>FL12+A12+FL12</td> </tr> </tbody> </table>	建具記号	建具表	建具詳細図	AWD-9	W23070	W23250	AWD-10	W17670	W17850	A部ガラス	FL10+A12+FL10	FL12+A12+FL12	建具表を正とします。
建具記号	建具表	建具詳細図													
AWD-9	W23070	W23250													
AWD-10	W17670	W17850													
A部ガラス	FL10+A12+FL10	FL12+A12+FL12													
244	A-237	AWD-9・10につきまして、自然換気窓部に必要な金物・センサーなどの詳細図がありましたら御指示願います。	オペレーター（電動）、降雨センサー、風速センサー、その他標準的な動作に必要な金物一式とします。												
245	A-124 設計書	非常用進入口マークにつきまして、立面図で数量が不明です。設計書No.A103より、非常用進入口マーク外貼り用12ヶ所を見込むとと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。南立面図に記入しています。												
246	A-247 設計書	設計書で、建具廻りシーリング MS-25×10 115m計上されていますが、図面の拾い数量では221mです。図面の拾い数量を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	サッシ下枠～水切間は建具工事に含んでおり、シーリング数量には未計上としています。												

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
247	A-234	SD-7につきまして、建具表姿図で縦枠のH寸法が不明です。天井高よりH3650と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
248	A-234	SS-1～4・SD-6のスラットにつきまして、建具表で仕上が不明です。スラットの仕上は素地と考えて宜しいですか。御指示願います。	SOPとします。
249	A-103 A-305 A-306	SS-1～4・SD-6のガイドレール、マグサ、座板につきまして、特記仕様書でガイドレール等ステンレス製となっていますが、部分詳細図では、ガイドレール・マグサ・座板 スチールとなっています。部分詳細図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	ガイドレールはステンレス、マグサ・座板はスチールとする。
250		前述の質疑につきまして、スチール製の場合、仕上はSOP塗装と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
251	A-228 A-234	SD-TK2につきまして、キープランで1階階段Bの防火区画部にSD-TK2が取り付けられています。建具表では防火性能の記載はありません。防火区画に取り付けている為、1階階段B部SD-TK2は特定防火設備と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答															
252	A-235	SF-1の枠見込につきまして、建具表で枠見込116・119と記載がありますが、便所平面詳細図より、壁(W3)部につくSF-1の枠見込は枠見込122と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。															
253	A-238 A-303 A-304	SP-1～3につきまして、建具表と建具詳細図で飛散防止フィルムの範囲が相違しています。SP-1～3は強化ガラスを使用している為、SP-1～3全てに飛散防止フィルムを見込むと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。															
254	A-234 A-235 E-054 E-055 E-056	下記建具につきまして、建具表と入退出管理・ITV設備で電気錠が相違しています。入退出管理・ITV設備を正と考えて宜しいですか。御指示願います。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">建具記号</td> <td style="width: 30%;">建具表</td> <td style="width: 50%;">入退出管理・ITV設備</td> </tr> <tr> <td>SD-10</td> <td>電気錠無</td> <td>電気錠付</td> </tr> <tr> <td>LSD-2A</td> <td>電気錠無</td> <td>電気錠付</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1階書庫1-2 1ヶ所)</td> </tr> <tr> <td>LSHD-1</td> <td>電気錠付</td> <td>電気錠無</td> </tr> </table>	建具記号	建具表	入退出管理・ITV設備	SD-10	電気錠無	電気錠付	LSD-2A	電気錠無	電気錠付	(1階書庫1-2 1ヶ所)			LSHD-1	電気錠付	電気錠無	建具表を正とします。
建具記号	建具表	入退出管理・ITV設備																
SD-10	電気錠無	電気錠付																
LSD-2A	電気錠無	電気錠付																
(1階書庫1-2 1ヶ所)																		
LSHD-1	電気錠付	電気錠無																
255	A-238	WF-1～3につきまして、建具表でワッ合板面に仕上の記載がありませんが、ワッ合板に仕上は不要と考えて宜しいですか。御指示願います。又、仕上が必要な場合は仕上を御指示願います。	OSCLとします。															

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
256	A-237 A-308	AWD-2につきまして、設計書No.A170で枠見込75・125・135と記載がありますが、建具表では枠見込250となっています。建具詳細図8でも枠見込75・125・135となっている為、AWD-2の枠見込は75・125・135と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
257	設計書	設計書で、建具廻り 珪砂充填 防水剤入 3.4m計上されていますが、図面の拾い数量では25.7mです。図面の拾い数量を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	設計書ではAWD-5の数量が計上漏れとなっていました。設計書数量を6.9mとします。 (必要範囲はAWD-2及びAWD-5の引き分け戸部足元。)
258	A-103 A-406	OSD-1のガイトールにつきまして、特記仕様書でガイトールステンレスとなっていますが、部分詳細図ではガイトールスチールとなっています。部分詳細図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	特記仕様書を正とします。
259		前述の質疑につきまして、スチール製の場合、仕上はDP塗装と考えて宜しいですか。御指示願います。	上記による。
260	A-401 A-406	SS-S1のスラットにつきまして、建具表でスチール1.6 DPとなっていますが、部分詳細図ではスチール1.0t 色:サント ホットライトグレーとなっています。建具表を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
261	A-103 A-401 A-406	SS-S1につきまして、特記仕様書でガレージ等 ステンレス製と なっていますが、部分詳細図では座板の材質がアルミとなって います。ガレージ・マガサの仕上に倣い、座板の仕上はSUS 2B HL仕上と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
262	A-240 A-308 設計書	外部建具枠廻りシーリングにつきまして、設計書と図面でシーリング のサイズ の相違があります。図面に記載のシーリング のサイズ を正と 考えて宜しいですか。御指示願います。	設計書では図面に記載のシーリングサイズを計上しています。
263		前述の質疑につきまして、否の場合、使い分けを御指示願 います。	図面通りの使い分けとしています。 建具詳細図がある部位は建具詳細図を優先し、ない場合は標準詳 細図（A-240図D-0202）にならい計上しています。
264	A-119	現況レベルのポイントが敷地外周部分のみの記載です。敷地内の 現況レベルのポイントを御指示願います。	敷地外周部レベルを結んだレベルとします。
265	A-604	来庁者駐車場に軽自動車専用駐車場がありますが、設計書に 路面標示「軽」の項目がありません。必要と考えて宜しいです か。御指示願います。	お見込みのとおりです。
266	A-604 No.A294	設計書/構内舗装に路面標示「セブ ラン」がありますが、外構 図で該当箇所が不明です。設計書通りの数量を見込むものと 考えて宜しいですか。御指示願います。	不要とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
267	A-604 No.A292	点字ブロックについて、設計書で位置表示型と誘導表示型の記載がありますが、外構図では使い分けが不明確です。設計書の数量を見込むものと考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
268	A-603 No.A298	現場打ち側溝W300について、設計書ではH200、雨水排水計画図ではH300と相違します。雨水排水計画図を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	雨水排水計画図を正とする。
269	A-606	ゴミステーションについて、床仕上が不明です。コンクリート金縷仕上と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
270	A-606	タケノコ横トレフについて、蓋の仕様が不明です。蓋の仕様を御指示願います。	コンクリート蓋730 x 500 x t150 x 7枚です。
271	A-319 No.A303	O3サイン基礎について、設計書ではW1200*D900*H500、サイン詳細図1ではW900*D900*H500 2個と相違します。サイン詳細図1を正と考えて宜しいですか。御指示願います。	お見込みのとおりです。
272	A-319 No.A303	O4サイン基礎について、設計書ではW7000*D1200*H1200、サイン詳細図1ではW7000*D2200*H1700と相違します。サイン詳細図1を正と考えて宜しいですか。正の場合、根巻き部分のコンクリートのW*D寸法を御指示願います。	お見込みのとおりです。 根巻きコンクリート：W2500×D1400

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
273	金抜設計書	仮囲いの仕様・数量、ガードマンの配置・人数については参考仮設として宜しいですか。	設計書に示す数量は最低数量と考えてください。
274		直天の執務室、廊下等の保温の仕上げは、標準仕様書の室内露出仕様として宜しいでしょうか。御指示願います。	屋内露出仕様とします。
275		不燃木ルーバー天井内の保温は隠蔽仕様、塗装は不要としますが、宜しいでしょうか。御指示願います。	屋内隠蔽仕様（黒色アルミガラスクロス）とし塗装は不要です。
276		倉庫及び書庫内の保温は隠蔽仕様、塗装は不要としますが、宜しいでしょうか。御指示願います。	倉庫仕様とし、塗装は不要です。
277	S-101・A-101・BQ内 訳書 No.A10・A146・A190・A238・A257・A276	特記仕様書(1)3.土工事1埋戻し及び盛土においてB種となっておりますが、BQ内訳書を優先としてA種と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
278	S-101・A-119・BQ内 訳書 No.A10・A146・A190・A238・A257・A276	根切り開始レベルにおいて、現況図にはグリッドの様な詳細なレベル高さは特に記載が無く、又BQ内訳書にも根切り開始レベルの記載がありません。 見積上は設計GL±0を根切り開始レベルと考えて宜しいでしょうか。	外周レベルの平均より算出しています。
279	S-101・A-101・BQ内 訳書 No.A11・A147・A191・A239・A258・A277	砂利地業において、図面内に砂利地業の種別が見受けられません。BQ内訳書を優先として再生クラッシュラン、RC-40程度と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
280	S-101・A-101・BQ内 訳書 No.A11・ A147・ A191・ A239・ A258・ A277	4.コンクリート工事1.材料の高炉セメントB種において。使用場所に1FL以下の部分、1FL腰壁と記載がありますが、BQ内訳書のコンクリート工事項目には記載がなく使用の有無がわかりません。図面を優先と考え、基礎部の1FL以下の部分と地上である1FL腰壁については高炉セメントB種を採用すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
281	S-101・A-101・BQ内 訳書 No.A11・ A147・ A191・ A239・ A258・ A277	4.コンクリート工事1.コンクリート注)(4)SLは特記ない場合は、基礎・地中梁は15cm、その他は18cmとすると記載がありますが、BQ内訳書では18cmの記載がありません。BQ内訳書を正と考え、基礎・地中梁に接する床版・小梁・礎柱についてもSL15cmと考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
282	S-001・015	デッキスラブコンクリートに膨張剤(デンカパワーCSA程度)は不要と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
283	S-005・029・106	11.スラブの受け筋部にバ-ホ-トの図示がありますが、使用範囲は庁舎棟S符号のS1,S2,S3,S3A,S3B,S4,S5・倉庫廊下棟S符号のS1に採用と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
284	S-037～042	床・壁(ハ小屋。パ-ラ-ット等)に躯体に対してスリーブの記載が無い様です。スリーブがあれば開口補強等を見込むものと思われませんが、今回は庁舎棟及びそれ以外の棟を含め見積には含まないと考えて宜しいでしょうか。違う様でしたら図示又は指示数量等を御指示下さい。	開口補強を伴うスリーブはありません。
285	S-015	梁継ぎ手部デッキ受及び柱廻りデッキ受けの使用部材においてFB-50×6で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
286	S-032	スラブ段差部デッキ受要領において梁ウェブでデッキを受ける場合はL-75×75×6を用いるとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
287	S-002	特記仕様書 5鉄骨工事 10試験・検査において6)監督職員による製品検査及び7)スタッド溶接打撃曲げ試験に○マークが示されていませんが、行うと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
288	S-019・A-206	1階X8～X8+2.2m/Ya～Ybの消火ポンプ室下部の地業について、捨コン50mm+砕石60mm+防湿シート0.15mm(二枚敷)と考えて宜しいでしょうか。	図面の通り、基礎、独立支持礎盤は再生クラッシュラン100、その他は60です。防湿シートは断熱材敷き込み部のみです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
289	S-001・BQ 内訳書 No.A17・A- 104	特記仕様書において止水板の仕様が差込式のみの記載ですがBQ内訳書にはW200 非加硫ブ フィルムと記載されております。BQ内訳書に倣うと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
290	S-101・102	ジャストベース柱脚下部捨コンにおいて80以上の平面範囲はRC柱型同寸法、厚みは90mmと考えて宜しいでしょうか。	80以上であればお見込みのとおりです。
291	S-005・ 006・037・ A-122	梁貫通補強において、ピット図に通気管・連通管、OF管VP200φ、雨水流入管、ピット伏図(スリーブ 図)に150・125・100φのスリーブが配置されていますが、配筋要領の指示が見当たりません。 100・125φについては孔の径が梁せいの1/10以下かつ150mm未満のものは～にて補強無し、150φは配筋種別H3、200φは配筋種別H4、300φは配筋種別H5と考えて宜しいでしょうか。 又、庁舎棟以外について記載がありません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。違う様でしたら詳細図若しくは指示数量を御指示下さい。	通気、連通管は図面通り100φです。開口補強はS-006配筋基準図にて選択判断してください。図面表示の無いものは開口補強を伴わないものと判断してください。
292	S-018・ 019・030	X1～2/Y1～Y1+5.45m・X1～2/Yb+3.77mのFB1C、X7～8/Yb～3のFB2とFB2Aにおいて、下部に耐圧版があり、地中小梁リストFB3と同様に一般RC小梁の納まりと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
293	S-023・033・A-224・239・244	機器類基礎、目隠しパ 祉支柱基礎の配筋において、A-239図(D-0107)では逆ハット型のD10@200好ヨと記載がありますが、ベ タ基礎以外の柱状・梁状の基礎についても逆ハット型のD10@200好ヨで宜しいでしょうか。違う様でしたら、該当する各基礎の配筋要領を御指示下さい。	機械基礎：縦横ともD13@150籠状としてください。 目隠し：縦横ともダブルD10@150としてください。
294	S-001・A-243	階段室塔屋部詳細図のYa通りの4段の小階段において、廻りのパ ラ ッ ト・鳩小屋を築造後の施工となり、外部防水押え立上りコンクリート等と同時期の施工となります。コンクリート仕様は防水押えコンクリートと同仕様と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
295	A-208・BQ内訳書 No.A16	階段下ポン プ 置場の床130～150mmは耐圧版と同仕様のコンクリートと考え、割れ止めとしてD10@200好アシングル程度を見込むとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
296	S-015・020～024・32・33・BQ内訳書 No.A31	BQ内訳書においてフラットデ ックt1.4の項目が計上されており、スラブ 厚さ別許容パ ン表のスラブ 厚さがスラブ リスト表には見当たりません。雑詳細図にR1FLスラブ に250mmの記載がありますが平面の配置についてX1～8/Y1～Y1+2.41・Y1～Y1+2.725m・X1～8/Y3～Y3-2.38m・Xa～7/Ya～Ybのスラブ と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
297	S-032	スラブ段差配筋図シアコネクタD13において、鉄骨ウェブとの接続はウェブ溶接と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
298	S-001	間仕切下部・防油堤・外部ECP下部等の雑RC立上りにおいて壁厚み150mm、配筋はD10@150縦横シングル・コーナー端部1-D13程度・コンクリート仕様は雑コンクリート(設備基礎は、下階コンクリートと同仕様)と同様と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
299		1～R1FLにおいて鉄骨柱の1角に長さ2×L2・2-D13程度の斜め補強が必要と考えて宜しいでしょうか。	基本は開口補強と考えてください。
300	S-020～ 024・A-201 ～204	2～R3FLにおいて鉄骨梁外周及び吹き抜け部に0～200mmの跳ね出しが見受けられます。スチールプレート2.3mm程度の曲げ加工と考えて宜しいでしょうか。又、現在は見受けられませんが出巾が300mm超え～600mm以下の場合はL-65x65x6@900程度、600mm超えの場合はL-75x75x6@900程度にて下端補強と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
301	S-032	梁CG90Aのピン接合要領においてGPL-19 12-M22で宜しいでしょうか。	B70Aとの取合部 PL-16 9-M22

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
302	S-033～ 036	柱仕口部において内側のダ イアラムも通しダ イアラムで図示されておりますが、全てのダ イアラムを通しダ イアラムと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
303	S-040	4階伏図スリ-ブ 図X7通り、Yb～Y3通り間の215φ貫通孔か所において8か所と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
304	A-255	議場ル-バ-受け鉄骨の吊り材及び振れ止めにおいてRFLスラ-ブとの接続に用いるあと施工アンカーは接続か所1か所当たり2-M12として宜しいでしょうか。	M16としてください。
305	A-329	EV関連鉄骨の立柱においてRCとの接続要領はBPL-16×200×200 アンカ-ボ-ルト2-M20 L400で宜しいでしょうか。	BPL-16x200x220 ABT 2-M20 L=500
306	A-329	EV関連鉄骨のピ-ット階平面図中間ビ-ームにおいてRCとの接続要領はBPL-12×200×200アンカ-ボ-ルト2-M20 L400で宜しいでしょうか。	ガセットPL-12
307	A-329	EV関連鉄骨のd材においてCT-200×200×8×13として宜しいでしょうか。	PL-12加工

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
308	S-032・033	梁上スタッドジベル施工要領図においてH150の備考欄が空欄となっておりますが、雑詳細図(1)ではH150のスタッドジベルが記載されております。雑詳細図(1)を優先としR1においてH150のスタッドジベルを使用すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
309	S-023・024・033	R1・2・3階においてスラブ天端と梁天端にスラブ厚以上の差があった場合にデッキ嵩上げ鋼材を用いるのかスラブ厚を増して嵩上げとするのが床梁伏図から読み取れません。雑詳細図(1)に示す箇所のみデッキ嵩上げ鋼材での嵩上げとし、その他はスラブ厚を増しての嵩上げと考えると宜しいでしょうか。	デッキ嵩上げ鋼材を用いてください。
310	A-205～208	階段A・Bの段板及び蹴上げPLにおいて相違が見受けられます。 ・各詳細図1段部詳細図 PL-4.5 ・各詳細図2断面詳細図 PL-6 断面詳細図を優先としPL-6で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
311	S-011・038～042	鉄骨標準詳細図 13はり貫通孔の補強要領において梁貫通孔の補強は、監督職員の承諾を受けて、既製品と入れ替えることができる。とありますが、スラブ図にハリング貫通孔径の記載があることから補強はハリングⅢと考えると宜しいでしょうか。否の場合は補強要領を御指示下さい。	ハイリングⅢまたは、鉄骨標準詳細図(3)の同等品としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
312	S-501・508	基礎断面図 外周部において、土間コンクリートより立ち上がっているRC立上りのコンクリート仕様は土間コンクリートより立ち上がっている為、土間コンクリートと同仕様と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
313	S-501・001	土間コンクリートのスランプ 値の記載がありませんが、S-001図より15cmと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
314	S-501・001・BQ内 訳書 No.A149	捨てコンクリートの仕様がS-501図ではFc15N/mm ² スランプ 値15cm、BQ内訳書ではFc18N/mm ² スランプ 値18cmと相違しております。BQ内訳書を優先としFc18N/mm ² スランプ 値18cmと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
315	S-508	基礎断面において、梁状部分の筋筋はD10@200程度と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
316	S-508	基礎断面において、土間コン上立上り縦筋1-D10のピッチは200と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
317	S-001・A-203	土間コンクリート地業において構造図では捨コン無し+砕石100mm、意匠断面詳細図では捨コン50mm+砕石60mmと相違しております。構造図を優先とし捨コン無し+砕石100mm+断面詳細図記載の断熱材At=30+防湿シート=0.15(二枚敷)と考えて宜しいでしょうか。	断熱・防湿仕様のため、捨コン有りとし、意匠図を正としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
318	S-501・ 508・A- 209・245	風除室出入口に沓拭きマットが2か所記載されていますが、構造図に詳細が記載されておりません。構造詳細を御指示下さい。 又、A-245図(D-0705)には数量3か所と記載がありますが、2か所しか見当たりません。平面詳細図を優先とし2か所と考えて宜しいでしょうか。	交流棟土間スラブ1200×800としてください。また2ヶ所が正です。
319	A-241	D部詳細図EXP.J部に用いる縦材においてC-100×50×20×2.3@600で宜しいでしょうか。	@450としてください。
320	A-241	E部詳細図軒先下地鉄骨においてC-100×50×20×2.3@600で宜しいでしょうか。	@450としてください。
321	S-104・106	礎柱天端・地中梁天端バルにおいて伏図では1FL-350、基礎リストでは1FL-300、地中梁リストでは1FL-250と相違しております。伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	1FL-300です。
322	S-107	スラブリスト(2)S12の備考欄において『主筋を長辺方向に配筋し、配力筋を短辺方向に配筋する』と記載がありますが、主筋・配力筋共同配筋です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。	主筋を外側に配置という意味です。
323	S-101・102	ベ-スパック柱脚下部捨コンにおいて90以上の平面範囲はRC柱型同寸法、厚みは90mmと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 アンカーフレームが固定できるようにしてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
324	S-105	基礎柱C1において後打ちとなる柱型天端FL-350～FL-10迄の配筋はD13@200程度の籠配筋と考えて宜しいでしょうか。	基礎柱の主筋とフープをFL-10までとしてください。
325	S-106・A-405・406	部分詳細図DS-03において、構造腰壁厚さが260mmとなっておりますがDS-10シャッター開口縦枠受けの□-100×100の足元部分と考え、補強筋はD10@150の縦横シングルが躯体面に沿って追加配筋と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
326	S-104・A-402/405	2F廊下部S11・S12の構造スラブ 上部の70～100mmの増打ちコンクリートの補強においてD10@200程度シングル程度と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
327	S-104・A-402/405	2F廊下手摺下部のRC立上り150mm配筋は縦横D10@200シングルクロス・端部、コーナーは1-D13程度と考えて宜しいでしょうか。	縦横D10@150ダブルクロス・端部、コーナーは1-D13程度としてください。
328		1、2FLにおいて鉄骨柱の1角に長さ2×L2・2-D13程度の斜め補強が必要と考えて宜しいでしょうか。	床開口補強と同仕様としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
329	S-020~ 024・A-201 ~204	2FLにおいて鉄骨梁PX1通り・PY1通り・PY5通りの外周部に0~100mmの跳ね出しが見受けられます。スチールプレート2.3mm程度の曲げ加工と考えると宜しいでしょうか。又、現在は見受けられませんが出巾が300mm超え~600mm以下の場合にはL-65x65x6@900程度、600mm超えの場合にはL-75x75x6@900程度にて下端補強と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
330	S-104・108 A-405	屋根伏図特記事項において折板と直交する小梁の天端は大梁天端+50とするとありますが、PY5通り鉄骨詳細図及び屋根詳細図に軒先小梁天端が大梁と同じ高さに見受けられます。PY5通り鉄骨詳細図及び屋根詳細図を優先とし軒先小梁天端は大梁天端に合わせ小梁上にタイトレーム受けを設けるとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
331	A-405	屋根詳細図において記載のタイトレーム受けはC-100×50×20×2.3で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
332	S-202・A- 501	柱根巻きにおいて、EX1側の補強筋はEX2側に倣うと考えると宜しいでしょうか。	柱保護コンクリートは、EX2-EY3の柱のみです。
333	S-302・A- 503	柱根巻きにおいて、断面寸法が意匠図と構造図にて相違しております。躯体断面寸法の590×590を優先と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
334	S-206	庇先端胴縁詳細図EY1-1000においてC-100×100×2.3(STKR400)が記載されておりますが□-100×100×2.3に読み替え庇コーナー部分に設けるとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
335	S-205 A-501	タクトレーム受け(折板受け)の部材サイズにおいて相違が見受けられます。 ・B部詳細図 C-100×50×20×2.3 ・鉄骨部材リスト C-100×50×20×3.2 B部詳細図を優先としC-100×50×20×2.3で宜しいでしょうか。	構造図を正としてください。
336	S-402	地中梁リストFG1Aの腹筋において、2-D10と記載がありますが、断面より6-D10に読み替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
337	S-403・A-502	柱根巻きにおいて、断面寸法が意匠図と構造図にて相違しております。C1、C1A、C2、C2Aの断面寸法1150×1150、高さは120+50、配筋は24-D25、帯筋はD13@100と考えて宜しいでしょうか。	柱根巻はありません。基礎寸法は構造図を正とし、増打保護コンクリート配筋はタテヨコD10@150カゴ筋としてください。
338	A-502 S-404	水下側パレット下地において意匠図(屋根詳細図)では梁上にも部材を配置しておりますが構造図(SX1通り鉄骨詳細図)では水上側と同じ納まりとなっております。意匠図(屋根詳細図)を優先と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
339	S-206・404	パラペット下地の縦材・縦胴縁・コーナー部角鋼の配置要領において駐車場・駐輪場上屋庇先端胴縁詳細図に倣うとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
340	S-302・A-503	柱根巻きにおいて、断面寸法が意匠図と構造図にて相違しております。躯体断面寸法の590×590を優先と考えて宜しいでしょうか。	基本的に柱の根巻コンクリートはありません。590角は柱ベースプレート下の基礎コンクリートの寸法です。意匠図は柱の保護コンクリートを表しています。
341	A-102	塗膜防水X-2において、仕上塗料塗りはカーと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
342	A-102・241・405・501～503	各棟折板葺において、山ピッチが特記仕様書及び各詳細図の図示では@200ですが、各詳細図の文字では@600と相違します。特記仕様書及び各詳細図の図示を優先とし、@200と考えて宜しいでしょうか。	@600の製品ですが、山ピッチは@200です。
343	A-240・407	外部鉄骨貫通部において、外部鉄骨貫通部詳細図でPL-4.5面にはDP 1級程度の塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
344	A-240・407	外部鉄骨貫通部において、外部鉄骨貫通部詳細図でPL-4.5周囲に水切とありますが、アルミフッ素樹脂焼付塗装 t=2.0 曲げ加工と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
345	A-104	定礎において、花崗岩の表面仕上は本磨と考えるて宜しいでしょうか。 又、庁舎棟に1か所と考えるて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
346	A-501～ 503	駐車場・駐輪場上屋、車寄せ庇、公用駐車場・駐輪場上屋の鉄骨柱において、RC取合部に水切りの様な図示がありますが、仕様及び断面寸法を御指示下さい。	PL-6、W=20を柱四周溶接留め、シールの枠としています。
347	A-102 A-239 A-245 A-405 A-406	特記仕様書(2)14.2.ステンズの表面仕上げにおいて、「特記なき限り、外部に使用するSUSの材質はSUS445」とあります。以下のステンズに、SUS304と特記がありますが、外部に面するためSUS445と読み替えてよろしいでしょうか。 ・ルーフドレイン ・屋上吊環 ・沓拭きマット ・倉庫棟 2F渡り廊下・通路 笠木 防水止アングル ・シャッター、オーバースライダ -足元見切縁	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
348	A-241 A-402 A-405 A-124 A-124 A-124 A-239 A-103 A-241 A-245 A-245 A-405 A-405 A-403	<p>下記の仕上において、メーカー・品番等が御座いましたら、御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根 勘合式折板葺(交流棟・駐車場上屋・車寄せ庇・公用駐車場上屋) ・屋根 重ね式折板葺(倉庫棟) ・屋根 軒樋 塩ビ製 W165(倉庫棟・公用車駐車場上屋) ・外壁A 押出成形セメント板デザインパネル ・外壁B 押出成形セメント板フラットパネル ・目隠し壁 押出成形セメント板ルーバー用フラットパネル ・パラペットアルミニウム製水切 既製品 ・吹付タイルA ・煙突フラッシング(交流棟) ・靴拭きマット(交流棟) ・靴拭きマット下 泥溜柵蓋(交流棟) ・通路 排水溝グレーチング蓋(倉庫棟) ・通路 排水柵グレーチング蓋(倉庫棟) ・階段 踏面・踊場グレーチング(倉庫棟) 	<p>下記のとおりとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根 勘合式折板葺(交流棟・駐車場上屋・車寄せ庇・公用駐車場上屋)→三晃金属「サンコールーフロック85」同等 ・屋根 重ね式折板葺(倉庫棟)→三晃金属「サンコールーフロック85」同等 ・屋根 軒樋 塩ビ製 W165(倉庫棟・公用車駐車場上屋)→指定なし ・外壁A 押出成形セメント板デザインパネル→ノザワ「タスロック」同等 ・外壁B 押出成形セメント板フラットパネル→指定なし ・目隠し壁 押出成形セメント板ルーバー用フラットパネル→指定なし ・パラペットアルミニウム製水切 既製品→指定なし ・吹付タイルA→指定なし ・煙突フラッシング(交流棟)→指定なし ・靴拭きマット(交流棟)→指定なし ・靴拭きマット下 泥溜柵蓋(交流棟)→指定なし ・通路 排水溝グレーチング蓋(倉庫棟)→指定なし ・通路 排水柵グレーチング蓋(倉庫棟)→指定なし ・階段 踏面・踊場グレーチング(倉庫棟)→指定なし
349	A-239・243	<p>屋上保護コンクリート内容接金網において、部分詳細図(1)D-0101ではφ6-100×100ですが部分詳細図(5)D-0501ではφ6-60×60と相違します。部分詳細図(1)を優先とし、φ6-100×100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>防水押えコンクリートはφ6-100×100です。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
350	A-239・243	<p>部分詳細図(1)D-0102 アルミニウム製水切 既製品において、下記の内容を御指示下さい。</p> <p>①機械基礎及び配管取出口廻りも同様の水切と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②上記と異なる場合は、仕様・厚みを御指示下さい。</p>	お見込みのとおりです。
351	A-243・244	<p>配管取出口において、アルミ^パ 祢下地にC-75×45×15×2.3とありますが、4方に必要と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、アルミ^パ 祢の表面仕上はフッ素樹脂焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。仕上げはBA-2種です。
352	A-244	<p>屋上目隠し壁において、下記の内容を御指示下さい。</p> <p>①フッ素樹脂現場塗装(表面～小口のみ)とありますが、裏面に塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②取付金物は溶融亜鉛メッキのままと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>③目隠し壁上部笠木プレートは、溶融亜鉛メッキの上DP 1級の塗装を必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
353	A-107・244	<p>確認ですが、外部仕上表 外壁において、見え掛り部 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装とありますが、屋上目隠し壁下地鉄骨及び設備架台に塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
354	A-243	屋上階段において、BQ内訳書A79より踏面の仕上は、ほうき目仕上とし、ノズリップ 金物は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
355	A-201・240	庇エキパントメルにおいて、規格が断面詳細図1ではXS-63ですが、部分詳細図(2)ではXS-62と相違します。断面詳細図1を優先とし、XS-63と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
356	A-240	部分詳細図(2)庇床板詳細図において、アイトルトM12 溶接 @1600 妻面共とありますが、外壁側(庇内側)に@1600で取り付くものと考えて宜しいでしょうか。	図面通りです。
357	A-104・ 202・203・ 243	外壁において、下記の内容を御指示下さい。 ①配管取出口廻り上部に断面詳細図3でフッ素樹脂塗装、部分詳細図(5)で塗装Aとありますが、耐候性塗料 A種と考えて宜しいでしょうか。 ②配管取出口水切～RC見付(H=400)のRC部も上記①同様の耐候性塗料 A種と考えて宜しいでしょうか。 ③1FL下部RC見え掛り部の仕上も上記①同様の耐候性塗料 A種と考えて宜しいでしょうか。	①、②はA種-1級がフッ素です。 ③はお見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
358	A-240・310 S-025～ 027・032	<p>外壁押出成形セメント板開口補強において、下記の内容を御指示下さい。</p> <p>①部分詳細図(2)ECP外壁^ハ 衽開口補強リストでL-75×75×6、L-90×90×13、[-150×75×6.5×10、H-200×100×5.5×8、H-200×200×8×12とありますが、ECP詳細図ではL-65×65×6と相違します。ECP外壁^ハ 衽開口補強リストを優先と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②上記①につきまして、軸組図(1)～(3)で一部開口補強の図示がありますが、全て凡例P[15 [-150×75×6.5×10と相違しております。ECP外壁^ハ 衽開口補強リストを優先と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>③部分詳細図(2)ECP外壁^ハ 衽開口補強リストで凡例^ハ(^ハ材 建具間)の部材ピッチ900程度と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>①は、部分詳細図を正としてください。</p> <p>②は、構造図を正としてください。</p> <p>③は、建具W900以下の場合中央、900以上の場合@600とします。</p>
359	A-310	<p>ECP詳細図 上部取付詳細図において、L-50×50×6、L-65×65×6とありますが、L-50×50×6は通し材でL-65×65×6はL=100 @900と考えて宜しいでしょうか。</p>	@600です。
360	A-310	<p>ECP詳細図 基礎部取付詳細図において、水切りプレート(SUS)とありますが、BQ内訳書A66より、カー-ステンレス t=1.0 糸=200と考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
361	A-209・604・605	1F通用口床仕上(躯体上)において、仕上は周囲コンクリート舗装同様にコンクリート粗面仕上と考えて宜しいでしょうか。	コンクリート金ゴテ仕上としてください。
362	A-208	外部軒天井において、階段B詳細図2で下り壁取合部にアルミ見切縁とありますが、壁取合部分にはアルミ BA-2種程度の廻縁が必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
363	A-242・243	梁貫通パ 祉において、アルミパ 祉裏にフランジ PL-9とありますが、D-0403 南面庇受け鉄骨外壁貫通部RFL断面図のみPL-12と相違します。全てPL-9と考えて宜しいでしょうか。使い分けが必要な場合は、使い分けを御指示下さい。	お見込みのとおりです。
364	A-224	雨水計画において、屋上樋下部にコンクリート平板 300×300 据置とありますが、厚み及びメーカー・品番を御指示下さい。	㊦60、JIS規格品です。
365	A-224・239 E-022	屋上屋外用キュービ ㇿ型受変電設備において、点検歩廊(建築工事)とありますが、意匠図ではH鋼の指示のみです。必要とする場合は、仕様・範囲・手摺の有無等詳細を御指示下さい。	不要です。
366	A-241	屋根において、雪止め金物は不要と考えて宜しいでしょうか。必要とする場合は、仕様・詳細を御指示下さい。	不要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
367	A-107・124・241	屋根幕板アルミパネルにおいて、厚みが部分詳細図(3)ではt=1.5ですが、外部仕上表・立面図では、t=2.0と相違します。部分詳細図(3)を優先とし、t=1.5と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
368	A-102・240・241	外壁・幕板アルミパネルにおいて、部分詳細図(2・3)で表面処理C種の上フッ素樹脂塗装とありますが、特記仕様書(2)よりフッ素樹脂焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。	金属表面処理Cは焼付塗装となります。(公標仕14章)
369	A-246	部分詳細図(8)EW-O 交流棟 壁詳細図において、外壁側に構造用合板 t=9とありますが、BQ内訳書A154では耐水合板です。外部となるため耐水合板と読み替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
370	A-106・308・309	ガリのダウ外接続フランジにおいて、AWD-5にD=150の図示がありますが、仕様はアルミ t=2.0 フッ素樹脂焼付と考えて宜しいでしょうか。 又、ダウ外接続フランジを必要とする範囲はAWD-5の他AWD-2もD=150のダウ外接続フランジが必要と考えて宜しいでしょうか。	ステンレスPL-1.5曲げ加工2B仕上とします。
371	A-203	1F RC土台見え掛り部壁において、仕上はDP A種と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
372	A-203 S-508	1F RC土台見え掛り部スラブ跳ね出し部において、天端はコンクリート金鏝と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
373	A-311	交流棟エキスパンションジョイントにおいて、外部アルミの表面仕上はフッ素樹脂焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
374	A-311	交流棟エキスパンションジョイントにおいて、①屋根-外壁EXP.J 上部に水切りとありますが、t=2.0 フッ素樹脂焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
375	A-245	部分詳細図(7) D-0716 出入口床排水溝 屋外側にタイルAとありますが、沓拭マット〜グレーチング間に1800×120程度（2か所）の範囲に必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
376	A-241	煙突フラッシングにおいて、雨仕舞部詳細図では長方形800×600ですが、キープランでは台形と相違します。雨仕舞詳細図を優先とし、長方形800×600と考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は、台形とする平面寸法を御指示下さい。	下り棟包みをは台形でフラッシングを含んだ長辺を1000及び1750としてください。
377	A-241	煙突において、下地鉄骨に□-100×100×2.3とありますが、縦材は4本と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
378	A-106・ 241・248	煙突において、部分詳細図(3)で別途工事とありますが、工事区分表及び部分詳細図(10)では※ [°] レットストップ および下り天井下までの煙突:別途工事と相違します。天井懐上部を本工事とする場合は詳細を御指示下さい。	図面通り天井内は本工事です。煙道はメーカー仕様です。
379	A-402・ 403・405	PX2通り通路・渡り廊下床において、下記の内容を御指示下さい。 ①PX2通り通路床が断面詳細図・階段詳細図では塗膜防水(トップコート仕様)ですが、部分詳細図(1)では塗膜防水X-2+防滑ビニル床シートと相違します。部分詳細図(1)を優先とし、塗膜防水X-2+防滑ビニル床シートと考えて宜しいでしょうか。 ②上記①と異なる場合は、塗膜防水(トップコート仕様)とする仕様及びメーカー・品番を御指示下さい。 ③上記①と異なる場合は、塗膜防水(トップコート仕様)とする範囲はPX2通り通路と考えて宜しいでしょうか。 ④防滑ビニル床シートの厚み及びメーカー・品番を御指示下さい。	①お見込みのとおりです。 ②③上記の通りです。 ④東リNSシートNS800同等とします。
380	A-403 A-405	通路・渡り廊下・階段の手摺において、仕様及び表面仕上は溶融亜鉛メッキの上DP1級と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
381	A-405	通路・渡り廊下の排水溝・桧において、仕上は防水珪砂と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
382	A-405	通路・渡り廊下において、スラブ小口に化粧目地とありますが、垂直方向には15×15のシーリングを必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
383	A-404 A-405	通路の排水溝蓋において、寸法が平面詳細図ではW150×996×25ですが、部分詳細図(1)ではW150×499×15と相違します。部分詳細図(1)を優先とし、W150×499×15と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
384	A-403	階段において、鉄部は全てDP塗装とありますが、グレーチングに塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
385	A-104 A-403	階段において、最上段には特記仕様書(4)のステンレス445 ノンスリップ W=35ビコルタ代入が必要と考えて宜しいでしょうか。	不要です。
386	A-403	階段において、1F基礎の仕上は天端:コンクリート金鰻、立上:コンクリート打放補修と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
387	A-405	押出成形セメント板足元において、部分詳細図(1)で水切りプレート1.0とありますが、BQ内訳書A215より、カーステンレス t=1.0 糸径=200と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
388	A-405	押出成形セメント板足元において、部分詳細図(1)で水抜きパイプとありますが、ECP詳細図より、ステンレス逆流防止弁付 @900と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
389	A-401	外壁において、RC腰壁に塗装Aとありますが、耐候性塗料 A種と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
390	A-404	渡り廊下キスパ ンジョンジョイントにおいて、アルミ押出型材EXP/Jとありますが、表面仕上・詳細及びメーカー・品番を御指示下さい。	表面仕上 B A -1種、 A B C 商会 S 10- A F X 同等程度とします。
391	A-402・406	シャッター足元見切縁において、断面寸法が部分詳細図(2)では L-25×25×3.0ですが、断面詳細図ではL-30×30×4.5と相違します。部分詳細図(2)を優先とし、L-25×25×3.0と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
392	A-102・402	縦樋において、掴み金物仕様が特記仕様書では亜鉛メッキの上 DPですが、倉庫棟断面詳細図ではステンレスと相違します。特記仕様書を優先とし、亜鉛メッキの上 DPと考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
393	A-107・501	屋根幕板アルミ [°] 衤において、厚みが駐車場・駐輪場上屋詳細図ではt=1.5ですが、外部仕上表では、t=2.0と相違します。駐車場・駐輪場上屋詳細図を優先とし、t=1.5と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
394	A-501	外壁において、柱保護コンクリートに塗装Aとありますが、耐候性塗料 A種と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
395	A-107・502	屋根幕板アルミ [°] 衤において、厚みが車寄せ庇詳細図ではt=1.5ですが、外部仕上表では、t=2.0と相違します。車寄せ庇詳細図を優先とし、t=1.5と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
396	A-402・503	軒樋において、吊金具は倉庫棟同様にステンレスと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
397	A-503	外壁において、柱保護コンクリートに塗装Aとありますが、耐候性塗料 A種と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
398	A-111	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾞﾙｰ樹脂成床組・鋼製床組の下において、塗床B(防塵塗床)を見込んで宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
399	A-115	ビ [°] ｺﾙ床ｼｰﾄ立上げにおいて、R面巾木の仕様を御指示下さい。又、ｼﾞｮｲﾝﾄの仕様についても併せて御指示下さい。	製造所仕様としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
400	A-115	W-9の化粧ボード張(メラミン化粧板・化粧ケイカル板)において、WC内の目地はシーリングとありますがBQ内訳書A48よりシリコン系3×3と考えるて宜しいでしょうか。 又、メラミン化粧板と化粧ケイカル板の異種取合シーリングもBQ内訳書A48に倣いシリコン系5×5と考えるて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
401	A-245	化粧ケイカル板・メラミン化粧板の出隅アルミジョイナーの仕様について、BQ内訳書A71に倣いL-20×20 BB-2仕上と考えるて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
402	A-102・115	縁甲板や畳寄せ・ボード寄せ・雑巾摺において、塗装仕上は不要と考えるて宜しいでしょうか。塗装仕上が必要な場合には仕様を御指示下さい。	お見込みのとおりです。
403	A-113・115	木製巾木・畳寄せ・ボード寄せ・雑巾摺の材種は、BQ内訳書A52・53に倣い桧と考えるて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
404	A-250	物入の床下地の仕様において、床束立大引根太組米、柵1等H=400、大引90×45 @900、根太45×40 @300、床束90×90、根がらみ90×25と考えるて宜しいでしょうか。	前框・後框 45×90、根太 40×45 @360とします。
405	A-250	物入の天井廻縁において、BQ内訳書A53より桧・20×30と考えるて宜しいでしょうか。 又、塗装仕上は不要と考えるて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
406		特記無き限りは、下り壁の見切縁は塩ビ程度と考えて宜しいでしょうか。	該当箇所が不明です。
407	A-111・209・226	1F市民ビエ-EV横のDS廻りの壁や天井において、GW-Bt50とありますが仕上表のグラスウールボードAと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
408	A-111	1F市民ビエ-情報コーナー等の天井が木ルバーにおいて、天井廻縁は塩ビとありますが天井がルバーの為に不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
409	A-203・250	1F市民ビエ-情報コーナーの吹抜部の下がり壁において、見切縁が下記のように相違しています。 ・断面詳細図3:St-PLt1.6曲加工SOP ・部分詳細図(12)<D-1207>:アルミ 断面詳細図3を優先とし、St-PLt1.6曲加工SOPと考えて宜しいでしょうか。 部分詳細図(12)<D-1207>が優先でアルミの場合には表面仕上と厚みを御指示下さい。	お見込みのとおりです。
410	A-311	1F市民ビエ-情報コーナー等のシャッターボックス廻りの鉄骨下地において、C-65×45×10×2.3とC-75×45×15×2.3とありますがピッチ450と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
411	A-202・246	<p>1・2F執務室・廊下の両面GB-R9.5+12.5+EP塗装で構成している固定式防煙垂壁において、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断面詳細図2:両面GB-Rt9.5+12.5 ・部分詳細図(8):片面GB-Rt12.5+12.5 <p>断面詳細図2を優先と考え両面GB-Rt9.5+12.5で宜しいでしょうか。</p>	固定式は両面、可動式は片面GB-R12.5+12.5です。
412	A-112	<p>1Fオイルポンプ室の床において、防油堤は塗床Aとありますが防油堤の外側は塗床Bと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、防油堤の外側は塗床BをH290程度立上げて宜しいでしょうか。</p>	全て塗床Aとしてください。立ち上げお見込みのとおりです。
413	A-216・301	<p>3F会議室のSLW-1天井裏遮音壁において、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3F平面詳細図(1):GB-Ft21+GB-Rt9.5両面張り+GW24Kt50充填(壁凡例S1) ・建具詳細図1:GB-Rt12.5+9.5両面張り+GW32Kt50充填 <p>3F平面詳細図を優先とし、壁凡例S1と考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
414	A-220・302	4F委員会室のSLW-2天井裏遮音壁において、下記の様に相違しています。 ・4F平面詳細図(1):GB-Ft21+GB-Rt9.5両面張り+GW24Kt50充填(壁凡例S1) ・建具詳細図2:GB-Rt12.5両面張り+GW充填 4F平面詳細図を優先とし、壁凡例S1と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
415	A-254	4F議場・傍聴席の段部アルミ製ノズリップ [®] において、表面仕上と断面寸法を御指示下さい。	ナカ工業同等品程度としてください。
416	A-114	4F議場・傍聴席の天井DRにおいて、DR面にEP塗装とありますがEP塗装は無しと考えて宜しいでしょうか。	図面通り有りとしてください。
417	A-255	4F議場・傍聴席の壁や下り壁において、曲面の場合のボードはFGボード t6+6と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
418	A-255	4F議場・傍聴席の下り壁天端見切縁において、仕様はBQ内訳書A53に倣い柵W120×D35と考えて宜しいでしょうか。又、OSCL塗装を見込んで宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
419	A-205・220	4F廊下4-1のスロープについて、平面詳細図のスロープ 両側に手摺とありますが手摺の仕様は階段室の壁付手摺と同様に樹脂製笠木φ34、ブラケットはステンレスと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
420	A-206	階段A詳細図2において、最上階の手摺高さが下記の様に相違しています。 ・A-A断面詳細図:H1100 ・B-B断面詳細図:H850 A-A断面詳細図を優先とし、H1100と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
421	A-102	PS・EPSにおいて、立上りを設けて防水処理を行うとありますがBQ内訳書A48に倣い塗膜防水X-2と考えて宜しいでしょうか。 又、BQ内訳書A48に倣い塗膜防水X-2をH100程度立上げて考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
422	A-112・114	4F DSにおいて、内部仕上表(4)にビニル巾木H60・壁仕上にGWB(A)、EP塗装とありますが1F DSの仕上表に倣いビニル巾木と壁のEP塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
423		各室の設備基礎において、天端と立上りの仕上は床と同仕上と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

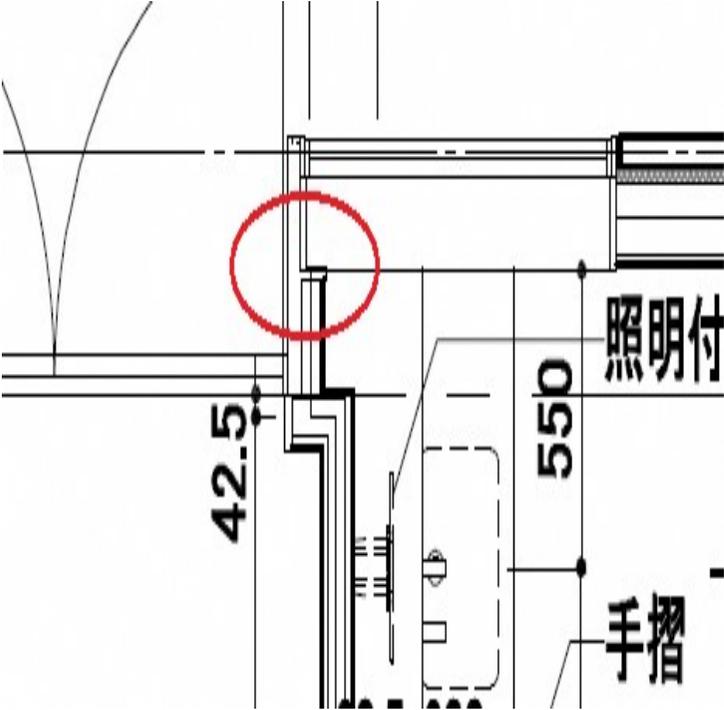
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
424	A-112・208	<p>ピット階機械置場(ポンプ置場)において、床仕上が下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上表(2):塗床B ・階段B詳細図2:コンクリート金鍔 <p>内部仕上表(2)を優先とし、塗床Bと考えて宜しいでしょうか。</p>	コンコテの上、塗床Bです。
425	A-201・208	<p>ピット階機械置場(ポンプ置場)において、排水溝は防水珪スチール鍔W200×H130～150 糸460～500と考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
426	A-104・112・201・204・206	<p>水槽の天井仕上において、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上表(2):ケイ酸系塗膜防水 ・断面詳細図1・4:断熱材A t30 <p>断面詳細図1・4を優先とし、断熱材Aを見込むと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、水槽の上階が居室以外で、断熱が不要と思われる消火水槽においては、内部仕上表(2)通りに6面防水と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>空調室（廊下等含む）の下部水槽・スラブ下は全て断熱あり。断熱材A t=30とします。</p> <p>上記のうちピット天井は断熱材 t = 25です。</p> <p>非空調室下の水槽天井は防水Cです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
427	A-104	上記質疑に関連して、水槽の断熱材A t30の仕様は特記仕様書(4)より、押出法ポリスチレンフォーム保温板2種b t30と考えて宜しいでしょうか。 又、ピット・機械置場(ポンプ置場)の天井断熱材の仕様は押出法ポリスチレンフォーム保温板2種b t25と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
428	A-201・204	ピット・水槽の天井断熱において、外周部は天井折返しL300程度の押出法ポリスチレンフォーム保温板2種bを接着貼で見込んで宜しいでしょうか。	断熱材範囲は図面通り。断熱材種類は使用箇所と同種のものとしてください。
429	A-305	BQ内訳書A120の戸袋壁内ロックウール充填において、厚みと密度を御指示下さい。	耐火リストの区画壁ロックウールに準じます。
430		BQ内訳書A41において、ALC足元金物、ALC開口補強金物、成形板取付金物には吹付ロックウール t25 1時間耐火の耐火被覆が計上されておりますが、図面上ありませんので不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合には成形板取付金物の吹付ロックウールの範囲を御指示下さい。	区画壁には必要です。(耐火リスト1による)

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
431	A-101・201 ～204・226	<p>梁の耐火被覆において、天井伏図に特記無き限り、庁舎棟梁型:ケイカル板(耐火被覆)の上EP塗装、PS・EPS・DS内に露出する梁はロックール吹付t25とありますが、断面詳細図と相違しています。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見掛り 直天(PS・EPS・DSを除く)、ルパ-天井:ケイカル板の上EP塗装 ・見隠れ 二重天井内、PS・EPS・DS内に露出する梁:ロックール吹付t25 	お見込みのとおりです。
432		<p>上記質疑を正とした場合、一つの鉄骨部材に対して2種類の耐火被覆(ケイカル板とロックール吹付)となる範囲が出てきます。その範囲においては、ケイカル板を優先とし、見掛り(EP塗装)・見隠れに分けて計上すると考えて宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
433	S-023 A-202・204	<p>議場の木製ルパ-受け鉄骨において、耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、必要な場合は見掛りとなる為、耐火被覆の仕様を御指示下さい。</p>	お見込みのとおりです。
434		<p>BQ内訳書A41より、柱型～梁接合部 耐火シート91.8m²が計上されておりますが範囲が不明です。柱型～梁接合部とする範囲を御指示下さい。</p>	柱から梁持ち出し部（ハンチ等）W = 600幅です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
435		BQ内訳書A54より、壁 耐水合板t=12 軽鉄面とありますが 範囲を御指示下さい。	手摺の取付下地補強部分です。
436	A-310	層間塞ぎにおいて、仕様・断面寸法は下記の様に考えて宜し いでしょうか。 ①外壁～スラブ :ロックウール充填80kg/m ³ W90×H150 ②パラペット:ロックウール充填80kg/m ³ W90×H150	お見込みのとおりです。
437	A-111・ 113・222・ 245・254	下記項目のメーカー品番を御指示下さい。 ・吹付B:(4F議場・傍聴席 議長席背面壁) ・ビニル床タイル:(3F SE室踏込床) ・樹脂製床組:(1F脱衣室1-1・1-2他床) ・鋼製床組:(1F市民ホール→4F廊下4-1・議場・傍聴席床) ・スラブ 鋼製床組:(4F廊下4-1床)	下記のとおりとします。 ・吹付B:(4F議場・傍聴席 議長席背面壁) →アイカ「クライマテリア イタリアート」同等 ・ビニル床タイル:(3F SE室踏込床) →指定なし 500×500 フリーア クセスフロア下地 FOA ・樹脂製床組:(1F脱衣室1-1・1-2他床) →三洋工業「ホームベース e」同等 ・鋼製床組:(1F市民ホール→4F廊下4-1・議場・傍聴席床) →指定なし ・スラブ 鋼製床組:(4F廊下4-1床) →指定なし
438	A-122	ピット平面図において、雨水流入管φ300とありますが仕様は VP管で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
439	A-122	ピットの釜場において、B階段下ポンプ室・ピット・水槽全てケイ酸 質塗布防水/珪酸仕上として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
440	A-323	家具詳細図2 議長・事務局長机ひな壇にカーペット張t=10とありますが、建築工事と考えて宜しいでしょうか。 又、メーカー品番を御指示下さい。	タイルカーペットBとしてください。
441	A-326・328	家具詳細図5・7において、J-4の数量がリストでは3F:2か所とありますが、キープランでは3Fに1か所と相違します。リスト通り2か所必要と考え計7か所で宜しいでしょうか。	家具詳細図7を正とします。
442	A-326～ 328	BQ内訳書A137において、H-6ハイカウンター W920が1か所計上されておりますが、キープランにも家具詳細図にもH-6はありません。不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、仕様、寸法、か所数を御指示下さい。	不要です。
443	A-225・248	3F市長・副市長室付近の洗面において、洗面化粧台の納まりは各階便所と同じ収まりとし部分詳細図(10)<D-1003>の詳細に倣って宜しいでしょうか。 又、便所平面詳細図通りにD600の洗面化粧台の場合は化粧台の詳細を御指示下さい。	お見込みのとおりです。Dも同じとしてください。
444	A-248	便所補助手摺の取付下地補強において、杉補強木の寸法は300×100で宜しいでしょうか。 又、L型手摺取付下地補強は耐水合板t=12 900×900程度と考えると宜しいでしょうか。	全て支持箇所あたり300 x 100とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
445	A-225	<p>1F女子便所のAWD-1の扉とFIX窓の間の方立部で下図赤○印において、間仕切小口はスチールt=1.2 110×25 SOP塗と考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>梅 W100×D25 OSCLです。</p>
446	A-209	<p>1F待合においてキッズコーナーに点線の表記の四角がございますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、仕様詳細を御指示下さい。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
447	A-209・ 213・216・ 220	各室部屋の点線机・椅子において、別途工事と考えて宜しい でしょうか。	お見込みのとおりです。
448	A-114	仕上表備考のテレビ天吊金具において、4F傍聴ホール・EVホール・ 廊下4-1の場所に指示がありますが、個々に1か所ずつでは無 く、合わせて1か所と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
449	A-216・250	3F男子更衣室の仕上表備考において、ハンガーパイプとありま すが、3F平面詳細図では点線表記になっております。1F女子 更衣室と同じ収まりとし建築工事と考えて宜しいでしょ うか。	お見込みのとおりです。
450	A-301	SLW-1の表面ガラス張りにおいて、仕様・メーカー品番を御指示下 さい。	指定はありません。1000クラスとします。
451	A-238・303	SP1～3のガラスパーティションの飛散防止フィルムにおいて、建具表に はSP-1・2にのみ指示あり、建具詳細図3にはSP-3のみに指 示があります。SP1～3全てに飛散防止フィルムは必要と 考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
452	A-238・303	SP1～3のガラスパーティションのガラス押えについてフレームかまち戸 のシーリング押え以外は塩ビガasketと考えて宜しい でしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
453	A-218・ 226・228・ 229	天井伏図のブライツボックス範囲において、Y3通り側2F廊下2-2・2-3にはブライツボックスの指示はありませんが、3F・4Fの廊下では指示がございます。展開図では廊下3-2 Y3通り側に指示があります。2～4F廊下に必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
454	A-312・ 314・315	サインH3において、庁舎棟は1F ADW-1と2F ADW-6のW寸法1700×4と2Fガラス手摺10.2mとし計17.0mと考えて宜しいでしょうか。	図面通りとします。
455	A-249	エントランス出入口枠において、仕様はBQ内訳書A109・A125に倣い、母 SOPと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
456		BQ内訳書A73において、4F傍聴席の鋼製床組用床下化粧点検口が1か所計上されておりますが、図示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。 必要でしたら仕様、寸法を御指示下さい。	必要です。600角とします。
457	A-306	シャッターボックス受鉄骨について縦材は@1000で必要と考えて宜しいでしょうか。	@900です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
458	A-115 A-209 A-245 A-248 A-249 A-301 A-303	<p>下記のメーカー品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚垂大判タイル ・視覚障害者点字タイル 注意喚起 ・視覚障害者点字タイル 誘導表示 ・視覚障害者点字床材 塩ビ 注意喚起 ・出入口 排水溝蓋 ステンレス 600角 W=150 ・床下点検口 ステンレス 600角 密閉型(防水・防臭) ・ビクチャーレール ・畳 t=55 ・スライディングウォール面のクロス張 ・ユニットシャワー 0812 ・ミニキッチン L=900 ・流し台A W1530×D590×H900 ・流し台B W1500×D590×H900 ・トイレノース ・ガラスパーティション(SP-1～3) ・パーティション(SP-4・SP-5) ・ローパーティション(窓口カウンター部) ・スライディングウォール(SLW-1) ・スライディングウォール(SLW-2) ・手動横型ブラインド ・電動ロールスクリーン ・大便器手摺 L型 ・小便器手摺 ・洗面器用手摺 ・消火器ボックス ・かぎ箱 ・天井点検口 450角 目地タイプ ・天井点検口 600角 目地タイプ ・天井点検口 450角 目地タイプ ルーバー-天井部 	<p>下記のとおりとします。</p> <p>汚垂大判タイル →指定なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者点字タイル 注意喚起 →LIXIL「ピアツツァ」同等 ・視覚障害者点字タイル 誘導表示 →LIXIL「ピアツツァ」同等 ・視覚障害者点字床材 塩ビ 注意喚起 →指定なし ・出入口 排水溝蓋 ステンレス 600角 W=150 →カネソウ「SYQ-H-15」同等 ・床下点検口 ステンレス 600角 密閉型(防水・防臭) →指定なし ・ビクチャーレール →指定なし ・畳 t=55 →指定なし ・スライディングウォール面のクロス張 →指定なし 1000クラス ・ユニットシャワー 0812 →指定なし ・ミニキッチン L=900 →指定なし ・流し台A W1530×D590×H900 →指定なし ・流し台B W1500×D590×H900 →指定なし ・トイレノース →指定なし ・ガラスパーティション(SP-1～3)→小松ウォール「マイティGWALL」同等 ・パーティション(SP-4・SP-5) →小松ウォール「マイティ70」同等 ・ローパーティション(窓口カウンター部) →コクヨ同等 ・スライディングウォール(SLW-1) →小松ウォール同等 ・スライディングウォール(SLW-2) →小松ウォール同等 ・手動横型ブラインド →タチカワブラインド「モノコム」同等 ・電動ロールスクリーン →タチカワブラインド「ラルクシールド」同等 ・大便器手摺 L型 →指定なし ・小便器手摺 →指定なし ・洗面器用手摺 →指定なし ・消火器ボックス →ユニオン「UFB-1F-104H」同等 ・かぎ箱 →杉田エース「R-150」同等 ・天井点検口 450角 目地タイプ →指定なし ・天井点検口 600角 目地タイプ →指定なし ・天井点検口 450角 目地タイプ ルーバー-天井部 →指定なし

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
459	A-111	1F風除室の天井アルミパントルにおいて、厚みとメーカー品番を御指示下さい。	特記仕様書2・基準詳細図2によります。メーカー指定は行いません。
460	A-114	1F交流スペース他の汁合板において、BQ内訳書A54より汁合板出隅・入隅処理 柵L-35×35とあります。図面上には指示がありませんが必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
461	A-111	1F車椅子置場の巾木において、ビニル巾木で高さ150とありますが交流スペースと同様にコンクリート打放補修 素地仕上H150と読み替えて宜しいでしょうか。	ワイド巾木としてください。
462	A-245	LGS間仕切において、BQ内訳書A163に65型とありますが高さが $4.0 \leq H < 4.5$ の為、90型と考えて宜しいでしょうか。	H4.0m以上の部分であればお見込みのとおりです。
463	A-248	BQ内訳書A156より、タイル～塗装壁 見切縁 柵 25×25とありますが範囲を御指示下さい。	W X 3・W Y 3コーナー部に4.15m必要です。
464	A-248	BQ内訳書A156より、交流スペース 曲面木製廻縁 柵 30×35とありますが曲面垂壁の両側に見込んで宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
465	A-111	BQ内訳書A182より、ビニル床シートAとビニル巾木がありますが仕上表より不要と思われます。必要でしたら範囲を御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
466	A-209・311	EXP・J詳細図において、キプランより③と②間(車椅子置場)に床、天井のEXP・Jの指示がありませんが、車椅子置場を囲う様に床⑤と壁②、天井④は必要と考えて宜しいでしょうか。	図面通りが必要です。
467	A-245	風除室出入口排水溝の仕上において、BQ内訳書に倣い珉タル金鏝として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
468	A-211・226	BQ内訳書A156の交流棟木工事において、ブライントボックスが幅W150×H150とありますが、展開図等に図示がありません。天井伏図の範囲で仕様、断面寸法はBQ内訳書に倣って宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
469	A-209	交流棟1F風除室1-1において、既設館名板移設とありますが、BQ内訳書に移設の項目がありません。取付用フックのみ建築工事と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
470	A-251	薄型ディスプレイ吊金物において、吊H寸法はBQ内訳書A185よりH=1710で宜しいでしょうか。違う場合高さを御指示下さい。	H=1125～1250程度です。
471	A-312・314	サインH3において、交流棟はADW-2～3・5のW寸法3430×4とし13.7mと考えて宜しいでしょうか。	図面通りとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
472	A-401・402	巾木H100と腰壁の防塵塗装において、断面詳細図より1F冷蔵庫置場～共用倉庫の取合の間仕切下には不要と考えて宜しいでしょうか。	図面通りです。
473	A-405	腰壁天端の中において、BQ内訳書A222よりW90とありますが部分詳細図(1)のDS-03ではW215程度・DS-04ではW120程度で相違しています。部分詳細図(1)を優先と考えて宜しいでしょうか。	図面通りです。
474	A-402	2F書庫の床下地において、BQ内訳書A222よりt35とありますが断面詳細図ではt50で相違しています。t35と考えて宜しいでしょうか。	断面詳細図を正としてください。
475	A-405	層間塞ぎにおいて、BQ内訳書A208にW50×H150とありますが、仕様・断面寸法は倉庫棟部分詳細図(1)より、ロックール充填80kg/m ³ W50×H230と考えて宜しいでしょうか。	内訳書を正とします。
476	A-228 A-235	1階男子便所において、SF-1のキープランがあります。図示が2か所となりますが、3か所と考えて宜しいでしょうか。	図面通り、1階計5ヶ所です。
477	A-234	SD-12の天然木において、天然木の樹種を御指示下さい。	ヒノキ柱目です。
478	A-228 A-234	SD-TK2の防火性能において、1階階段Bは防火区画に設置されています。特定防火設備と考えて宜しいでしょうか。	階段室 B 内SD-TK2→SD-TK2Aです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
479	A-234	SD-TK4の建具型式において、形式欄では両開き戸ですか、 姿図では片開き戸+両開き戸と相違します。 姿図を優先とし、片開き+両開きと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
480	A-234	SWD-1～3のガラス面において、飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
481	A-234	SS-1～4の表面仕上において、溶融亜鉛メッキ鋼板のまま(塗装等は不要)と考えて宜しいでしょうか。	S O P 仕上です。
482	A-235	LSD建具において、枠見込み寸法が2種記載されている各々の数量は、BQ内訳書A96～98通りの数量と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
483	A-235	LSHD-2の枠見込み寸法において、129・139と2種の記載がありますが、BQ内訳書A99では129のみ計上されています。 BQ内訳書A99を優先とし、139は該当無しと考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は、使い分けを御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
484	A-235	LSHD-1～3のW寸法において、BQ内訳書A98・99にてW980とあります。建具表では有効寸法W850と記載がありますが、引き残し寸法を含めた扉本体寸法は、BQ内訳書A98・99を優先とし、W980と考えて宜しいでしょうか。	扉実寸法は、記入していません。開口寸法W850程度確保出来ればよいです。
485	A-235	SF-1の枠見込み寸法において、建具表では116・129の2種ですが、BQ内訳書A94には122と建具表記載以外の寸法があります。BQ内訳書A94を優先とし、122も必要と考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は、使い分けを御指示下さい。	お見込みのとおりです。
486	A-103 A-236	アルミ製建具の気密性能において、建具表共通事項欄にはA-3とA-4と2種の記載があります。特記仕様書(3)の内容を優先とし、A-4のみの適用と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
487	A-236 A-237	AW-4、AWD-1、AWD-9～10の飛散防止フィルムにおいて、特記無き限り品番は、3M:SH2CLAR程度と考えて宜しいでしょうか。	サンゲツ:GF-103同等としてください。
488	A-237 A-307	ADW-9～10の大型FIX部ガラス仕様において、建具表ではFL10+A12+FL10ですが、建具詳細図7ではFL12+A12+FL12と相違します。 建具表を優先とし、FL10+A12+FL10と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
489	A-103 A-306	シャッターのレール等の仕様において、特記仕様書ではステンレス製ですが、建具詳細図6ではスチールと相違します。 建具詳細図6を優先とし、スチールと考えて宜しいでしょうか。	外部はステンレス、内部は図面通りスチールです。
490		BQ内訳書A80において、建具廻りモルタル充填(成形板用)1621mとありますが、成形板面は、ロックール充填として見込んで宜しいでしょうか。	内訳書を正とします。
491	A-103 A-237	アルミ製建具の気密性能において、建具表共通事項欄にはA-3とA-4と2種の記載があります。特記仕様書(3)の内容を優先とし、A-4のみの適用と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
492	A-237	AWD-2~3の飛散防止フィルムにおいて、特記無き限り品番は、3M:SH2CLAR程度と考えて宜しいでしょうか。	サンゲツ:GF-103同等としてください。
493	A-401	1階平面図において、SD-S1のキープランが3か所あります。建具表よりSS-S1と読み替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
494		BQ内訳書A212において、内部に建具廻りシーリング 39.7mとあります。設計図書への図示が見当たりませんが、適用範囲を御指示下さい。	A-405-SD建具詳細図、外部SD枠廻り内側です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
495		BQ内訳書A221において、建具廻りモルタル充填(成形板用)39.9mとありますが、成形板面は、ロックール充填として見込んで宜しいでしょうか。	内訳書を正とします。
496	A-119・602	現況図・仮設計画図の高さ表記が外周部だけですが、敷地内は現況=計画レベルと考えて宜しいでしょうか。	現況レベルをもとに計画しています。
497	A-407・ 605・606・ 703	下記の外構工作物において、コンクリートは特記なき限りFc=18N/mm ² S15と考えて宜しいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・現場打排水溝 ・足洗い場 ・スロープ ・各種基礎 又、下記のコンクリート強度・スラブを御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーション ・オイルタンク ・トレンチピット 	現場打排水溝、足洗い場、スロープ、各種基礎はお見込みのとおりです。ゴミステーション：FC21 地上S18・基礎部S15、オイルタンク、トレンチピットはFC21、S-15とします。
498	A-605	フェンス独立基礎において、配筋はD10@200程度と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
499	A-105	特記仕様書(5) 22.舗装工事 4～7各試験において、特記事項に※行うの指示がありますが、項目に○の指示はありません。確認ですが、不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
500	A-402・604	倉庫棟東側コンクリート舗装(犬走)において、W寸法が倉庫棟断面詳細図ではW700程度ですが、外構計画図ではW200程度と相違します。外構計画図を優先とし、W200程度と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
501	A-604・702	路面標示において、庁舎側敷地に駐車場番号表示がありませんが、職員用駐車場同様に必要と考えて宜しいでしょうか。	不要です。
502	A-604・605	庁舎北側コンクリート舗装において、立下り(側溝取合のL型部分)の配筋はD10 @200程度と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
503	A-604・605	EX-A122 スロ-プ において、配筋は立上りを含め配筋D10@200程度と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
504	A-605	EX-A122スロ-プ において、両側RC立上りの仕上はDP A種と考えて宜しいでしょうか。	コンクリート打放しでよいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
505	A-604	路面標示において、BQ内訳書A293にゼブララインとありますが、図面上見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要とする場合は、範囲・詳細を御指示下さい。	不要です。
506	A-209・603	排水溝において、情報コーナ-出入口にSUSグレーチング側溝W150とありますが、溝は既製品U-120 幅t30 碎石t100と考えて宜しいでしょうか。又、SUSグレーチングのメーカー・品番を御指示下さい。	A-308 AWD-4参照。外部はD=150 W=150現場打コンクリートとします。EX-A110準用してください。
507	A-603・608	雨水桝において、UM-14・26・37は敷地外にありますが、今回工事と考えて宜しいでしょうか。	本工事です。
508	A-603・608	雨水桝において、UM-34は既設U字溝部にありますが、今回工事と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
509	A-319・604・606	サイン04 懸垂幕装置基礎において、基礎形状がサイン詳細図1と外構詳細図2で相違します。サイン詳細図1を優先と考えて宜しいでしょうか。又、上部基礎(2か所)の寸法はW2400×D700と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
510	A-407	<p>脚洗い場において、下記の内容を御指示下さい。</p> <p>①配筋はD10@200程度と考えると宜しいでしょうか。</p> <p>②捨てコンクリートt50、砕石t100を必要と考えると宜しいでしょうか。</p> <p>③グレーチングの仕様及びメーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>①、②はお見込みのとおりです。</p> <p>③はダイクレ同等品とします。</p>
511	A-606	<p>ゴミステーションにおいて、塗装Aは DP A種と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
512	A-606	<p>ゴミステーションにおいて、床仕上はコンクリート金鍍と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
513	A-606	<p>地下タンクにおいて、上部スラブ コンクリート打設時、乾燥砂が必要以上にコンクリートの水分を吸収し、急激な乾燥収縮に伴うひび割れ防止の為、乾燥砂～上部スラブ コンクリートに防湿シート0.15mmが必要と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
514	A-606	<p>地下タンクにおいて、φ40連通管の仕様はVUと考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
515	A-606	<p>トレンチにおいて、仕上は床:コンクリート金鍍、立上り:コンクリート打放補修、釜場:防水珪砂金鍍と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
516	A-606	トレンチにおいて、上部蓋の仕様・厚み及びメーカー・品番を御指示下さい。	コンクリート蓋730 x 500 x t150 x 7枚です。 メーカー指定は行いません。
517	A-604	今回の工事範囲において、歩道切下げ等の敷地外工事がありましたら詳細を御指示下さい。	歩道切り下げは別途工事です。
518	A-701	職員用駐車場において、車止めの指示がありませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。確認ですが御指示下さい。	お見込みのとおりです。
519	A-605 A-605 A-605 A-605 A-605 A-606 A-606 A-607 A-608 A-608 A-703	下記の仕上において、仕様・詳細及びメーカー・品番等が御座いましたら、御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・EX-A110・111 現場打ち側溝グレーチング 蓋 ・EX-A120 ネットフェンス ・EX-A120 ネットフェンス門扉 ・EX-A105 インターロッキング ブロック ・EX-A105 インターロッキング ブロック 点字ブロック ・EX-A211 地下タンク 防水マンホール蓋 ・EX-A210 コミステーション 有孔折板両開き扉 ・EX-A301、302 落蓋式U字溝グレーチング 蓋 ・EX-A401 雨水枿Aグレーチング 蓋 ・EX-A401 雨水枿B～Dグレーチング 蓋 ・EX-B110 駐輪場上屋 	下記のとおりとします。 <ul style="list-style-type: none"> ・EX-A110・111 現場打ち側溝グレーチング 蓋 →指定なし ・EX-A120 ネットフェンス →指定なし ・EX-A120 ネットフェンス門扉 →指定なし ・EX-A105 インターロッキング ブロック →指定なし ・EX-A105 インターロッキング ブロック 点字ブロック →指定なし ・EX-A211 地下タンク 防水マンホール蓋 →指定なし ・EX-A210 コミステーション 有孔折板両開き扉 →指定なし ・EX-A301、302 落蓋式U字溝グレーチング 蓋 →指定なし ・EX-A401 雨水枿Aグレーチング 蓋 →指定なし ・EX-A401 雨水枿B～Dグレーチング 蓋 →指定なし ・EX-B110 駐輪場上屋 →四国化成「サイクルポートVF-R」同等

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
520	E-002	電波障害調査・電波障害対策工事について、補償工事●含とありますが、調査時期（●着工前●上棟時●竣工時）の実測調査費を見込むことでよろしいですか。	工事には実測調査のみを含めてください。
521	E-002	上記補償工事を含む場合、補償対象件数をご指示ください。	上記回答に倣います。
522	E-002	TV共聴設備においてUHF・BS・CSアンテナの記載がありますが、E-042図と相違しています。不要と考えて宜しいでしょうか。	TVはCATVにて引き込むので不要です。
523	E-002	防犯・入退室管理設備において配線及び機器が本工事となっていますが、E-051,053図では別途工事です。別途工事と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
524	E-003	外構部の倉庫棟送りの配管配線について、入退出管理設備が配線工事でも記載されていますが、空配管と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
525	E-028	照明器具リストで倉庫4-1の記載が有りますが部屋が無く、委員会室2に器具が含まれている様です。器具A3 x 3台を見込むものと考えて宜しいでしょうか。	委員会室のA3は不要とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
526	E-040	端子盤の仕様において、構内交換設備用に1T-2にSPD x 2、1T-SにSPD x 1の記載がありますが、それぞれ二次側用に2台・1台取付ると考えて宜しいでしょうか。	1T-2は1次側に1台、2次側に1台としてください。 1T-Sは1次側としてください。
527	E-045	注記16に将来ネットワークAP用のBOXと空配管の記載がありますが、空配管は40個 x 30m =1,200m ではなく30mと考える宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
528	E-050	出退表示設備において、編集用PCの記載がありますが台数が不明です。1台のみと考える宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
529	E-057～059	会議設備 赤外線会議システムの機器台数が平面図では読み取れません。金抜き設計書の台数を正と考える宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
530	E-057～059	会議設備 視聴覚機器のマイク・マイクスタンド等の本数の記載がありません。金抜き設計書の台数を正と考える宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
531	M-01	直天の執務室、廊下等の保温の仕上げは、標準仕様書の室内露出仕様として宜しいでしょうか。御指示下さい。	屋内露出仕様とします。
532	M-01	不燃木ルーバー天井内の保温は隠蔽仕様、塗装は不要としますが、宜しいでしょうか。御指示下さい。	隠蔽仕様（黒色アルミガラスクロス）とし塗装は不要です。
533	M-01	倉庫及び書庫内の保温は隠蔽仕様、塗装は不要としますが、宜しいでしょうか。御指示下さい。	倉庫仕様とし塗装は不要とします。
534	M-03,04	空調室外機は、メーカー標準高効率を選定して宜しいでしょうか。	機器表消費電力を参考とし、省エネ適判などに影響のない機種を選定してください。
535	M-03,04	空調室内機は、エリアセンサーを設けないメーカー標準機を選定して宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
536	M-26 M-40	受水タンクの寸法が、M-26とM-40で違います。M-40の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。	M-40を正と考えてください。
537	A-101 A-105	土工事、外構工事の埋め戻し土がB種と記載がありますが、岩掘削となるため掘削土は全て場外搬出のうえ、埋め戻し土は全て購入土と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
538	A-101 A-105	上記について、掘削土による埋め戻し可能な場合の仕様についてご指示願います。	上記による。
539	金抜き設計書 No.A10	建設発生土処分が指定地処分となっておりますが、指定処分地をご教示願います。	宿毛建設資源協同組合です。
540	S-001	地業工事において、砂利(碎石)の仕様は、再生クラッシュランと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
541	S-001 A-239	屋上のパラペット躯体の側面に防水立上りの押えコンをする仕様になっていますが、こちらの立上り押えコンクリートの仕様をご指示願います。	S-001防水押えコンクリートの通りです。
542	S-001	コンクリート工事のセメントにおいて、1FL以下の部分・1FL腰壁に高炉セメントB種の記載がありますが、交流棟を含む全ての棟の躯体に適用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
543	S-001	コンクリート工事において、上階の立上り(パラペット等)のコンクリートの仕様は、FC24 S18 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	FC24 S15です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
544		デッキコンのコンクリート流止めの仕様が不明です。デッキコンのコンクリート流止めの仕様を御指示下さい。	任意ですが参考として以下の通りです。 $W = 0 : PL - 1.6$ $0 < W \leq 300 : PL - 3.2$ $300 < W \leq 600 : PL - 3.2 \quad L - 50 \times 50 \times 6 @ 600$ 以下
545	S-001	今回工事では、杭地業工事が無く直接基礎ですが、各棟ごとに地耐力試験を見込むものと考えて宜しいでしょうか。見込む場合、試験内容や地耐力強度を御指示下さい。	不要です。
546	S-006	梁の打増しコンクリート補強筋において、軸方向補強筋D19がありますが、ガス圧接による継手と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
547	S-005 S-037	RC梁貫通孔の補強において、既製品使用時の配筋種別の詳細を御指示下さい。	製造所仕様によります。
548	S-23	R1階平面図の柱並びに壁、梁に斜線表記がありますが、意味するものが不明です。ご指示願います。	斜線はRC立ち上がり（パラペット、配管取出口等）です。X7-8間の床レベル特記以外はすべて立ち上がりです。
549	S-23	講堂の梁について斜線表記のある場所とない場所があります。両社の違いをご教示願います。	議場の斜線梁は図面に記載しているとおり、RFL-10位置に配置されるB60及びB19Aの上に配置する梁B19Aを示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
550	A-239 A-244	部分詳細図/D-0107の機械類基礎において、下図（べた基礎形状）に配筋の記載がありますが、この配筋は内部の設備基礎の配筋要領と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
551	A-239 A-244	部分詳細図/D-0107の機械類基礎において、上図(外部屋上機器基礎)の配筋が不明です。外部屋上機器基礎の配筋を御指示下さい。	縦横ともD13@150籠状としてください。
552	A-244	屋上の目隠し壁受け鉄骨柱廻りのRC基礎の配筋が不明です。図S-005の10.壁 G ^レ ラ ^レ ット配筋に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	縦横ともダブルD10@150としてください。
553	A-242 S-034	部分詳細図/D-0401~0403・0501において、屋上RC ^レ ラ ^レ ット下のスラブがハツの様記載がありますが、フラットデッキの為、雑詳細図の水下屋根スラブと同様の収まりと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
554	S-001 S-029 A-201	礎版下の地業において、リスト・断面詳細図では碎石t=60と記載がありますが、構造特記仕様書では碎石t=100となっております。碎石t=60を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	再生クラッシュランt=60です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
555	S-104 S-106 S-108	1階床伏図の特記事項において、地中梁天端:1FL-350とありますが、地中梁リストでは地中梁天端が設計GL-300(1FL-250)、鉄骨詳細図では設計GL-350(1FL-300)の様な記載がありそれぞれで相違します。地中梁天端は設計GL-350(1FL-300)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	1 FL-300が正です。
556	A-501	柱保護コンクリートにおいて、鉄骨柱面に緩衝材として、ミツ [®] ロックt20を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面通りとしてください。
557	S-402	地中梁リストのFG1Aにおいて、腹筋がリストでは2-D10ですが、断面では6-D10の表記があり相違します。6-D10を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
558	S-501	使用構造材料のコンクリートにおいて、基礎・基礎梁FC24ですが、混和材料は高性能AE減水剤と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
559	S-501	使用構造材料のコンクリートにおいて、土間コンのスランプ [®] の記載がありませんが、S15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
560	S-508	基礎断面図の外周部基礎断面図において、土間コン上にRC立上りがありますが、コンクリートの仕様は、普通コンのFC24 S15高性能AE減水剤と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	土間コンと同仕様としてください。
561	S-501 S-001	使用構造材料のコンクリートにおいて、捨てコンの仕様がFC15 S15とありますが、構造特記仕様書(S-001)ではFC18 S18とあり相違します。構造特記仕様書(S-001)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
562	S-001 S-508 A-203	土間コン下の地業において、構造特記仕様書では砕石t=100のみの記載ですが、断面詳細図では捨てコンt=50+砕石t=60+ポリレンシートt=0.15(2枚敷)+断熱材At=30となっております。断面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	断面詳細図を正としてください。
563	S-507 A-241	煙突がCLTを貫通しますが、構造図と意匠図開口の形状が相違します。開口廻りの仕様をご指示願います。	CLT開口600角です。
564	S-510	CLT納まり詳細図について、構造用合板24mmが該当する部位、範囲が不明です。詳細をご指示願います。	CLT-CLT継ぎ目すべてに幅120で設置します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
565	A-503	柱保護コンクリートにおいて、鉄骨柱面に緩衝材として、ミラブロックt20を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面通りとしてください。
566	S-014	鉄骨梁貫通補強について、庁舎棟以外の棟には不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
567	A-244	屋上設備基礎の鉄骨架台について、RC基礎との取合はAbolt2-M16 L400と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-0107を参照してください。
568	A-305	シャッター下地鉄骨について、シャッターボックス受け材2□-100*100*2.3に束材□-100*100*2.3 @600を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	@900としてください。
569	A-305 A-406	シャッター下地鉄骨について、支柱の柱脚詳細が不明です。倉庫棟に倣い、BPL-12*195*195、Abolt3-M12 L=420と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	当該シャッターに支柱はありません。
570	S-032	スラブ段差部の、ウェブ面デッキ受け材はL-75*75*6と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
571	A-329 A-330	ILベーター鉄骨について、立柱・三方枠の柱脚、ピット部中間ビームのRC取合いは下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 立柱H-150*150:BPL-16*200*200、Abolt2-M16(L400) 三方枠:BPL-9*150*200、Abolt2-M16(L400) 中間ビーム:BPL-9*150*150、Abolt2-M16(L400)	製造所仕様によります。
572	A-240 S-020	庇床版詳細図にて、床版フレームにて床材を受けていますが、2～R1階床伏図では根太 @450となっており相違しています。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。否の場合、根太の部材断面を御指示下さい。	お見込みのとおりです。
573	S-031	鉄骨柱・間柱リストについて、P[15のAbolt本数は4-M16とありますが、図示では2本となっており相違しています。2-M16と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
574	A-405	折版受け鉄骨の部材断面が不明です。C-100*50*20*2.3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
575	A-502 S-404	折版受け鉄骨について、意匠図ではC-100*50*20*2.3とありますが、構造図ではC-100*50*20*3.2と相違しています。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
576	S-404	庇先端部胴縁について、四隅の角形鋼管は□-100*100*2.3と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
577	A-119 A-601 A-702	着工時の敷地状況(庁舎側、職員用駐車場)について、下記の項目が不明です。ご指示願います。 ①A-119図の外周レベル以外の敷地内の現況レベル ②A-601図の敷地南側の道路、西側の隣地の仕上げ状況とレベル ③A-702図の職員駐車場の外周レベル以外の敷地内の現況レベル	①外周レベルの平均より算出しています。 ②道路は完成しています。隣地は開発工事完了の状態です。 ③敷地外周部レベルを結んだレベルとします。
578	A-101	工事用看板で『大建設計指定様式』と記載がありますが、詳細が不明です。ご指示願います。	900角、指定デザイン（2色）、材料任意とします。
579	A-101 A-119	仮設工事の仮囲いについて、特記仕様書で鋼板製、仮設計画図で垂鉛メッキ鋼板とございますが、こちらは指定仮設ではなく参考仮設と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
580	A-102 A-244 A-310 参考明細 A-80	<p>外壁押出成形セメント板について、下記の項目が不明です。ご指示願います。</p> <p>①工法は、A-310よりニューセーファー工法と考える宜しいですか</p> <p>②外壁デザインパネルはガワ ストライプライン程度と考える宜しいですか</p> <p>③内部支持用アングル類は錆止め、耐火被覆なしと考える宜しいですか</p> <p>④外部アングル類は溶融亜鉛メッキ、素地と考える宜しいですか</p> <p>⑤ECPとAW,SDの取り合いについて全てRW充填と考える宜しいですか。</p> <p>⑥参考明細に『建具廻り珪藻土充填』と『建具廻り珪藻土充填成形版用』とありますが、各々の該当する場所が不明です。ご指示願います。</p>	<p>①お見込みのとおりです。</p> <p>②タスロック程度とします。</p> <p>③は防火区画および延焼部分以外はお見込みのとおりです。</p> <p>④は溶融亜鉛メッキの上DP-A種です。</p> <p>⑤お見込みのとおりです。</p> <p>⑥成形版用はECP取合部に使用します。</p>
581	A-310	<p>外壁ECP板の足元外水切プレート(ステンレス)において、厚みt=1.0程度、HLと考える宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>フッ素樹脂塗装とします。</p>
582	A-102	<p>アスファルト防水 (AI-1) の絶縁シートについて、二種類に※印の記載があります。ポリエチレンフィルムを正と考える宜しいですか。</p>	<p>製造所仕様によります。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
583	A-102 A-241 A-402 A-501～ 503	折板葺は重ね形と嵌合式の2種類の記載がありますが、 倉庫棟 : 重ね式 三晃金属 ルーフロック同等 その他 : 嵌合式 サンコールロック85同等 と考えて宜しいですか。	全て嵌合式、サンコールロック85同等とします。
584	A-102 A-245/D- 0711	軽量鉄骨天井の下地の補強について『屋外軒天井…図示による』と記載がありますが、詳細は部分D-0711図のブレース補強を示すものとし、「外部はH≧1000、内部≧1500」となる部分と考えて宜しいでしょうか。	外部軒天井はD-0710備考欄を参照してください。
585	A-246 A-111	ボードのGB(R-H)について、凡例の記載がございません。 硬質石膏ボード (タイガ-ハイパーボードC) と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
586	A-246	耐火・遮音間仕切S1の石膏ボード GB(R)t9.5は、硬質石膏ボード GB(R-H)t=9.5に読み替えるものと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
587	A-246	耐火遮音間仕切りS1について、断面にLGS90の記載がありますが、LGS65の場合の壁厚が151、LGS90の場合の壁厚は176と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
588	A-102	特記仕様書に軽量鉄骨天井の補強として、該当範囲の記載がありますが今回工事では該当範囲では不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、施工範囲及び仕様を御指示下さい。	お見込みのとおりです。
589	A-111	壁仕合板の出隅・入隅見切縁の形状を御指示下さい。	拇 L-35×35 OSCL とします。
590	A-245	排水溝内は、防水珪外塗 素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
591	A-111～ 114 A-115	仕上げ表では各所フリーアクセスフロアーの下地についてコンクリートコテ押えとなっており、詳細図A-115図では指定仕上材の記載があります。 フリーアクセスフロアー下の仕様をご指示願います。	コンクリートコテの上塗床Bです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
592	A-104 A-111 A-115 A-117 A-225 A-245 A-248 A-249 A-251 M-26	下記の同等品名あるいは仕様を御指示下さい。 ○耐火塗料 ○耐火シート ○汚垂タイル ○身障者手摺 洗面器用 ○身障者手摺 小便器用 ○吹付B ○ビニル床タイル 帯電防止 ○クロスA (SLW面) ○押入壁・天井 化粧ポर्ट ○壁 化粧ケイ酸カルシウム板 ○防塵塗装 ○樹脂製床組 ○鋼製床組 ○身障者点字タイル ○ビクチャーレールアルミ製 ○トイレース ○ブライント ○電動ロールスクリーン ○手動スクリーン ○アルミスパンドレル	下記のとおりとします。 ○耐火塗料 →指定なし ○耐火シート →エスケー化研「SKタイカシート」同等 ○汚垂タイル →指定なし ○身障者手摺 洗面器用 →指定なし ○身障者手摺 小便器用 →指定なし ○吹付B →アイカ「クライマテリア イタリアート」同等 ○ビニル床タイル 帯電防止 →指定なし 500×500 フリーアクセスフロア 下地 FOA ○クロスA (SLW面) →指定なし 1000クラス ○押入壁・天井 化粧ポर्ट →指定なし ○壁 化粧ケイ酸カルシウム板 →指定なし ○防塵塗装 →ABC商会「シリケートハードナーJP」同等 ○樹脂製床組 →三洋工業「ホームベースe」同等 ○鋼製床組 →指定なし ○身障者点字タイル →LIXIL「ピアッツァ」同等 ○ビクチャーレールアルミ製 →指定なし ○トイレース →指定なし ○ブライント →タチカワブラインド「モノコム」同等 ○電動ロールスクリーン →タチカワブラインド「ラルクシールド」同等 ○手動スクリーン →電気設備工事図によります。 ○アルミスパンドレル →指定なし

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
593	A-329	EV工事についてメンテナンス契約の有無について不明です。 メンテナンス契約は有るものと考えて宜しいですか。	別途契約です。
594	A-240 A-307～ 310	アルミ製建具枠について、A-310図ではECP枠となっていますが、それ以外の図面では二重シールの記載で相違しています。 A-240図の同面納まりで、二重シールを正と考えて宜しいですか。	ECPニューセーフティ工法のためガスケットとシールです。
595	A-103 A-234	アルミ製建具の性能、表面処理が、特記仕様と建具表とが相違しています。 特記仕様書 S-5・A-4・W-5・T-2・H-1 C種の上、焼付塗装 建具表 S-5・A-3,4・W-5・T-1・H無 表面処理記載なし 特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
596	A-247	D-0905 6について、外部SDには扉のみRW若しくはGW充填（メーカー仕様）すると考えてよろしいですか。	建具表に表現しているもののみでお見込みのとおりです。
597	A-234 ～238	建具金物については特に記載がございませんが、全てメーカーの標準仕様と考えて宜しいですか。	特記なき限りお見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
598	A-240 A-242 A-310	<p>外壁ECP板の支持方法について、A-240図のECPの開口補強方法について、スラブと開口の関係が本建物のものとは相違し、ECP支持用の金物と開口補強用の金物とが併用可能かどうかについて判断がつきかねます。</p> <p>ECPの下端の通し金物と、開口上端の開口補強について同じ位置にあります、併用不可と考え各々計上すると考えて宜しいですか。</p>	<p>A-310、A-242はECPの取付の考え方、A-240については開口補強を表現しています。各部分の詳細検討については取合いも含め施工図にて決定しますので各々計上してください。</p>
599	A-239 A-242 A-310	<p>最上階のECPの固定について、パラペット天端付近での支持の為、一般階の様に上フランジ間で2か所の持ち出し材は不要かと思われ、フランジ下部の持出のみと考えて宜しいですか。</p>	<p>不要かどうかの決定は選定メーカー、施工者、設計者の施工図レベルの検討打合せで決定します。図面通りとしてください。</p>
600	A-209 A-213 A-216 A-220 A-237	<p>A-209～220の各階平面詳細図のECPの割付寸法はA-310図他と相違しています。A-310の割付を正と考えて宜しいですか。</p> <p>その場合、各階平面詳細図の寸法変更後の図面のご提示をお願いします。</p>	<p>A-310はパネルの割付寸法（参考図）、その他は建築図の寸法押さえですから建具シール等踏まえた表現になります。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
601	A-237 A-240 A-243 A-307	<p>A-240でAWD-9, 10の開口補強について</p> <p>①上下の開口補強がH-200*200となっていますが、A-243図より上部の支持材の記載がございません。棟屋スラブ用の梁以外に上部支持材が必要と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>②上記が正の場合、梁との納まりが難しいように見られます。ご確認お願いいたします。</p> <p>③換気窓下にFIX窓、横に開き扉がありますが、水平の開口補強材がFIX窓、開き扉ともに干渉すると思われます。開口補強方法並びに、外部仕上げについてご確認お願いいたします。</p>	<p>①、②は開口部上下共に鉄骨に支持するよう表現しています。サッシ上下にはL-75x75x6を通し材とし、その材を上下鉄骨上下フランジに支持する縦材に溶接留めとしています。</p> <p>③についてはA-307にてサッシ検討しており、これについて異議があれば施工図作成時の打合せによります。</p>
602	A-244	<p>屋上目隠しパネルはルーバー専用パネルと考えて宜しいですか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
603	A-244	<p>屋上目隠しパネルは北面からの折り返しについては、1枚のみ一般のフラットパネルの折り返しと考えて宜しいですか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
604	A-244	<p>屋上目隠し壁について、下記の項目が不明です。ご指示願います。</p> <p>①ECP用の下地鉄骨並びに支持金物は溶融亜鉛メッキ素地と考えて宜しいですか。</p> <p>③天端PL-6についてスチール溶融亜鉛メッキ+DP塗装と考えて宜しいですか。</p>	お見込みのとおりです。
605	A-244	<p>屋上目隠し壁の折板（溶融亜鉛メッキ板）で下記の項目が不明です。ご指示願います。</p> <p>①折半断面図記載の断面形状</p> <p>②姿図で55の意味するもの</p>	<p>①折板折り返し部を切り取って示しています。</p> <p>②クリアランスです。</p>
606	A-244	<p>ハト小屋の開口パネルの表面処理が不明です。BA-1と考えて宜しいですか。</p>	BA-2種です。
607	A-239 A-201 S-015	<p>屋上のSFデッキについて、ルーフトレイン周りについてはS-015図のC図のような調整板を使用し、内断熱となると考えて宜しいですか。</p> <p>その場合、調整板とSFデッキとの段差部の処理方法をご指示願います。</p>	お見込みのとおりです。段差スラブはS-015に準じてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
608	A-239/ D-107	D-0107図において ①屋上設備基礎類の押えコン～アルミ笠木迄の立上りについて、その他の立上り同様に吹付Aと考えて宜しいですか。 ②下段の笠木無しの基礎に該当するものはないと考えて宜しいですか	①お見込みのとおりです。 ②屋内の基礎です。
609	A-201 A-224	鳩小屋の壁仕上は設備基礎・防水立上りと同様に吹付(A)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
610	A-239/ D-102	屋上の防水立上り部分にある、アルミ水切笠木(既製品)において、表面仕上が不明ですが、BA-1種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B A - 2種です。
611	A-224 A-239/ D-108 A-201	屋上のタラップについて、下記の項目が不明です。ご指示願います。 ①5か所のタラップ全て背カゴ無しと考えて宜しいですか。 ②屋根4～屋根2, 3 : 豎地全長4.0m ③屋根1～屋根4 : 豎地全長2.0m ④庇～屋根4 : 豎地全長1.9m	①はお見込みのとおりです。 ②～④は内訳書参照してください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
612	A-240/ D-204 A-242 /D-402・ 403	鉄骨梁が外壁を貫通する部分の納まりに関して、A-240図D-0204とA-242図とで相違しています。水切りの無いアルミパネのA-242図を正と考えて宜しいでしょうか。 A-240図が正の場合は、該当する場所、PL並びに水切りの材質並びに仕上げ等の詳細をご指示願います。	D-0204はA-242図に示す箇所以外とします。 仕上はC種 フッ素樹脂塗装です。
613	A-242	鉄骨梁外壁貫通部の塞ぎ板には結露防止材 t=5.0程度を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
614	A-240/ D-204 D-111	外部鉄骨貫通部において、貫通部(C 特記のない所)の四周に「水切」と記載されていますが、材質・厚みが不明です。アルミ t=2.0 BA-1種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また水切り付きの塞ぎ板が該当する場所は、D-111図のアンテナ取付ブラケットのみと考えてよろしいですか。	D-0204は設備、その他構造材支持の取付物の発生した時の物と考えてください。BA-2種とします。
615	A-201 A-224	屋上鳩小屋の開口部分にパネの記載がありますが、下記について御指示下さい。 ・裏面には結露防止材吹付 t=5.0が必要と考えて宜しいでしょうか。 ・アルミの表面仕上はフッ素樹脂焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 アルミ表面：BA-2種

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
616	A-244	屋上設備基礎の鉄骨架台は溶融亜鉛メッキ素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
617	A-201	1階廻りのRC見掛け部分(地中梁部分)の仕上は吹付Aと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	DP(フッ素樹脂塗装)です。
618	A-209 A-226	1階廻りの各通用口(3ヶ所)において、一部天井仕上が出てくると思われますが、下地・仕上が不明です。凡例J(ケイカル板 t=8+8 + EP-G)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-308 AWD-1、2、4を参照してください。
619	A-226	外部天井の廻り縁について、下記の様に考えて宜しいですか。 ・通用口 天井ケイカル面 : 塩ビ製コの字 ・交流棟 天井CLT面 : 廻り縁無し、シール納まり	通用口に関してはNo.82にて回答と同じです。 交流棟に関してはA-241より、外部天井無しです。
620	A-101 A-117	耐火被覆の耐火時間が特記仕様書では1時間のみですが、耐火リストで梁型ケイカル板 合成耐火のみ2時間となっております。本工事は全て1時間の耐火時間の為、2時間のものは該当無しと考えて宜しいですか。	ケイカル板で1時間耐火のものがあればそちらでも問題ありません。
621	A-117 A-310	梁と外壁の複合耐火の場合、庁舎棟についてはA-310図のようにECP支持金物にス張りの上、耐火被覆の吹付と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
622	A-242	外壁側の梁の耐火被覆について、外壁との複合耐火のような記載となっておりますがよろしいでしょうか。 その場合、複合耐火部分(梁成部分)の外壁のウレタンは不要と考えて宜しいですか。	断熱と耐火は別です。
623	A-255	A-255図 左上平面図でW=600の点線の表記がありますが、エキスパンドメタルの表記と考えて宜しいですか。	キャットウォークの範囲です。
624	A-255	A-255図 左上平面図の天井の3重の楕円の表記がありますが、最外部の楕円について線が途切れています。線がつながっているものと考えて宜しいですか。	壁ルーバーを表現しています。
625	A-255	ルーバー用の木製ブラケットの記載がありますが、樹種、詳細形状、仕上げ等の詳細が不明です。詳細をご指示願います。	図面通りです。杉OSCLです。
626	A-251	電動ロールスクリーンボックスの仕上げは、SOP塗と考えて宜しいでしょうか。	メラミン焼付塗装です。
627	A-254	1F情報コーナー X-8通り建屋内にグレーチングの記載がありますが、仕様並びに排水経路等の詳細が不明です。ご指示願います。	A-308 W=150 亜鉛メッキ品です。最寄り外部側溝に接続とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
628	A-209 A-213	1FEV横のDSで、間仕切が5.0mを超えますが、補強方法が不明です。 ご指示願います。	振止め付角形スタッド100 x 45 t = 1.2です。 開口補強は仕様書に準じてください。 補強鉄骨は2C-75 x 45 x 15 x 2.3です。
629	A-206	階段踊場・踏面の珪外内には、溶接金網φ3.2*50*50を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
630	A-115	F-02A図の塗床について、a、bのいずれに該当するかが不明です。全てaに該当すると考えて宜しいですか。	仕上表の床下地を参照してください。
631	A-243	階段外壁面側（Y a 通）の梁型について、天端と下端についてはポリ合板の記載がありますが、側面について仕上げが不明です。仕上をご指示願います。	壁仕上と同様です。
632	A-113	サーバー室の免震床(別途工事)の詳細が不明です。 フリーアクセスフロアー（B）は室全面に計上しておけばよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
633	A-104 A-113	サーバー室のフリーアクセスフロアーBについて、H=500とありますがAZ-5000DPの支柱はH=300までとなっています。ご確認をお願いいたします。	カタログには記載してありませんが、制作可能として見積を取っています。メーカー指定してしておりませんので御社にてご判断ください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
634	A-111	相談室1-2・1-3等の床下地が、フリーアクセスフロア(A)嵩上材とありますが、フリーアクセスフロア(A) H=50を見込むものとし、それ意外に見込むものがありましたら、詳細を御指示下さい。	フリーアクセスと同高の充填材です。詳細はメーカー仕様としてください。
635	A-122	平面図（執務室他）で3種類のハッチの表記がありますが、 <ul style="list-style-type: none"> ・各所壁際のハッチ　：フリーアクセスフロア ・1Fマイナンバーエリア　：タイルカーペット貼り分け と考えます。 3F執務室のハッチの表記するものについて不明です。 ご指示願います。	フリーアクセスフロアです。
636	A-124	代替進入口の仕様について、ガラス破壊による進入と考えるて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
637	A-245	D-0708,0709図に記載の壁の取り合いについては、目透かしに該当するか所はないものと考えてよろしいですか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
638	A-239	D-0104詳細図で屋上排水溝下の断熱材の仕様が不明です。発泡ウレタンフォームt=25と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	断熱材Bとしてください。
639	A-209, 213,216 220 A-111~ 114	各階の本工事に含む家具と、別途の備品について平面詳細図で全て実線と表記の為判別が難しいです。別途備品については、点線表記した図面のご提示をお願い致します。	家具詳細のないものは、別途工事とご判断ください。
640	A-216 A-301	3F会議室3-1・3-2のライティングウォール天井裏が、平詳でS1になっていますが、A-301のレール取付断面図の納まりを正とし、ボード及びグラスウール充填の仕様はS1に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図通り S 1としてください。
641	A-114	4F議員控室1の仕上表備考に「議員文書箱」と記載がありますが、家具図を御指示下さい。	詳細図がありますので参照ください。
642	A-255	RFLのコンクリートスラブ 以外のキャットウォークなどが取りつく場所の床の下地並びに仕上げが不明です。ご指示願います。	床はありません。
643	A-255	梁型立上り天端の木製見切りの樹種、仕上げが不明です。ご指示願います。	柎 OSCLです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
644	A-116	木ルーバーの天井下地がLGS材となっていますが、下地の取付ピッチが不明です。ご指示願います。	C-100x50x20x2.3@900程度とします。
645	A-114	4F DSの仕上表で、壁にEPとGW-Bの記載がありますが、使い分けが不明です。全てGW-Bと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
646	A-114	4F DSの仕上表で、天井がGBR12.5になっていますが、天井高の記載がありません。CH=2700と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
647	A-201	各水槽について、天井並びに梁の折り返しに断熱材A（押出ポリスチレンフォーム）、仕上げがケイ酸質系塗膜防水（全面）となっていますが、断熱材Aの固定方法が不明です。ご指示願います。	断熱材打込みです。
648	A-102・111	特記仕様書でセラミックタイルBの施工箇所が便所壁となっていますが、仕上表より便所床と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 壁に該当する場合は、同等品名、品番等の詳細をご指示願います。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
649	M-26 A-248	洗面カウンター化粧ボウルのD寸法が、設備図の品番ではD365ですが、洗面カウンターのD寸法は350のため納まらないと思われます。 洗面カウンター寸法と化粧ボウルの品番を御指示下さい。	D365は陶器外寸でツインデッキカウンターはMLWEの600タイプでカウンターの開口寸法は315です。
650	M-26 A-225	設備図ではベビースートの取付位置は多機能便所のみですが、平面詳細図では1F男子、女子便所にもベビースートの記載があり相違しています。男子、女子便所にも必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。建築工事を正とします。
651	A-111～ 114	内部仕上表で凡例記載のないものを記載します。凡例をご指示願います。 ・1F機械室置場（消火ポンプ室） 塗床 ・2F、3F男子便所、女子便所 不燃メラミン化粧板	下記のとおりとします。 機械置場：塗床B 便所：不燃メラミン化粧板A
652	A-111～ 114	1・4F便所の壁不燃メラミン化粧板は目地シーリングと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
653	A-248	D-1004,1005図記載の手摺の補強方法について2種類の記載がありますが、いずれが正と考えればよろしいですか。 D-1004図が正の場合はt=60の納まりをご指示願います。	L型手摺：耐水合板t12 300x100 小便器・多用途I型・一型：杉 t 60 300 x 100 製造所仕様によります。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
654	A-112 A-209	1Fオイルパンプ室の防油堤外の仕上が不明です。御指示下さい。	塗床Aです。
655	A-226 111~114	物入の天井仕上が天井伏図では化粧PB、仕上表では1F 直天(SOP)、2F 直天、3・4Fは直天(SOP)と相違しています。仕上表を正とし、2Fも直天(SOP)と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
656	A-114	4F物入の中木が木製中木となっていますが、1~3Fに倣いビコル中木と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
657	A-209・250	1F休憩室・救護室の畳前敷台の床材の厚みが不明です。御指示下さい。	t 15です。
658	A-250 D-1203	押入れの床組について根太受け材の表記がございません。中段等に倣い45×90と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
659	A-250 D-1203	押入れ内に枕棚は不要でしょうか。必要な場合、詳細を併せて御指示下さい。	不要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
660	A-209・216	1F女子更衣室、3F男子更衣室にロッカーのような図示がありますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、詳細を併せて御指示下さい。	お見込みのとおりです。
661	A-213・216	2・3F休憩室の床仕上げは、 $\text{L}+400$ となる範囲のうち、一部板張と思われる部分がありますが、床仕上、下地の仕様が不明です。下記程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・床仕上：縁甲板 ・床下地：樹脂製置床の上転ばし床組 ・巾：300	下地はA-115 F-08D 巾は150程度としてください。
662	A-250 A-102	A-102では縁甲板及び上り框は $\text{H}/\text{Kt}=15$ と記載がありますが、A-250の詳細図のサイズと相違します。A-250図を正と考えてよろしいですか。	上がり框寸法は詳細図正としてください。
663	A-113 A-216	3F男子更衣室に物入・クローゼット・ハンガーパイプのような記載がありますが、展開図には記載がなく詳細が不明です。詳細をご指示ください。	D-1204によります。L=12mです。
664	A-113 A-249	流し台前壁仕上が、仕上表では化粧ケイカル板、部分詳細図ではキッチンパネと相違しています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
665	A-220 A-250	木製棚について4階平面詳細図にのみ記載があります。 倉庫4-1のみにD-1206 bの断面のものがあると考えてよろしいでしょうか。その場合の平面的なサイズ、員数等をご指示願います。	お見込みのとおりです。サイズ等図面の通りです。
666	A-113 A-216 M-026	3F洗面の洗面カウンターですが、仕上げ表では設備工事、衛生機器表・器具表ではカウンターは建築工事（マブライトカウンター）となっています。カウンターは建築工事と考え、A-248部分詳細図D-1003天板は人工大理石（下部物入付き）と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
667	A-253	集密書架について、リストでは全て6段となっていますが姿図に7段の記載があります。リストを正として全て6段と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
668	A-203 A-250	ガラス手摺下壁の端部見切縁が、部分詳細図ではアルミ製とありますが、断面詳細図通り、スチールPLt=1.6 135*25+SOP塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
669	A-205 A-220	4F廊下4-1フロア部に壁付手摺がありますが、階段と同じ樹脂製φ34ステンレスφ21.7*2.3ブラケット@900共と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
670	A-205	階段上部手摺アングルの形状が、L-45*45*6とL-50*50*6とで相違しております。L-50*50*6を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
671	数量書	数量書No.A41に、柱型～梁接合部耐火シートとありますが、納まり図を御指示下さい。	柱から梁持ち出し部（ハンチ等）W = 600幅です。
672	A-248	D-1005 手摺詳細図で壁下地が耐水合板t=12+12と記載されていますが、使用範囲が不明です。御指示下さい。	支持1か所あたりt12 300 x 100です。
673	A-111 ～114 A-226	仕上表で、1～4F便所に「ブライント」の記載がありませんが、天井伏図より「ブライント」を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上表によります。
674	A-216	3F洗面・更衣室～待合室間の間仕切がS2(耐火遮音間仕切)となっていますが、周囲の間仕切はWのためWと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面のとおりです。
675		上記質疑が不可の場合、周囲の間仕切でS2とする範囲があれば併せて御指示下さい。	平面詳細図の通りです。
676	A-208	ポンプ置場の床増打コンクリート内に溶接金網等は不要でしょうか。必要な場合、仕様を併せて御指示下さい。	D10@200タテヨコとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
677	A-112 A-201	仕上表で水槽の天井仕上が防水Cとなっていますが、断面詳細図より断熱材A=30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	上部が空調対象室の場合は断熱材打ち込みとしてください。
678	A-112	1F機械置場の塗床はB(防塵塗装)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
679	A-328 A-326	3Fのハイカウンター用スタッフ側補助脚(J-4)のか所数が、姿図では2箇所、キープランでは1箇所と相違しています。キープランを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	家具詳細図7を正とします。
680	A-312	倉庫棟のE4 室名表示(バック)の取付位置が不明ですが、リスト通り6か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
681	A-312・315	G2 スタンド の取付707が、リストでは1階ですが、キープランより2階と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
682	A-255	4F議場の吹抜廻り下り壁の仕上を御指示下さい。	EPです。
683	A-255	4F議場の吹抜廻り下り壁天端の木製見切は、OSCL塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
684	A-234	SD-6のシャッター部分の仕様が不明です。 SS-1～4と同じ仕様と考えて宜しいですか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
685	A-103 A-234	SD-6・SS-1～4において、スラットは特記仕様書より溶融亜鉛メッキですが、素地仕上と考えて宜しいでしょうか。 また、角ケースも同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	角ケースともSOP塗りです。
686	A-103 A-234 A-305	SD-6・SS-1～4のガイドレール・マグサ・座板において、詳細図では全てスチールとなっていますが、特記仕様書ではガイドレールはSUS304と記載があります。 特記仕様書を正と考えてガイドレールはSUS、箱レール、まぐさ、座板は詳細図通りスチールと考えて宜しいでしょうか。 また、スチールの部分の表面仕上げはSOPと考えて宜しいですか。	ガイドレールSUS、マグサ・座板スチールとします。スチール表面仕上げはSOPとします。
687	A-234 A-306	SS-3と4の取り合いの箱レール（W=630）については、スチール+SOPと考えて宜しいですか。	メラミン焼付塗装です。
688	A-234	SD-7の沓摺において、タイプはD(目地棒)ですが見込が138と記載されています。タイプはC(コ型沓摺)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	目地棒としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
689	A-111 A-228 A-234	SD-7の上部はオープンですが、オープン上部上枠までの高さが不明です。廊下1-1の天井高に合わせH=3650で宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
690	A-228-3 A-234 E-056	SD-10において、入退出管理・ITV設備 3階平面図より電気錠が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。
691	A-111～ 114 A-228-1～ 4 A-235 A-246	SF-1の枠見込において、枠見込116・129と2通りありますが、1・4階便所は壁符号W-3(壁厚96)、2・3階便所は壁符号W-3(化粧ケイカの為壁厚102)、3階湯沸は壁符号W(壁厚109)に設置されています。枠見込は116・122・129の3通りと考えて宜しいでしょうか。否の場合は各見込み毎の数量を御指示下さい。	お見込みのとおりです。
692	A-236 228	AW-1Aにおいて、下記のように相違しています。 ・ 建具表 1+5=6か所 ⇒7か所と記載 ・ 配置図 1か所 配置図のY3-X7-8間に1か所記載漏れと考え、2+5=7か所と考えてよろしいですか。	5か所に変更となります。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
693	A-234 A-252	銀行・会計カウンター窓について、建具表と部分詳細図D-1403とで姿が相違します。 建具表を正と考え腰窓の建枠はカウンター迄と考えてて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
694	A-234	SD-5・6・8・9、SS-1～4において、感知器は煙感連動閉鎖と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
695	A-228-1～ 4 A-235 E-054～ 056	LSHD-1において、建具表で電気錠と記載がありますが、入退出管理・ITV設備 平面図では電気錠の指示はありません。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
696	A-237 A-307	AWD-9・10において、A部ガラスは建具表でFL10+A12+FL10ですが、部分詳細図では12+A12+12と相違してしています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
697	A-237 A-307	<p>AWD-9・10において、下記の項目が不明です。 詳細をご指示願います。</p> <p>①排煙窓は性能T-2,H-1はメ-カ-仕様で不可の為、 T-1,H無しでよろしいですか</p> <p>②排煙窓のOPの有無、並びに開閉方法</p> <p>③排煙窓のセンサーの有無、仕様、並びに工事区分等の 詳細</p>	<p>階段室付サッシですから排煙窓は無しです。</p>
698	A-237 A-307	<p>AWD-9・10のW寸法並びに割付が、建具表と建具詳細図で 相違しています。 建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さ い。</p> <p style="text-align: center;">建具表(誤) 建具詳細図(正)</p> <p><input type="checkbox"/>AWD-9 W=8760+5130+8760 W=8795+5240+8795</p> <p><input type="checkbox"/>AWD-10 W=6060+5130+6060 W=6095+5240+6095</p>	<p>ご指摘寸法はサッシWの押え寸法位置が違うのみです。建具表を 正とします。</p>
699	A-238 A-303	<p>SP-2において、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表 W=785+5820 ・建具詳細図 W=785+5714.5 と相違しています。 <p>建具詳細図の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。</p>	<p>建具表を正としてください。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
700	A-238 A-304	SP-1～3において、建具表でSUS沓摺付ですが、建具詳細図はSUS沓摺無しと相違しています。建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
701	A-238 A-304	また、SP-3の見込みは建具表では100となっておりますが、詳細図より70と読み替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
702	A-238 A-304	SPのガラスにおいて、建具表では全てTG10と記載がありますが、建具詳細図よりSP-1の片引き戸上部ラム、SP-3の框戸はTG8と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
703	A-238 A-303	SP-3において、建具表に飛散防止フィルムの記載がありませんが、建具詳細図より必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
704	A-228-1 A-228-3 A-237・238 E-054	AWD-1において、入退出管理・ITV設備 平面図より電気錠付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
705	A-124	立面図において、非常出入口の指示がありません。非常出入口は無しと考えて宜しいでしょうか。 なお非常出入口がある場合には、該当場所並びに開放方法をご指示願います。	南立面図に表現しています。ガラス破壊によります。
706	A-247	部分詳細図(D-0907)において、SATの詳細図ですが、ATの場合も同様に両面シーリングが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SAT、ATとも必要です。
707	A-238	WF-1～3において、裏面のラワン合板面は無塗装(素地仕上)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	OSCLとします。
708	A-104 A-237・238	衝突防止表示において、特記仕様書で適用となっていますが該当範囲が不明です。AWD-1～8・SP-1～3のFIX及び框ドア部に設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	サイン図によります。
709		交流等の軒先のアルミパネルについて、下記の項目について詳細が不明です。ご指示願います。 ・アルミパネルの支持金物の部材メンバーとピッチ	CLT軒先小口に通し材C-100x50x20x2.3ビス止め、パネル下地材L-30x30x3とチャンネル材を@450で支持します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
710	A-241	F部、G部の詳細図で水上と流れ方向の折板と煙突取り合いの水切りについて、エプロン形状となっておらず、雨仕舞ができておりません。水上の棟まで、両側は一山分程度のエプロンが必要と考えてよろしいでしょうか。	下り棟包みがフラッシングから水上棟まで台形状になっています。
711	A-241 A-248/ D-1009	煙突において、部分詳細図(3)では「別途工事」との記載がありますが、部分詳細図(10)では別途工事の記載がなく、ストーブからの排気管も実線表記となっています。 ストーブ～煙突までの工事は全て別途と考えて宜しいですか。	D-1009特記にあるようにストーブから天井までが別途工事です。
712	A-241	交流棟煙突について、下記の項目が不明です。ご指示願います。 ①立上り部(GB-R t=12.5)の天井との見切り材 ②立上り部のロックウール 80k t25 吹付は現場吹付でしょうか ③現場吹付の場合の下地材をご指示願います。	①は不要です。 ②、③はロックウール㊦50充填、立上り材にのみ吹付㊦25です。
713	A-241	CLTと外壁の納まりについて、天井CLTが外壁より勝つ納まりとなっていますが、耐火性能上問題はないでしょうか。ご確認願います。	交流棟は庁舎棟とは別棟となっていますので耐火要求はありません。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
714	A-241	EXP.J金物受の胴縁がありますが、豎材、横材共C-100*50*20*2.3とし、縦方向の取付ピッチは@900程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-100 x 50 x 20 x 2.3@450とします。
715	A-241	交流棟屋根詳細図の、D部とE部詳細図において、下記の項目が不明です。 ご指示願います。 ①D部、E部共の立上り材、つなぎ材のメバ-とピッチ等の詳細 ②D部のケラバ立上り部のCLTへの固定方法 ③E部のケラバ幕板アルミ-ルの下地胴縁の固定方法	①はB部詳細、束材PL-6L型曲げ加工リブ付きW=200とします。 ②はビス止めとします。 ③はC-100 x 50 x 20 x 2.3 PL-6L型曲げ加工へ2M-10溶接留めとします。
716	A-209 A-240/ D-205 A-246/ EW-0	交流棟の外壁アルミ-ルにおいて、部分詳細図(2)のアルミ-ル詳細図では下地胴縁C-150*75*20*2.3の記載がありますが、部分詳細図(8)のEW-0では下地胴縁の記載がありません。平面詳細図より使い分けは下記の通りと考えて宜しいでしょうか。 ・WY3通り側 : アルミ-ルを木軸に直張り ・WY1通り、WX11通り : 木軸～アルミ-ル間に下地胴縁C-150*75*20*2.3 を見込む	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
717	A-209 A-246	1F交流棟平面詳細図の間仕切記号W-o・W-iは、部分詳細図のE-o・E-iと同仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
718	A-246	壁断面について、EW-0とE-0は同じ、EW-iとE-iは同じ構成となっています。相違する場合は詳細をご指示願います。	合板種別が違います。
719	A-203 A-211	A-203図の1F交流ス ^ラ スの各所の化粧木材、並びに化粧下弦材の仕上げが不明です。ご指示願います。	木部：OSCL 鉄部：SOP とします。
720	A-248	ストーブ垂壁のタイル張りの下地は繊維混入石膏板面となっていますが、ストーブ背面はEW-iでGB-R 9.5+シナ合板となっています。 垂れ壁と同様に読み替えてよろしいですか。	シナ合板をタイル張りに読み替えてください。
721	A-226 A-116	廊下等の木ルーバー天井について下記の項目が不明です。 ご指示願います。 ①LGS下地のバーピッチ ②木ルーバーのLGSへの固定方法 ③天井点検口の詳細、補強方法	①標仕によります。 ②ビス止めとします。 ③標仕によります。
722	A-248	下り壁下端小口枠は、桧集成材+OSCL塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
723	A-226	交流スペース天井に、鉄部SOPとありますが、鉄部の詳細を御指示下さい。	構造図S-509を参照してください。
724	A-203	壁タイル～塗装取合見切縁は、柵25*25+OSCL塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
725	A-237 A-308・309	AWD-2・3・5において、エンジン上部(H=450)のアルミガラリは開口率35%程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	40%程度です。
726	A-237 A-308	AWD-2において、建具詳細図よりアルミ額縁付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	詳細図の通りです。
727	A-237 A-308	AWD-5において額縁の詳細が不明です。 額縁の材質、仕上、サイズ等の詳細を御指示下さい。	A-309を参照してください。
728	A-237 A-308 M-14	AWD-2・3において、下記について詳細をご指示願います。 ①AWD-2は建具表で枠見込み250となっておりますが、詳細図を正として75、135と考えて宜しいですか。 ②AWD-3のガラリ部はダクト外接続用のホップアップ付きと考えて宜しいですか。 ③水切欄に珩素樹脂焼付塗装と記載がありますが、不要と考えて宜しいですか。	全てお見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
729	A-228-1 A-237	AWD-5において、下記についてご確認お願い致します。 ①姿図の左右でH寸法が相違しています。 H=4055(3095+60+900)を正と考えて宜しいですか。 ②固定網戸は突出し窓部と考えられますが、詳細図より不要と考えて 宜しいですか。必要な場合は設置場所をご指示願います。 ③ハレターは隠蔽不可となります。露出と考えて宜しいですか。	①はお見込みのとおりです。 ②突き出し窓部とします。 ③は両サイドは壁内上部アルミ額縁内隠蔽です。
730	A-309	AWD-5において、ダクト外接続がリがありますが接続用のチャンネルボックス(D=150)はスチール1.6、内部黒白塗装品と考えて宜しいですか。	ステンレスPL-1.5曲げ加工2B仕上とします。
731	A-120,401	建物位置が西面敷地境界に近い為、掘削時及び外部足場架設時は西側隣地を借地できるものと考えて宜しいでしょうか。	質疑回答(第4回)No.12で回答したとおりです。
732	A-120,401	上記で借地可能な場合、想定金額が不明です。ご指示願います。	質疑回答(第4回)No.12で回答したとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
733	A-402 A-405	バルコニーの床仕上において、下記の通り相違します。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・断面詳細図 → 塗膜防水(トップコート仕様) ・部分詳細図 → 塗膜防水+防滑ビニル床シート ○正	ビニル床シート貼りです。
734	A-405	上記質疑が正の場合、防滑ビニル床シートの端部シリングは四周と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ステンレス押え金物併用です。
735	A-405	排水溝にも塗膜防水を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
736	A-405	2F通路の縦格子手摺において、表面仕上は「溶融亜鉛メッキ+DP-1(7素)」と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
737		倉庫棟のサインがあれば御指示下さい。	E-4バック表示あり。内訳書を確認ください。
738	A-239/D-109 A-402	縦樋の掴み金物において、断面詳細図では「ステン」になっていますが、庁舎棟と同様にスチール+DP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	亜鉛メッキの上DP塗装です。
739	A-405/DS-04	押出成形セメント板足元の水抜きパイプは@900程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
740	A-405	腰壁の仕上が不明確ですが、スラブ 鼻先の仕上と同様に「吹付A」と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	立面図より塗装A（フッ素樹脂塗装）です。
741	A-402 A-401 A-405	腰壁コンクリート面の仕上が、断面詳細図では吹付A、仕上表では防塵塗装と相違しています。A-405の納まりを正とし、巾木は珪藻土コテ素地、上部立上りは吹付Aと考えてよろしいですか。御指示下さい。	A-401内部仕上表より防塵塗装です。
742	A-402 A-401	床仕上が、B-B'断面詳細図では塗床、仕上表、A-A'断面詳細図では防塵塗装と相違しています。仕上表、A-A'断面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
743	A-405 A-240	DS-02図よりAWの枠形状が、ガasket使用のECP枠の様に見られます。 A-240 D-0202の同面納まり二重シール、小庇なしと考えて宜しいですか。	ニューセーフティ工法により外部シール内部ガasketです。小庇、水切りは採用メーカー型材を現場にて決定します。
744	A-405 A-240	上記正の場合、外部アルミ見切と記載がありますが不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
745	A-103 A-401 A-406	OSD-S1において、以下の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①がドレールは特記仕様書はステンレスが適用となっていますが、部分詳細図はスチールと相違しています。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 ②上記でスチールがドレールとなる場合は仕上を御指示下さい。 ③外縁縁のスチールは焼付と考えて宜しいですか。	①は外部はステンレスです。 ③はステンレスフッ素樹脂塗装です。
746	A-103 A-401 A-406	SS-S1において、以下の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①建具表は重量シャッター・DP塗ですが、部分詳細図ではt=1.0・焼付塗装 (サンドホワイトグレー)と記載がありますが、建具表を正と考えてスチールt=1.6 DP塗装と考えて宜しいでしょうか。 ②部分詳細図で座板はアルミと記載がありますが、特記仕様書よりSUS製と考えて宜しいでしょうか。	①は外部よりステンレスDP塗装です。 ②はお見込みのとおりです。
747	A-501	軒天廻縁のFB-6は「SUS」+「DP」と記載されていますが、スチール溶融亜鉛メッキ+DPの誤記ではないでしょうか。御確認お願い致します。	ステンレスDPです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
748	A-501	柱根巻の仕上が「塗装A」と記載されていますが、塗装Aの様は「吹付A」と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	フッ素樹脂塗装です。
749	A-501 S-204	意匠図では柱根巻コンクリートが1ヶ所記載されていますが、構造図には根巻の記載がありません。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	柱の根巻ではなく保護コンクリートです。よって構造図に記載はありません。
750	A-501	鉄骨柱足元に見切(FB W=20程度)がありますが、厚みはt=6.0程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。シール止めです。(水切)
751	A-501 ~503	駐車場並びに庇関係の縦樋の掴み金物について記載がありませんが、亜鉛メッキ品の一般品と考えて宜しいですか。	亜鉛メッキの上DPです。
752	A-503	水上側軒先部分には化粧フレームを見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
753	A-503	縦樋のVPφ75はカー製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
754	A-503	柱根巻の仕上「塗装A」は「吹付A」と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	フッ素樹脂塗装です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
755	A-503 S-304	意匠図では柱根巻コンクリートが記載されていますが、構造図には根巻の記載がありません。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	柱の根巻ではなく保護コンクリートです。よって構造図に記載はありません。意匠図が正です。
756	A-605	コンクリート舗装部の土間コンクリートのコンクリートの仕様は、FC18N S15と考えて宜しいですか。	構造特記により、お見込みのとおりです。
757	S-001	外構工作物に使用されるコンクリートの強度が不明です。指示無き項目に限りFC21 S18と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	FC21 地上部S18、地下S15です。
758	A-702	職員駐車場部の排水工事及び困障工事の内容が不明です。それぞれ必要な項目の詳細図及び具体的な範囲を御指示下さい。	困障は不要です。排水工事は造成工事にて行っています。図面記載物のみ本工事です。内訳書を参照してください。
759	A-605	外構詳細図1のEX-A112で芝張りで張りパターンの種類が3通りありますが適用が不明です。全面、B-ベタ張りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	目地張りとします。
760	A-606	ゴミステーション・ポンプ庫の床の仕上が不明です。コンクリート金鋺押え(素地)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
761	A-606	外構詳細図2で地下タック横のトレンチの計画がありますが内部の仕上が不明です。素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
762	A-601 A-604	外構工事に次に挙げる既製品のメーカー品番が不明です。それぞれ御指示下さい。 ①インターロッキングブロック ②掲揚ポール ③懸垂幕	下記のとおりとします。 ①インターロッキングブロック →指定なし ②掲揚ポール →サンポール「FHH-8U」同等 ③懸垂幕 →指定なし
763	A-605 EX-A122	北側スロープの配筋、コンクリート強度、立上りの仕上げが不明です。 ご指示願います。	FC-18 S-15 タテヨコ共D13@200です。
764	A-605 A-608 A-105	雨水枡のグレーチングについて、材質が不明です。 溝蓋に倣い全て亜鉛メッキ製と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
765	A-606	EX-A202記載の各種基礎のコンクリート強度並びに見掛け部の仕上げが不明です。ご指示願います。	FC-21 S-15 コンクリート打放し及び金ゴテ押です。
766	A-606	地下タックについて、新庁舎・駐車场上屋の直接基礎に影響がある為、埋め戻しの一部はラップコンクリート扱いにするものと考えて宜しいでしょうか。仕様と併せて御指示下さい。	施工者の判断によります。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
767	A-605	外構詳細図-1にスロープの詳細図がありますが配筋が不明です。D10 @200 シングル、立上り端部 1-D13を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	FC-18 S-15 タテヨコ共D13@200です。
768	A-319	懸垂幕(サイン04)の基礎について、サイン詳細図1ではW7000×D2200×H700の図示ですが、外構詳細図2ではW2200×D2200×H1700の図示となっており内容が相違しています。外構詳細図2を正と考え、2か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	サイン詳細図1を正とします。
769	A-604	点字ブロックの内、線状及び点状の数量が不明です。それぞれ御指示下さい。	誘導型131か所・警告型18か所です。
770	A-702	職員用駐車場の仕上げレベルが不明です。ご指示願います。	外周レベルを結んだものとします。
771	A-702	職員駐車場には排水設備、囲障などはないものと考えてよろしいですか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
772	E-025	交流スペースにおいて、図面上では照明器具姿図番号（T1）*10台・（F3）*14・（A3）*1台となっておりますが、受領書類の中の「6.金抜き設計書」では（T1）*57台・（F3）*75台・（A3）*105台となっております。交流スペースの照明器具数量は平面図を正と考えて宜しいでしょうか。	下記のとおりとします。 ・ A1は設計図を正とし1台 ・ F3は設計図を正とし14台 ・ T1は明細を正とし57台
773	E-028	照明器具リストにおいて、倉庫4-1の記載がありますが、部屋が無く、委員会室2に器具が含まれているように思われます。器具A3×3台を見込むものと考えて宜しいでしょうか。	委員会室のA3は不要とします。
774	E-050	出退表示設備において、編集用PCの記載がありますが、台数が不明です。1台のみと考えて宜しいでしょうか。 （X2・3間-Y1通り）	お見込みのとおりです。
775	E-057～059	会議設備の赤外線会議システムの機器台数が平面図では読み取れません。金抜き設計書の台数を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
776	E-057～059	会議設備の視聴覚機器のマイク・マイクスタンド等の本数の記載がございません。。金抜き設計書の台数を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
777	M-01	直天の執務室、廊下等の保温の仕上げについて、標準仕様書の室内露出仕様と考えて宜しいでしょうか。	屋内露出仕様と考えてください。
778	M-01	不燃木ルーパ-天井内の保温は隠蔽仕様（塗装は不要）と考えて宜しいでしょうか。	隠蔽仕様（黒色アルミガラスクロス）とし、塗装は不要です。
779	M-01	倉庫及び書庫内の保温は隠蔽仕様（塗装は不要）と考えて宜しいでしょうか。	倉庫仕様とし、塗装は不要です。
780	S-001	1階立上りコンクリートにおいて、仕様はFC24 SL18と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S15としてください。
781	S-001	デッキ立上りコンクリートにおいて、仕様はFC24 SL18と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S15としてください。
782	S-001	デッキ立上りコンクリートにおいて、単位水量は185kg/m3以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
783	S-001 A-501 A-503	コンクリート工事において、1FL腰壁は高炉セメントB種の指定がありますが、駐車場・駐輪場、公用駐車場・駐輪場のRC柱保護コンクリートも高炉セメントB種を使用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
784		土工事において、現況レベルの記載がありませんが、根切開始ラインは設計GL±0と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	敷地外周部レベルを結んだレベルを現況レベルとします。
785	A-202	断面詳細図において、基礎梁外周部に断熱材・防湿層立下りH=300がありますが、適用範囲は庁舎棟の基礎梁外周部と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
786	S-005 S-037	ピットRC梁貫通孔において、補強要領は全て既製品を使用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。 S-006を参照してください。
787		前項質疑において、既製品の場合、孔際の補強要領があれば御指示下さい。	製造所仕様によります。
788	A-244	屋上機械設備基礎において、配筋要領が不明です。配筋要領を御指示下さい。	縦横ともD13@150籠状としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
789	S-104 S-108 A-402	<p>地中梁天端バルにおいて、下記の様に相違しています。設計GL-350を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1階床伏図 特記事項：1FL-350 ・ PY5通 鉄骨詳細図 ：設計GL-320 ・ 断面詳細図 ：設計GL-350 	1FL-300です。
790	S-402	<p>地中梁リストにおいて、FG1Aの腹筋本数が断面では6本、表記では2本と相違しています。断面の6本を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	お見込みのとおりです。
791	S-501	<p>コンクリート工事において、躯体に使用するセメントは全て普通ポルトランドセメントと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	高炉セメントBとしてください。
792	S-501	<p>土間コンクリートにおいて、スランプはSL15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	お見込みのとおりです。
793	S-501 S-508	<p>基礎断面図において、H=150~200のRC立上りがありますが、コンクリートの仕様はFC24 SL15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	土間コンクリートと同仕様としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
794	A-240 A-242 実施設計 書No.A65	金抜設計書において、庇床板の珪spantメタル+丸環の数量が、珪spantメタル:624㎡、丸環:876ヶ所の記載がありますが、数量が多い様に思われます。該当範囲は珪spantメタル:2FL~RFLの4段、丸環@1600と考えて宜しいでしょうか。御確認の上、数量が異なる場合は御指示下さい。 (拾い数量 珪spantメタル517m2、丸環:365ヶ所)	設計書数量を正とします。
795	A-201 A-242	庇床版の珪spantメタルにおいて、部分詳細図ではXS-62の記載がありますが、断面詳細図ではXS-63で相違します。断面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
796	A-241	屋根の束材プレートにおいて、取付ピッチは、@2400程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	キープランに記載の通りです。
797	A-311	屋根-外壁取り合いのEXPJ部の下がりの鉄骨下地の仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	C-100x50x20x2.3@450です。
798	A-407 S-104 S-107	成形板の鉄骨梁貫通部ハネのW100*H200において、金抜設計書では8ヶ所の記載がありますが、構造図では7ヶ所と相違します。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	設計書を正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
799	A-501	鉄骨柱足元において、金抜設計書には記載がありませんが、車寄せ庇同様に水切:PL-6 W=20 R付が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
800	A-501	天井の廻縁において、庁舎棟同様にアルミ BA-2種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	廻縁は不要とします。
801	A-502	天井の廻縁において、庁舎棟同様にアルミ BA-2種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	廻縁は不要とします。
802	A-503	屋根の納まりにおいて、他の棟の屋根同様に水上に止め面戸、軒先に軒先見切面戸(下部水切共)を見込むと考えて宜しいでしょうか。又、水上に化粧フレームを見込むと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	止め面戸、軒先見切面戸は不要とします。 水上化粧フレームは見込むものとします。
803	A-503	鉄骨柱足元において、金抜設計書には記載がありませんが、車寄せ庇同様に水切:PL-6 W=20 R付が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
804	A-503	鉄骨見掛の塗装において、金抜設計書には304㎡とありますが、折板裏にも塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。又、異なる場合は、塗装の範囲を併せて御指示下さい。	折板裏の塗装は不要とします。 塗装範囲は柱、梁、タイトフレーム受けとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
805	A-111 A-226	便所のブラインドボックスですが、仕上表に記載がありませんが、天井伏図には記載があり相違します。必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
806	A-250	脱衣室の上框ですが、納まりdとなっておりますが、上框W90*H100蹴込板無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	上り框90×H60、蹴込板H40とします。
807	A-217 A-248	3F男子更衣室他ライニング面台部立上りの仕上ですが、便所に倣い、耐水合板t=12+不燃マシ化粧板と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
808	A-111 A-205	1F消火ポンプ室壁仕上において、仕上表では、耐水PB+EP-Gとなっておりますが、外壁面はセメント板+EP-G塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
809	A-102	特記仕様書(2)に『水損が予想される部屋は立上りを設けて防水処理を行う(PS・EPS・電気室)』と記載がありますが、全てのPS・EPSに見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
810	A-114 A-115 A-224 A-255	議場ガラスカーペットの下地において、基準詳細図W-20Aでは、直張りですが、平面詳細図の凡例では、W8(LGS+GB-R)を見込んでいます。部分詳細図では、直張り・カシ壁ふたつの納まりの記載です。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
811	A-123 金抜設計書 A73	4F議場傍聴席において、金抜設計書には床下化粧点検口と記載がありますが、図面で判別できません。金抜設計書通りと考えて宜しいでしょうか。仕様も含め、御指示下さい。	お見込みのとおりです。 図面では車いす席下に記載しています。
812	A-203	1-2F吹抜部のガラス手摺下の下り壁の仕上が不明です。EP塗装+石膏ボード9.5+12.5+LGSW65と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
813	A-122 A-208	階段B下のポンプ置場床において、断面詳細図で床面が130～150上がっていますが、配筋詳細が不明です。補強要領等詳細を御指示下さい。	D10@200タテヨコとします。
814	A-122 A-208	階段B下のポンプ置場に、排水溝と釜場がありますが、仕上が不明です。どちらも防水珪藻土仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	モルタル塗り+ケイ酸質系塗布防水とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
815	A-117 金抜設計書 A41	耐火シートにおいて、柱型・梁型(仕口)の耐火シートが、金抜設計書に計上されていますが、納まりが不明です。詳細を御指示下さい。	梁型のハンチ部分 (L=600) とします。 S-34図を参照してください。
816		下記のメーカー・品番等がありましたら、御指示下さい。 <input type="checkbox"/> ビニル床タイル <input type="checkbox"/> 鋼製床組 <input type="checkbox"/> 樹脂製床組 <input type="checkbox"/> 化粧ケイカル板 <input type="checkbox"/> ミニキッチン <input type="checkbox"/> エットシャワー <input type="checkbox"/> 身障者手摺(L型・小便器・和便器・洗面カウンター)	下記のとおりとします。 <input type="checkbox"/> ビニル床タイル →指定なし 500×500 フリーアクセスフロア下地 FOA <input type="checkbox"/> 鋼製床組 →指定なし <input type="checkbox"/> 樹脂製床組 →三洋工業「ホームベースe」同等 <input type="checkbox"/> 化粧ケイカル板 →指定なし <input type="checkbox"/> ミニキッチン →指定なし <input type="checkbox"/> エットシャワー →指定なし <input type="checkbox"/> 身障者手摺(L型・小便器・和便器・洗面カウンター) →指定なし
817	金抜設計書 A83 A114	金抜設計書に下記項目の記載がありますが、施工範囲が不明です。施工範囲を御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 左官工事 塗布防水部 コーナーモルタル <input type="checkbox"/> 内装工事 二重床 防塵塗装	<input type="checkbox"/> 左官工事 塗布防水部 コーナーモルタル →EVピット四周です。 <input type="checkbox"/> 内装工事 二重床 防塵塗装 →議場・市民ロビー鋼製床組下です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
818	A-248 金抜設計書 A153	交流スペースのストブ背面壁において、金抜設計書では、1m2とありますが、WY2通り面の壁で考えると少ないと思われます。背面全面の数量で考えて宜しいでしょうか。又、タイル下の下地構成が不明です。タイル+石膏ボードt=9.5+木造軸面と考えると宜しいでしょうか。見切等詳細ありましたら、併せて御指示下さい。	お見込みのとおりです。 見切：柵W25×D25×L4150 O_SCLを見込むこととします。
819	A-111 金抜設計書 A156	交流棟の廻縁において、木廻縁が金抜設計書にはありますが仕上表に記載がありません。ストブ上部の天井面に必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
820	A-111 A-234	SD-7の上部開口部のH寸法において、廊下1-1部の天井高より、上部開口部HはH950と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
821	A-228 A-234	1階階段B SD-TK2(1ヶ所)において、建具表で防火性能の記載がありませんが、防火区画より、1階階段B SD-TK2(1ヶ所)は、特定防火設備と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
822	A-234 A-305 A-306	SD-6、SS-1～3において、建具表で仕上が不明です。部分詳細図より、下記の様に考えて宜しいでしょうか。異なる場合は仕上詳細を御指示下さい。 □スラット:溶融亜鉛メッキ鋼板 素地 □ガードレール・マグサ座板:スチール SOP塗装	下記のとおりとします。 □スラット →SOP □ガードレール →ステンレス □マグサ座板 →SOP
823	A-235 E-054	1階 書庫1-2 LSD-2A(1ヶ所)において、建具表では電気錠の記載はありませんが、入退出管理・ITV設備 1階平面図では、電気錠付と相違しています。入退出管理・ITV設備 1階平面図より、1階 書庫1-2 LSD-2A(1ヶ所)はカードリーダー対応電気錠付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
824	A-235 E-054～ 056	LSHD-1において、建具表では電気錠の記載がありますが、入退出管理・ITV設備図では、電気錠の記載はありません。入退出管理・ITV設備図より、LSHD-1は電気錠無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
825	A-238 A-303	SP-1・3のガラスにおいて、建具表で、TG10となっていますが、建具詳細図では、強化ガラスt8・t10が使い分けされています。SP-1・3のガラスは建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
826	A-238 A-303	SP-1～3において、建具表で、SP-1・2は飛散防止フィルム貼、SP-3は飛散防止フィルム無しとなっていますが、建具詳細図では、SP-1・2は飛散防止フィルム無し、SP-3は飛散防止フィルム貼と相違しています。建具表、建具詳細図より、SP-1～3全てに飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
827	A-238	WF-1～3の仕上において、建具表で、ポリ合板裏面ワゴン合板と記載がありませんが、ワゴン合板面に仕上の記載がありません。ワゴン合板面には塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は仕上詳細を御指示下さい。	OSCLとします。
828	A-240 A-310	アルミ製建具の枠廻りにおいて、部分詳細図(2) D-0202で、枠廻り二重シリング納まりとなっていますが、ECP開口詳細図では、シングルシリング+ガスケットと相違しています。アルミ製建具の枠廻りは、部分詳細図(2) D-0202を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ECPニューセーフティ工法のためガスケットとシールです。
829	A-228 A-236	AW-1Aのヶ所数において、建具表で、7ヶ所となっていますが、キプランでは、6ヶ所と相違しています。キプランのヶ所数を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	5か所に変更となります。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
830	A-237 A-308	AWD-4において、建具表附属金物欄で、小庇と記載があり、建具詳細図では、小庇の記載はありません。建具詳細図より、外額縁(アルミt=2.0 見込120)がつくと考えて、小庇は不要と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
831	A-209 A-237 A-308	AWD-1のW寸法において、建具表で、W1110+100+1700となっていますが、建具詳細図では、W1160+100+1700と相違しています。1階平面詳細図では、W1110+100+1700となっている為、建具表を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
832	A-237 A-307	AWD-9のW寸法において、建具表で、総W23070となっていますが、部分詳細図では、総W23250と相違しています。部分詳細図を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
833	A-237 A-307	AWD-10のW寸法において、建具表で、総W17670となっていますが、部分詳細図では、総W17850と相違しています。部分詳細図を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
834	A-237 A-307	AWD-9・10のガラスにおいて、建具表で、A部FL10+A12+FL10となっておりますが、部分詳細図では、12+A12+12と相違しています。部分詳細図を正と考えて、AWD-9・10のA部のガラスは、複層ガラスFL12+A12+FL12と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
835	A-236	アルミ製建具の気密性において、建具表共通事項で、気密性A-3とA-4に印がおりますが、特記仕様書では、気密性A-4のみ記載されています。特記仕様書より、気密性A-4と考えて宜しいでしょうか。異なる場合はそれぞれの適用範囲を御指示下さい。	お見込みのとおりです。
836	A-124 金抜設計書 A103	非常用進入口マークにおいて数量が不明です。金抜設計書No.A103より、12ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。 南立面図に表示しています。
837	A-237	AWD-6～8において、建具表で、小庇と記載がありますが、小庇の詳細が不明です。AWD-6～8の小庇の詳細を御指示下さい。	A-240図 D-0202と同仕様とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
838	A-234 E-056	SD-10において、建具表では電気錠の記載はありませんが、入退出管理・ITV設備 3階平面図では、電気錠付と相違しています。入退出管理・ITV設備 3階平面図より、SD-10は電気錠付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
839	A-237	AWD-9・10において、建具表で、自然換気窓の仕様・詳細が不明です。自然換気窓に必要な金物・仕様・詳細を御指示下さい。	オペレーター（電動）、降雨センサー、風速センサー、その他標準的な動作に必要な金物一式とします。
840	A-235 E-054	AWD-1において、建具表では電気錠の記載はありませんが、入退出管理・ITV設備 1階平面図では、電気錠付と相違しています。入退出管理・ITV設備 1階平面図より、AWD-1は、カードリーダー対応電気錠付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
841	A-237	AWD-5のガラスにおいて、建具表ではFL6+A6+FL6となっていますが、引分け自動ドア両袖FIX部のガラスに関しては強化ガラスt=10+飛散防止フィルムと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	自動ドア部ガラスは強化ガラスt=10とします。
842	A-237 A-308	AWD-2の枠見込において、建具表で、枠見込250となっていますが、部分詳細図より、枠見込75・125・135と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
843	A-401 A-406	SS-S1の座板において、部分詳細図で、座板:アルミとなっていますが、特記仕様書では、ガイドレール等 ステンレス製と相違しています。特記仕様書より、座板の仕上はSUS HL仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
844	A-401 A-406	OSD-S1のガイドレールにおいて、部分詳細図で、スチールとなっていますが、仕上が不明です。ガイドレールの仕上はスチール DP 塗装と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は仕上詳細を御指示下さい。	ステンレスとします。
845	A-401 A-405	AW-S1において、建具表付属金物欄で、外部アルミ見切と記載がありますが、部分詳細図 DS-02では、見切の記載がありません。外部アルミ見切は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
846	A-401 A-406	SS-S1において、建具表で、スラット:t=1.6となっていますが、部分詳細図では、スラット:スチール t=1.0と相違しています。重量シャッターの為、スチール t=1.6を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
847	A-401 A-406	SS-S1において、部分詳細図で、色:サトウ 杓付ライトグレーと記載がありますが、該当箇所が不明です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は施工箇所等、詳細を御指示下さい。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
848	A-329 金抜設計書 A142	昇降機の速度において、可変速(定格速度 60m/min-最高速度 105m/min)の仕様を御採用されておりますが、可変速はメーカ固有の仕様であるため他メーカでも対応可能なように参考数値と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	「最高速度105m/min」を「最高速度90m/min」と読み替えることとします。
849	A-329 金抜設計書 A142	昇降機設備において、ピット・1階奥行有効寸が各寸法共に参考メーカ固有の数値のため、他メーカでも対応可能なように参考数値と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
850	A-119 A-602	敷地現況レベルが不明です。現況=計画レベルと考えて、舗装下の鋤取は舗装厚分と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	敷地外周部レベルを結んだレベルを現況レベルとします。
851	A-604 金抜設計書 A292	点字ブロックにおいて、位置表示型と誘導表示型の表示が無くそれぞれの範囲が不明確です。金抜設計書の数量を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	誘導型131か所・警告型18か所です。
852	A-604 金抜設計書 A294	路面標示ゼブラゾーンにおいて、金抜設計書では21.6㎡となっておりますが、外構図ではゴミステーション前(3.0㎡程度)のみの記載です。ゴミステーション前以外に施工範囲がありましたら御指示下さい。	ゼブラゾーンは不要とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
853	A-605	ネットフェンス基礎において、配筋の記載がありませんが、無筋と 考えて宜しいでしょうか。配筋が必要な場合は配筋要領を 御指示下さい。	D10@200タテヨコとします。
854	A-603 金抜設計 書 A298	庁舎北側現場打側溝において、金抜設計書ではW300*200 となっていますが、雨水排水計画図では300*300と相違し ます。雨水排水計画図を正と考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	お見込みのとおりです。
855	A-605	庁舎北側スロ-プにおいて、配筋要領が不明です。金抜設計書 より溶接金網φ6-100*100と考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	D10@200タテヨコとします。
856	A-606	地下タテ横トレンチにおいて、仕上がが不明です。底はコンクリート金鍍 仕上、立上りは打放のままと考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	お見込みのとおりです。
857	A-606	地下タテ横トレンチにおいて、蓋の仕様が不明です。コンクリート蓋と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート蓋730 x 500 x t150 x 7枚です。
858	A-319 金抜設計 書 A303	サインO3.4基礎において、金抜設計書とサイン図でサイズが相違し ます。サイン図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さ い。	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
859	A-319	サインO4基礎において、柱脚部コンクリート基礎のサイズが不明です。W2400*D1000と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	W2500×D1400とします。
860	E-025 金抜設計 書 E66	照明器具の台数において、(E-025)電灯設備図面の1階交流スペースの照明器具T1が『10台』と記載がありますが、(E66)数量書では『57.0個』と相違します。どちらの数量を正とすれば宜しいでしょうか。御指示下さい。	57台を正としてください。
861	E-003 金抜設計 書 E55 E93 E96 E99	外灯において、数量書の(E55ページ)1-15-5庁舎棟外灯内訳に他の項目の外灯が重複しているように思われます。E-003図より数量を算出しますと下記の通りとなります。E-003図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (数量書E55ページ) 1-15-5 A3×1台 (数量書E93ページ) 4-1-1 A6W×6台、F4W×24台 (数量書E96ページ) 5-1-1 F4W×9台 (数量書E99ページ) 6-1-1 U×3台、K×9台、L×1台	お見込みのとおりです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
862	E-028 金抜設計書 E8	照明器具において、器具リストでは『倉庫4-1 A3×3』の記載がありますが、平面図に部屋名の記載がありません。A3×3台は委員会室に必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	委員会室のA3は不要とします。
863	E-050 金抜設計書 E43	出退表示設備において『編集用PC』の記載がありますが、設置台数の記載がありません。金抜設計書には『1台』との記載がありますので、設置台数は1台と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
864	E-057～E-059 金抜設計書 E27～E30	会議設備において『赤外線会議システム』の設置台数が平面図からは読み取れません。また、視聴覚機器の『マイク・マイクスタンド等』の本数の記載もありません。設置台数においては金抜設計書の台数を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
865	M-01	保温仕上において、執務室・廊下等 直天部分の保温仕上は標準仕様書の室内露出仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	屋内露出仕様と考えてください。
866	M-01	保温仕上において、不燃木ルーパ-天井内の保温は隠蔽仕様とし、塗装は無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	隠蔽仕様（黒色アルミガラスクロス）とし、塗装は不要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
867	M-01	保温仕上において、倉庫及び書庫内の保温は隠蔽仕様とし、塗装は無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	倉庫仕様とし、塗装は不要です。
868		工事計画敷地において、隣接する宿毛警察署建設予定地は施工中、使用させて頂けると考えて宜しいでしょうか。可能な場合は借地料等を併せて御指示下さい。	可能とします。
869	A-119	現況図・仮設計画図において、仮囲い:亜鉛めっき鋼板 H=1,800 L=166m クロゲート: W=6,000 H=1,800と記載がありますが、こちらの仮設計画は参考と考え、施工者の計画に基づき見積を行うことは可能と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	設計書に示す数量は最低数量と考えてください。